令和7年度　介護生産性向上に関する事業所調査結果

■調査時期
令和８年１月２６日（月）～令和８年２月２０日（金）

■調査対象
県内介護サービス事業所

■調査方法
インターネット

■回収率

	配布数	回答事業所数	回答率
計	2,406	429	17.8%
施設系	526	148	28.1%
居宅系	1,876	281	15.0%

（居宅系のうち、居宅介護支援・介護予防支援74、その他居宅系サービス207）

＜注＞

※「施設系」…介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、（介護予防）認知症対応型共同生活介護
「居宅系」…上記以外
「居宅系内訳１」…居宅介護支援・介護予防支援
「居宅系内訳２」…その他居宅系サービス
※ 各項目ごとに、回答割合が多い順に色付けし凡例：１位　２位　３位

Ⅰ．運営上の課題

■運営上の課題（複数選択可）

	回答事業所数	良質な人材の確保が難しい	今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない	指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	教育・研修の時間が十分に取れない	経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくてもできない	新規利用者の確保が難しい	介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	管理者の指導・管理能力が不足している	介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	介護従事者間のコミュニケーションが不足している	経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している	介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない	雇用管理等についての情報や指導が不足している	その他	特に問題はない
計	429	83.4%	78.1%	77.2%	75.1%	61.3%	57.8%	48.3%	42.2%	33.8%	27.3%	32.6%	31.9%	32.4%	33.6%	5.1%	48.7%
施設系	148	88.5%	75.0%	75.7%	81.1%	56.8%	57.4%	62.8%	49.3%	43.9%	35.1%	44.6%	25.0%	32.4%	32.4%	3.4%	47.3%
居宅系	281	80.8%	79.7%	77.9%	71.9%	63.7%	58.0%	40.6%	38.4%	28.5%	23.1%	26.3%	35.6%	32.4%	34.2%	6.0%	49.5%
居宅系内訳１	74	78.4%	83.8%	90.5%	64.9%	66.2%	45.9%	28.4%	44.6%	14.9%	14.9%	18.9%	41.9%	33.8%	31.1%	6.8%	52.7%
居宅系内訳２	345	49.0%	47.0%	44.1%	44.6%	37.7%	37.4%	27.0%	21.7%	20.0%	15.7%	17.4%	20.0%	19.1%	21.2%	3.5%	29.0%

Ⅱ．生産性向上（業務改善）の取組

■介護ロボット・ＩＣＴ導入について

（１）導入済の機器（複数選択可）

	回答事業所数	移乗介助	移動支援	排泄支援	見守り	コミュニケーション	入浴支援	介護業務支援	機能訓練支援	食事・栄養管理支援	認知症生活支援・認知症ケア支援	介護ソフト	介護ソフト専用の情報端末	通信環境機器	バックオフィスソフト	その他
計	429	6.1%	5.8%	1.6%	38.0%	1.6%	18.4%	5.8%	8.9%	8.9%	1.9%	68.8%	54.3%	85.3%	31.5%	1.4%
施設系	148	10.8%	8.8%	2.7%	68.2%	0.7%	23.6%	12.2%	9.5%	16.9%	1.4%	69.6%	62.8%	91.9%	37.2%	1.4%
居宅系	281	3.6%	4.3%	1.1%	22.1%	2.1%	15.7%	2.5%	8.5%	4.6%	2.1%	68.3%	49.8%	81.9%	28.5%	1.4%
居宅系内訳１	74	1.4%	2.7%	1.4%	1.4%	1.4%	0.0%	2.7%	2.7%	0.0%	2.7%	60.8%	35.1%	73.0%	32.4%	2.7%
居宅系内訳２	345	2.6%	2.9%	0.6%	17.7%	1.4%	12.8%	1.4%	6.4%	3.8%	1.2%	42.6%	33.0%	51.0%	16.2%	0.6%

（２）導入してみたい機器（複数選択可）

	回答事業所数	移乗介助	移動支援	排泄支援	見守り	コミュニケーション	入浴支援	介護業務支援	機能訓練支援	食事・栄養管理支援	認知症生活支援・認知症ケア支援	介護ソフト	介護ソフト専用の情報端末	通信環境機器	バックオフィスソフト	その他
計	429	38.0%	34.7%	37.5%	47.3%	42.9%	41.3%	44.3%	42.4%	32.6%	48.3%	57.6%	59.9%	50.1%	54.8%	0.9%
施設系	148	52.7%	54.1%	58.8%	68.2%	54.7%	61.5%	56.8%	54.1%	48.6%	62.2%	64.9%	67.6%	50.7%	63.5%	0.7%
居宅系	281	30.2%	24.6%	26.3%	36.3%	36.7%	30.6%	37.7%	36.3%	24.2%	40.9%	53.7%	55.9%	49.8%	50.2%	1.1%
居宅系内訳１	74	9.5%	9.5%	9.5%	17.6%	23.0%	9.5%	24.3%	20.3%	10.8%	23.0%	58.1%	64.9%	62.2%	47.3%	2.7%
居宅系内訳２	345	22.6%	18.0%	19.4%	25.8%	24.9%	22.9%	25.5%	25.2%	17.4%	28.4%	31.3%	31.6%	27.2%	30.7%	0.3%

（３）介護ロボット・ICT導入の課題（複数選択可）

	回答事業所数	導入コストが高い	どのような介護ロボットやＩＣＴ機器・介護ソフトがあるかわからない	ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える	技術的に使いこなせるか心配である	誤作動の不安がある	設置や保管等に場所をとられてしまう	清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である	投資に見合うだけの効果がない（事業規模から考えて必要ない）	介護現場の実態に適う介護ロボットやＩＣＴ機器がない、現場の役に立つものがない	職員への周知（使用方法等）	その他	導入する必要のある課題や必要性を感じていない
計	429	92.5%	56.2%	28.0%	66.2%	59.2%	63.9%	69.5%	56.4%	31.0%	61.1%	27.0%	2.6%
施設系	148	95.9%	55.4%	27.7%	77.0%	66.2%	68.2%	74.3%	50.0%	24.3%	73.0%	16.9%	4.1%
居宅系	281	90.7%	56.6%	28.1%	60.5%	55.5%	61.6%	66.9%	59.8%	34.5%	54.8%	32.4%	1.8%
居宅系内訳１	74	83.8%	52.7%	20.3%	59.5%	50.0%	44.6%	52.7%	51.4%	21.6%	52.7%	36.5%	1.4%
居宅系内訳２	345	55.9%	34.8%	18.6%	36.5%	34.5%	40.6%	43.2%	37.7%	23.5%	33.3%	18.6%	1.2%

■生産性向上（業務改善）の取組について

（１）「あおもり介護生産性向上相談センター」について

	回答事業所数	知っており、活用したことがある	知っているが、活用したことはない	知らない
計	429	24.2%	61.8%	14.0%
施設系	148	36.5%	53.4%	10.1%
居宅系	281	17.8%	66.2%	16.0%
居宅系内訳１	74	12.2%	67.6%	20.3%
居宅系内訳２	345	11.9%	39.4%	8.7%

（１）厚生労働省「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」について

	回答事業所数	知っており、読んだことがある	知っているが、読んだことはない	（一部でも）活用し、取り組んでいる	知らない
計	429	2.3%	35.2%	53.6%	8.9%
施設系	148	4.1%	25.7%	64.2%	6.1%
居宅系	281	1.4%	40.2%	48.0%	10.3%
居宅系内訳１	74	5.4%	44.6%	39.2%	16.2%
居宅系内訳２	345	0.0%	23.2%	30.7%	4.9%

（３）介護サービスにおける生産性向上のための7つの取組のうち、実施済の項目（複数選択可）

	回答事業所数	職場環境の整備	業務の明確化と役割分担	介護ロボットやＩＣＴ機器の導入	手順書の作成	記録・報告様式の工夫	情報共有の工夫	ＯＪＴの仕組みづくり	理念・行動指針の徹底	実施済の項目はない
計	429	68.8%	72.3%	61.5%	45.5%	58.5%	44.3%	40.6%	61.3%	11.7%
施設系	148	69.6%	76.4%	67.6%	43.2%	58.1%	47.3%	45.9%	60.8%	9.5%
居宅系	281	68.3%	70.1%	58.4%	46.6%	58.7%	42.7%	37.7%	61.6%	12.8%
居宅系内訳１	74	59.5%	62.2%	56.8%	37.8%	51.4%	36.5%	36.5%	50.0%	23.0%
居宅系内訳２	345	42.9%	43.8%	35.4%	29.9%	36.8%	27.0%	22.9%	39.4%	5.5%

（４）「介護サービスにおける生産性向上のための7つの取組」うち、実施予定又は実施してみたい項目（複数選択可）

	回答事業所数	職場環境の整備	業務の明確化と役割分担	介護ロボットやＩＣＴ機器の導入	手順書の作成	記録・報告様式の工夫	情報共有の工夫	ＯＪＴの仕組みづくり	理念・行動指針の徹底	実施予定の項目はない
計	429	73.7%	72.5%	65.0%	70.9%	75.8%	71.6%	73.0%	71.6%	21.9%
施設系	148	75.0%	74.3%	66.2%	73.6%	77.0%	74.3%	77.0%	79.1%	20.3%
居宅系	281	73.0%	71.5%	64.4%	69.4%	75.1%	70.1%	70.8%	67.6%	22.8%
居宅系内訳１	74	71.6%	70.3%	67.6%	68.9%	75.7%	73.0%	74.3%	73.0%	32.4%
居宅系内訳２	345	44.1%	43.2%	38.0%	41.7%	44.9%	41.4%	41.7%	39.4%	11.6%

（５）取組にあたっての（予想される）課題（複数選択可）

	回答事業所数	時間の確保	実施体制の不備	職場内での反発	取組に対する理解不足	ルール化の問題	経済的な問題	職員間の認識のばらつき	その他	困難は生じなかった
計	429	88.3%	71.6%	40.1%	68.3%	65.7%	76.5%	76.0%	2.1%	20.0%
施設系	148	86.5%	75.0%	50.7%	77.7%	73.6%	76.4%	87.8%	2.0%	13.5%
居宅系	281	89.3%	69.8%	34.5%	63.3%	61.6%	76.5%	69.8%	2.1%	23.5%
居宅系内訳１	74	86.5%	67.6%	27.0%	58.1%	56.8%	77.0%	59.5%	1.4%	24.3%
居宅系内訳２	345	54.2%	42.3%	22.3%	39.1%	38.0%	45.8%	44.1%	1.4%	13.9%

Ⅲ．取組成果（※全体的に、選択肢が右に行くほど良い傾向。）

■業務の効率化について

①利用者・家族とのコミュニケーション時間

現在の状況

	回答事業所数	ほとんど確保できていない	十分に確保できていない	ある程度は確保できている	必要に応じて確保できている	余裕をもって確保できている
計	429	1.4%	14.9%	52.2%	29.1%	2.3%
施設系	148	1.4%	16.9%	48.6%	29.7%	3.4%
居宅系	281	1.4%	13.9%	54.1%	28.8%	1.8%
居宅系内訳１	74	1.4%	10.8%	56.8%	29.7%	1.4%
居宅系内訳２	345	0.9%	9.0%	31.9%	17.1%	1.2%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく減った	多少減った	変わらない	多少増えた	大きく増えた
計	429	1.4%	7.2%	69.9%	21.0%	0.5%
施設系	148	1.4%	6.8%	63.5%	27.7%	0.7%
居宅系	281	1.4%	7.5%	73.3%	17.4%	0.4%
居宅系内訳１	74	1.4%	10.8%	74.3%	13.5%	0.0%
居宅系内訳２	345	0.9%	3.8%	43.8%	11.3%	0.3%

②時間に追われる焦り感（心理的な負担）

現在の状況

	回答事業所数	非常に強い	強い	一般的である	弱い	非常に弱い（全くない）
計	429	8.4%	33.1%	50.8%	6.1%	1.6%
施設系	148	4.7%	35.8%	50.0%	8.1%	1.4%
居宅系	281	10.3%	31.7%	51.2%	5.0%	1.8%
居宅系内訳１	74	17.6%	44.6%	32.4%	5.4%	0.0%
居宅系内訳２	345	4.6%	16.2%	34.8%	2.9%	1.4%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく増えた	多少増えた	変わらない	多少減った	大きく減った
計	429	6.5%	20.3%	59.9%	12.1%	1.2%
施設系	148	6.1%	17.6%	57.4%	16.9%	2.0%
居宅系	281	6.8%	21.7%	61.2%	9.6%	0.7%
居宅系内訳１	74	8.1%	32.4%	54.1%	4.1%	1.4%
居宅系内訳２	345	3.8%	10.7%	38.3%	7.0%	0.3%

③質の維持向上（ＯＪＴ・研修・打合せ・新しいケアやサービスの検討）に活用可能な時間

現在の状況

	回答事業所数	ほとんど確保できていない	十分に確保できていない	ある程度は確保できている	必要に応じて確保できている	余裕をもって確保できている
計	429	7.2%	31.7%	44.1%	16.6%	0.5%
施設系	148	7.4%	36.5%	36.5%	18.2%	1.4%
居宅系	281	7.1%	29.2%	48.0%	15.7%	0.0%
居宅系内訳１	74	10.8%	23.0%	44.6%	21.6%	0.0%
居宅系内訳２	345	3.5%	18.8%	29.6%	8.1%	0.0%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく減った	多少減った	変わらない	多少増えた	大きく増えた
計	429	3.3%	13.5%	70.2%	12.6%	0.5%
施設系	148	3.4%	14.2%	66.2%	14.9%	1.4%
居宅系	281	3.2%	13.2%	72.2%	11.4%	0.0%
居宅系内訳１	74	0.0%	18.9%	71.6%	9.5%	0.0%
居宅系内訳２	345	2.6%	6.7%	43.5%	7.2%	0.0%

④介護職員、事務処理担当職員、責任者の残業時間

現在の状況

	回答事業所数	非常に多い	多い	一般的である	少ない	非常に少ない（全くない）
計	429	2.8%	17.5%	51.0%	17.5%	11.2%
施設系	148	2.7%	18.9%	45.9%	23.0%	9.5%
居宅系	281	2.8%	16.7%	53.7%	14.6%	12.1%
居宅系内訳１	74	1.4%	18.9%	59.5%	9.5%	10.8%
居宅系内訳２	345	2.0%	9.6%	31.0%	9.9%	7.5%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく増えた	多少増えた	変わらない	多少減った	大きく減った
計	429	2.3%	10.7%	72.7%	12.6%	1.6%
施設系	148	2.0%	9.5%	68.9%	16.9%	2.7%
居宅系	281	2.5%	11.4%	74.7%	10.3%	1.1%
居宅系内訳１	74	1.4%	8.1%	83.8%	5.4%	1.4%
居宅系内訳２	345	1.7%	7.5%	42.9%	7.2%	0.6%

⑤報告業務に要する時間

現在の状況

	回答事業所数	非常に長時間を要している	長時間を要している	一般的な所要時間である	短時間で済んでいる	非常に短時間で済んでいる
計	429	2.1%	9.6%	74.6%	12.6%	1.2%
施設系	148	1.4%	9.5%	68.2%	18.2%	2.7%
居宅系	281	2.5%	9.6%	77.9%	9.6%	0.4%
居宅系内訳１	74	2.7%	10.8%	81.1%	5.4%	0.0%
居宅系内訳２	345	1.4%	5.5%	46.1%	6.7%	0.3%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく増えた	多少増えた	変わらない	多少減った	大きく減った
計	429	1.6%	8.2%	76.7%	12.6%	0.9%
施設系	148	0.7%	4.7%	75.7%	16.9%	2.0%
居宅系	281	2.1%	10.0%	77.2%	10.3%	0.4%
居宅系内訳１	74	2.7%	8.1%	79.7%	9.5%	0.0%
居宅系内訳２	345	1.2%	6.4%	45.8%	6.4%	0.3%

⑥介護記録の作成時間

現在の状況

	回答事業所数	非常に長時間を要している	長時間を要している	一般的な所要時間である	短時間で済んでいる	非常に短時間で済んでいる
計	429	3.3%	17.7%	66.2%	11.2%	1.6%
施設系	148	0.7%	12.8%	69.6%	13.5%	3.4%
居宅系	281	4.6%	20.3%	64.4%	10.0%	0.7%
居宅系内訳１	74	12.2%	37.8%	47.3%	1.4%	1.4%
居宅系内訳２	345	1.2%	8.4%	42.3%	7.8%	0.3%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく増えた	多少増えた	変わらない	多少減った	大きく減った
計	429	1.4%	9.1%	70.4%	16.6%	2.6%
施設系	148	0.7%	2.7%	68.2%	24.3%	4.1%
居宅系	281	1.8%	12.5%	71.5%	12.5%	1.8%
居宅系内訳１	74	4.1%	25.7%	59.5%	8.1%	2.7%
居宅系内訳２	345	0.6%	4.6%	45.5%	8.4%	0.9%

⑦共有情報（ケア記録やケアマネへの提供情報など）の質

現在の状況

	回答事業所数	非常に低い	低い	一般的である	高い	非常に高い
計	429	0.2%	8.6%	83.2%	7.0%	0.9%
施設系	148	0.0%	16.9%	73.6%	8.1%	1.4%
居宅系	281	0.4%	4.3%	88.3%	6.4%	0.7%
居宅系内訳１	74	0.0%	2.7%	89.2%	6.8%	1.4%
居宅系内訳２	345	0.3%	2.9%	52.8%	3.8%	0.3%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく下がった	多少下がった	変わらない	多少上がった	大きく上がった
計	429	0.2%	3.7%	82.8%	13.1%	0.2%
施設系	148	0.0%	6.1%	77.0%	16.9%	0.0%
居宅系	281	0.4%	2.5%	85.8%	11.0%	0.4%
居宅系内訳１	74	0.0%	2.7%	82.4%	13.5%	1.4%
居宅系内訳２	345	0.3%	1.4%	52.2%	6.1%	0.0%

⑧利用者の状態の経過変化の読みときやすさ

現在の状況

	回答事業所数	非常に低い	低い	一般的である	高い	非常に高い
計	429	0.5%	5.4%	84.4%	9.8%	0.0%
施設系	148	1.4%	8.1%	77.7%	12.8%	0.0%
居宅系	281	0.0%	3.9%	87.9%	8.2%	0.0%
居宅系内訳１	74	0.0%	5.4%	86.5%	8.1%	0.0%
居宅系内訳２	345	0.0%	2.0%	53.0%	4.9%	0.0%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく下がった	多少下がった	変わらない	多少上がった	大きく上がった
計	429	0.0%	4.2%	81.4%	14.2%	0.2%
施設系	148	0.0%	4.7%	76.4%	18.9%	0.0%
居宅系	281	0.0%	3.9%	84.0%	11.7%	0.4%
居宅系内訳１	74	0.0%	5.4%	82.4%	12.2%	0.0%
居宅系内訳２	345	0.0%	2.0%	50.7%	7.0%	0.3%

⑨各職員が閲覧する書類の枚数

現在の状況

	回答事業所数	非常に多い	多い	一般的である	少ない	非常に少ない
計	429	2.1%	21.4%	67.4%	8.2%	0.9%
施設系	148	2.0%	21.6%	65.5%	10.1%	0.7%
居宅系	281	2.1%	21.4%	68.3%	7.1%	1.1%
居宅系内訳１	74	5.4%	33.8%	58.1%	2.7%	0.0%
居宅系内訳２	345	0.6%	10.1%	43.2%	5.2%	0.9%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく増えた	多少増えた	変わらない	多少減った	大きく減った
計	429	1.4%	10.5%	76.2%	11.2%	0.7%
施設系	148	0.7%	4.7%	75.0%	18.2%	1.4%
居宅系	281	1.8%	13.5%	76.9%	7.5%	0.4%
居宅系内訳１	74	4.1%	23.0%	67.6%	5.4%	0.0%
居宅系内訳２	345	0.6%	6.1%	48.1%	4.9%	0.3%

⑩（インカムや引継ぎ・記録による）必要な情報の受け取り

現在の状況

	回答事業所数	非常に効率が悪い	効率が悪い	一般的である	効率が良い	非常に効率が良い
計	429	0.2%	12.4%	76.5%	10.5%	0.5%
施設系	148	0.7%	16.2%	66.2%	16.2%	0.7%
居宅系	281	0.0%	10.3%	81.9%	7.5%	0.4%
居宅系内訳１	74	0.0%	13.5%	79.7%	5.4%	1.4%
居宅系内訳２	345	0.0%	5.5%	49.6%	4.9%	0.0%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく効率が下がった	多少効率が下がった	変わらない	多少効率が上がった	大きく効率が上がった
計	429	0.0%	4.0%	81.6%	13.8%	0.7%
施設系	148	0.0%	4.7%	75.7%	17.6%	2.0%
居宅系	281	0.0%	3.6%	84.7%	11.7%	0.0%
居宅系内訳１	74	0.0%	8.1%	82.4%	9.5%	0.0%
居宅系内訳２	345	0.0%	1.2%	51.3%	7.5%	0.0%

⑪主体性のある職員行動

現在の状況

	回答事業所数	非常に主体性が低い	主体性が低い	一般的である	主体性が高い	非常に主体性が高い
計	429	1.2%	18.4%	68.5%	11.7%	0.2%
施設系	148	0.7%	28.4%	63.5%	6.8%	0.7%
居宅系	281	1.4%	13.2%	71.2%	14.2%	0.0%
居宅系内訳１	74	1.4%	5.4%	71.6%	21.6%	0.0%
居宅系内訳２	345	0.9%	9.6%	42.6%	7.0%	0.0%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく主体性が下がった	多少主体性が下がった	変わらない	多少主体性が上がった	大きく主体性が上がった
計	429	0.7%	6.1%	78.6%	14.2%	0.5%
施設系	148	0.7%	6.8%	77.7%	14.2%	0.7%
居宅系	281	0.7%	5.7%	79.0%	14.2%	0.4%
居宅系内訳１	74	0.0%	4.1%	83.8%	12.2%	0.0%
居宅系内訳２	345	0.6%	3.8%	46.4%	9.0%	0.3%

■介護サービスの質の向上について

①利用者のニーズ変化への柔軟な対応

現在の状況

	回答事業所数	ほとんどできていない	十分にできていない	ある程度はできている	必要に応じてできている	余裕をもってできている
計	429	0.5%	9.1%	63.2%	26.3%	0.9%
施設系	148	1.4%	12.8%	58.8%	25.7%	1.4%
居宅系	281	0.0%	7.1%	65.5%	26.7%	0.7%
居宅系内訳１	74	0.0%	8.1%	59.5%	32.4%	0.0%
居宅系内訳２	345	0.0%	4.1%	40.6%	14.8%	0.6%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく悪化した	多少悪化した	変わらない	多少向上した	大きく向上した
計	429	0.2%	4.2%	75.1%	20.3%	0.2%
施設系	148	0.0%	6.1%	68.9%	24.3%	0.0%
居宅系	281	0.4%	3.2%	78.3%	18.1%	0.4%
居宅系内訳１	74	0.0%	6.8%	73.0%	20.3%	0.0%
居宅系内訳２	345	0.3%	1.2%	48.1%	10.4%	0.3%

②職員同士の協同のしやすさ（助けを求めたり、情報共有したりしやすいか）

現在の状況

	回答事業所数	非常に協同しにくい	協同しにくい	一般的である	協同しやすい	非常に協同しやすい
計	429	0.9%	7.7%	55.0%	33.8%	2.6%
施設系	148	1.4%	11.5%	51.4%	35.8%	0.0%
居宅系	281	0.7%	5.7%	56.9%	32.7%	3.9%
居宅系内訳１	74	0.0%	4.1%	56.8%	32.4%	6.8%
居宅系内訳２	345	0.6%	3.8%	34.2%	19.7%	1.7%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく悪化した	多少悪化した	変わらない	多少向上した	大きく向上した
計	429	0.5%	5.1%	70.6%	22.4%	1.4%
施設系	148	1.4%	4.7%	68.9%	24.3%	0.7%
居宅系	281	0.0%	5.3%	71.5%	21.4%	1.8%
居宅系内訳１	74	0.0%	4.1%	79.7%	13.5%	2.7%
居宅系内訳２	345	0.0%	3.5%	41.2%	14.5%	0.9%

③職員同士が心理的に安心して発言しあえる状況（風通しのよさ）

現在の状況

	回答事業所数	非常に発言しにくい	発言しにくい	一般的である	発言しやすい	非常に発言しやすい
計	429	0.9%	8.4%	60.1%	28.4%	2.1%
施設系	148	1.4%	12.2%	62.8%	23.6%	0.0%
居宅系	281	0.7%	6.4%	58.7%	31.0%	3.2%
居宅系内訳１	74	0.0%	2.7%	59.5%	32.4%	5.4%
居宅系内訳２	345	0.6%	4.6%	35.1%	18.3%	1.4%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく悪化した	多少悪化した	変わらない	多少向上した	大きく向上した
計	429	0.5%	5.1%	72.3%	21.2%	0.9%
施設系	148	0.0%	6.8%	66.9%	25.0%	0.0%
居宅系	281	0.7%	4.3%	75.1%	19.2%	1.4%
居宅系内訳１	74	0.0%	2.7%	81.1%	13.5%	2.7%
居宅系内訳２	345	0.6%	2.9%	43.8%	12.8%	0.6%

④各職員の介護に関する基本的な知識や方法の理解度

現在の状況

	回答事業所数	非常に低い	低い	一般的である	高い	非常に高い
計	429	1.2%	12.4%	76.2%	10.0%	0.2%
施設系	148	0.7%	16.2%	75.7%	7.4%	0.0%
居宅系	281	1.4%	10.3%	76.5%	11.4%	0.4%
居宅系内訳１	74	0.0%	5.4%	77.0%	16.2%	1.4%
居宅系内訳２	345	1.2%	7.2%	45.8%	5.8%	0.0%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく悪化した	多少悪化した	変わらない	多少向上した	大きく向上した
計	429	0.7%	2.3%	80.4%	16.3%	0.2%
施設系	148	0.7%	3.4%	81.1%	14.9%	0.0%
居宅系	281	0.7%	1.8%	80.1%	17.1%	0.4%
居宅系内訳１	74	0.0%	2.7%	82.4%	14.9%	0.0%
居宅系内訳２	345	0.6%	0.9%	47.5%	10.7%	0.3%

⑤現場リーダークラスの求められる業務に関する理解度

現在の状況

	回答事業所数	非常に低い	低い	一般的である	高い	非常に高い
計	429	0.5%	13.5%	73.2%	12.4%	0.5%
施設系	148	0.0%	17.6%	69.6%	12.8%	0.0%
居宅系	281	0.7%	11.4%	75.1%	12.1%	0.7%
居宅系内訳１	74	0.0%	10.8%	75.7%	13.5%	0.0%
居宅系内訳２	345	0.6%	7.0%	44.9%	7.0%	0.6%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく悪化した	多少悪化した	変わらない	多少向上した	大きく向上した
計	429	0.2%	4.0%	77.6%	17.5%	0.7%
施設系	148	0.0%	4.7%	74.3%	20.3%	0.7%
居宅系	281	0.4%	3.6%	79.4%	16.0%	0.7%
居宅系内訳１	74	0.0%	5.4%	81.1%	12.2%	1.4%
居宅系内訳２	345	0.3%	1.7%	47.2%	10.4%	0.3%

⑥管理職クラスの求められる業務に関する理解度

現在の状況

	回答事業所数	非常に低い	低い	一般的である	高い	非常に高い
計	429	0.5%	9.6%	76.5%	12.1%	1.4%
施設系	148	0.7%	9.5%	75.0%	14.2%	0.7%
居宅系	281	0.4%	9.6%	77.2%	11.0%	1.8%
居宅系内訳１	74	0.0%	9.5%	73.0%	14.9%	2.7%
居宅系内訳２	345	0.3%	5.8%	47.2%	5.8%	0.9%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく悪化した	多少悪化した	変わらない	多少向上した	大きく向上した
計	429	0.2%	3.7%	82.5%	12.4%	1.2%
施設系	148	0.0%	6.1%	78.4%	13.5%	2.0%
居宅系	281	0.4%	2.5%	84.7%	11.7%	0.7%
居宅系内訳１	74	0.0%	4.1%	79.7%	16.2%	0.0%
居宅系内訳２	345	0.3%	1.2%	51.9%	6.1%	0.6%

⑦各職員の仕事に向き合う姿勢（介護という仕事に誇りを持ち、前向きに取り組んでいるか）

現在の状況

	回答事業所数	非常に悪い	悪い	一般的である	良い	非常に良い
計	429	0.5%	7.0%	70.9%	20.5%	1.2%
施設系	148	0.7%	11.5%	70.3%	15.5%	2.0%
居宅系	281	0.4%	4.6%	71.2%	23.1%	0.7%
居宅系内訳１	74	0.0%	4.1%	73.0%	21.6%	1.4%
居宅系内訳２	345	0.3%	2.9%	42.3%	14.2%	0.3%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく悪化した	多少悪化した	変わらない	多少向上した	大きく向上した
計	429	0.2%	4.9%	77.2%	17.5%	0.2%
施設系	148	0.7%	6.1%	73.6%	19.6%	0.0%
居宅系	281	0.0%	4.3%	79.0%	16.4%	0.4%
居宅系内訳１	74	0.0%	4.1%	83.8%	12.2%	0.0%
居宅系内訳２	345	0.0%	2.6%	46.4%	10.7%	0.3%

⑧各職員の専門的な介護技術の習得度（麻痺のある利用者・興奮状態の利用者への対応など）

現在の状況

	回答事業所数	非常に低い	低い	一般的である	高い	非常に高い
計	429	0.5%	11.7%	75.8%	11.7%	0.5%
施設系	148	0.7%	18.2%	68.9%	11.5%	0.7%
居宅系	281	0.4%	8.2%	79.4%	11.7%	0.4%
居宅系内訳１	74	0.0%	2.7%	83.8%	13.5%	0.0%
居宅系内訳２	345	0.3%	6.1%	46.7%	6.7%	0.3%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく下がった	多少下がった	変わらない	多少上がった	大きく上がった
計	429	0.2%	3.0%	85.1%	11.7%	0.0%
施設系	148	0.7%	4.1%	79.7%	15.5%	0.0%
居宅系	281	0.0%	2.5%	87.9%	9.6%	0.0%
居宅系内訳１	74	0.0%	1.4%	87.8%	10.8%	0.0%
居宅系内訳２	345	0.0%	1.7%	52.8%	5.5%	0.0%

⑨各職員の利用者に対する観察力

現在の状況

	回答事業所数	非常に低い	低い	一般的である	高い	非常に高い
計	429	0.5%	8.9%	73.0%	17.0%	0.7%
施設系	148	1.4%	14.9%	68.9%	13.5%	1.4%
居宅系	281	0.0%	5.7%	75.1%	18.9%	0.4%
居宅系内訳１	74	0.0%	2.7%	79.7%	17.6%	0.0%
居宅系内訳２	345	0.0%	4.1%	44.1%	11.6%	0.3%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく下がった	多少下がった	変わらない	多少上がった	大きく上がった
計	429	0.2%	3.5%	77.6%	18.2%	0.5%
施設系	148	0.7%	4.1%	73.6%	20.9%	0.7%
居宅系	281	0.0%	3.2%	79.7%	16.7%	0.4%
居宅系内訳１	74	0.0%	2.7%	78.4%	18.9%	0.0%
居宅系内訳２	345	0.0%	2.0%	48.1%	9.6%	0.3%

⑩各職員のチーム意識の強さ

現在の状況

	回答事業所数	非常に弱い	弱い	一般的である	強い	非常に強い
計	429	0.9%	10.5%	68.3%	19.8%	0.5%
施設系	148	0.0%	15.5%	65.5%	18.2%	0.7%
居宅系	281	1.4%	7.8%	69.8%	20.6%	0.4%
居宅系内訳１	74	0.0%	5.4%	77.0%	17.6%	0.0%
居宅系内訳２	345	1.2%	5.2%	40.3%	13.0%	0.3%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく下がった	多少下がった	変わらない	多少上がった	大きく上がった
計	429	0.9%	5.1%	77.4%	15.9%	0.7%
施設系	148	1.4%	6.1%	75.0%	16.9%	0.7%
居宅系	281	0.7%	4.6%	78.6%	15.3%	0.7%
居宅系内訳１	74	0.0%	4.1%	85.1%	9.5%	1.4%
居宅系内訳２	345	0.6%	2.9%	45.8%	10.4%	0.3%

⑪職員と管理者のコミュニケーション時間

現在の状況

	回答事業所数	非常に少ない	少ない	一般的である	多い	非常に多い
計	429	1.4%	11.4%	72.7%	13.3%	1.2%
施設系	148	3.4%	15.5%	68.9%	10.8%	1.4%
居宅系	281	0.4%	9.3%	74.7%	14.6%	1.1%
居宅系内訳１	74	0.0%	5.4%	74.3%	18.9%	1.4%
居宅系内訳２	345	0.3%	6.4%	44.9%	7.8%	0.6%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく減少した	多少減少した	変わらない	多少増加した	大きく増加した
計	429	0.2%	6.3%	77.9%	14.5%	1.2%
施設系	148	0.7%	6.8%	75.7%	15.5%	1.4%
居宅系	281	0.0%	6.0%	79.0%	13.9%	1.1%
居宅系内訳１	74	0.0%	5.4%	83.8%	9.5%	1.4%
居宅系内訳２	345	0.0%	3.8%	46.4%	9.3%	0.6%

⑫職員間の人間関係に関するストレス

現在の状況

	回答事業所数	非常に多い	多い	一般的である	少ない	非常に少ない
計	429	1.9%	17.5%	67.8%	11.7%	1.2%
施設系	148	1.4%	23.6%	65.5%	8.8%	0.7%
居宅系	281	2.1%	14.2%	69.0%	13.2%	1.4%
居宅系内訳１	74	0.0%	6.8%	77.0%	12.2%	4.1%
居宅系内訳２	345	1.7%	10.1%	39.7%	8.1%	0.3%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく増加した	多少増加した	変わらない	多少減少した	大きく減少した
計	429	1.4%	12.8%	73.4%	11.4%	0.9%
施設系	148	2.0%	16.2%	67.6%	13.5%	0.7%
居宅系	281	1.1%	11.0%	76.5%	10.3%	1.1%
居宅系内訳１	74	1.4%	2.7%	85.1%	6.8%	4.1%
居宅系内訳２	345	0.6%	8.4%	44.1%	7.0%	0.0%

⑬各職員の、この職場で働くことに対する意欲

現在の状況

	回答事業所数	非常に低い	低い	一般的である	高い	非常に高い
計	429	0.5%	7.5%	78.1%	13.5%	0.5%
施設系	148	0.7%	12.8%	74.3%	12.2%	0.0%
居宅系	281	0.4%	4.6%	80.1%	14.2%	0.7%
居宅系内訳１	74	0.0%	2.7%	81.1%	16.2%	0.0%
居宅系内訳２	345	0.3%	3.2%	47.8%	8.1%	0.6%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく下がった	多少下がった	変わらない	多少上がった	大きく上がった
計	429	0.9%	4.4%	82.5%	11.9%	0.2%
施設系	148	2.0%	4.7%	79.7%	12.8%	0.7%
居宅系	281	0.4%	4.3%	84.0%	11.4%	0.0%
居宅系内訳１	74	0.0%	4.1%	86.5%	9.5%	0.0%
居宅系内訳２	345	0.3%	2.6%	49.9%	7.2%	0.0%

⑭各職員が自主的に利用者と向き合う時間（サービス後・サービス間のコミュニケーション時間）

現在の状況

	回答事業所数	非常に少ない	少ない	一般的である	多い	非常に多い
計	429	0.7%	15.6%	73.2%	10.3%	0.2%
施設系	148	1.4%	25.7%	62.2%	10.8%	0.0%
居宅系	281	0.4%	10.3%	79.0%	10.0%	0.4%
居宅系内訳１	74	0.0%	6.8%	79.7%	12.2%	1.4%
居宅系内訳２	345	0.3%	7.0%	47.2%	5.5%	0.0%

１年前と比べて

	回答事業所数	大きく減少した	多少減少した	変わらない	多少増加した	大きく増加した
計	429	0.5%	5.6%	81.1%	12.8%	0.0%
施設系	148	0.0%	10.8%	69.6%	19.6%	0.0%
居宅系	281	0.7%	2.8%	87.2%	9.3%	0.0%
居宅系内訳１	74	0.0%	1.4%	89.2%	9.5%	0.0%
居宅系内訳２	345	0.6%	2.0%	51.9%	5.5%	0.0%

■自由記述

（1）経済的コスト削減への取組状況や課題

施設	・光熱費、食材費の高騰　・建物の修繕費負担。
施設	ICT化によってペーパーが減ったりコピー機代が減ったりはあるが、大きなコスト削減となったところはないように思われる。
施設	ICT化による紙やコピー使用料のコストは減ったが、全体から見れば微々たるものであり、大きなコスト改善はできていない状況です。
施設	コスト削減に向けた取り組みとして、職員１人１人に向け意識への働きかけを行っている。
施設	スモールステップで取り組んでいるが、成果が見えづらく、進捗が遅い。
施設	ペーパーレスによる紙コストは下がったが、操作方法を教えることが増えた。
施設	ランニングコスト（修理・更新を含む費用）が新たに発生するようになり、経営を圧迫してきている。また、物価高騰や最低賃金の急激な引き上げにより他業種との賃金差を埋めるための費用が増えていることから、設備投資に充当する財源が確保できなくなっている。
施設	鋭意削減に向け努力している。
施設	何を取り組むにしても、経済的負担が大きい
施設	介護ロボット・ICT技術の導入費用が高額であるため、補助金の活用が必須である。
施設	介護機器の導入は補助金ありきの単価設定が多く現状コストが高いため、デモ等で入念に確認して効力があるものの選別に時間を要していない
施設	介護記録を電子化するため、補助金を活用した。まだスタート地点にあり、具体的な効果はみられていないが、ICTを進めながら、排せつや、見守りなどの機械を導入し、快適な生活と経済面の改善を図りたい。
施設	経済的コスト等、職員が理解しずらい
施設	現状だと、感染予防に関する衛生用品等の定期購入で削減できていないと思う。ペーパーレス化などに取り組んでも物価高騰で意味がないように感じている。電気、ガス、石油燃料も同様で何かの削減努力をしても何かが上がるなど、結果を見ると変化なしかマイナスになっている。
施設	行事の時に使う金額の減少
施設	施設が古くなると、設備にお金がかかる。
施設	施設の老朽化により導入が困難であり、設備の充実が必要。
施設	少ない職員配置にし人件費がかからないようにしている。物価高騰している為、削るのは人員となり生産性を上げていくしかない
施設	消耗備品の購入の面で安値の業者を探すなどコスト削減を取り組んでいます
施設	人件費、物価上昇による光熱費等の費用の増加
施設	節電節水するにも限度があり、質を確保しつつコスト削減が難しい。
施設	中間管理職が変えることへの抵抗感があるので、紙ベースの記録から脱却できない感じがする
施設	電気や消耗品等より安価な業者と契約したりしているがコスト削減には限界がある。
施設	電気代削減（契約内容の変更等）、オムツ代の共同購入
施設	当施設では、介護生産性向上を目的として、補助金を活用しインカムや見守りセンサー等のICT機器を導入し一定の効果が得られているが、導入時は補助金の活用により初期費用を抑えることができたものの、機器の保守費用、通信費、システム利用料等のランニングコストが継続的に発生しており、経営面での負担となっている。物価高騰や人件費上昇が続く中、質を維持しながらコストを抑制することは容易ではなく、今後はランニングコストに対する継続的支援や、運用面での助言体制の充実が求められる。
施設	物価高が続き削減が追い付いていない
施設	物価高により、コストはどんどん増えておりどうにもならない。
施設	物価高騰し経費がかさむ状況の中、利用者も減り空室が続き、本当に苦しい状況である。
施設	物価高騰により、経費はかさむばかり。削れるのは食材費であるが、利用者様には美味しいものを提供したいと思っている。
施設	物価高騰に伴う支出増に対する対応策が課題である。
施設	補助金があるので介護ﾛﾎﾞｯﾄ及びICTの導入を図れるようになって生産性向上に取り組みやすくなっている。
施設	補助金等を活用して導入しているが、情報が少ないと感じる。
施設	夜勤者不足の為、昨年10月に2ユニットから1ユニット経営へと変更したことで経営が厳しく、昇給が難しい状況である
居宅	・省エネ推進への取組み。各種事務の省略化、介護報酬引き上げ等を希望。
居宅	5S活動を柱とした推進運動（例：消耗品のリサイクル等・・・衛生的に問題ないことが条件で）。倹約なのか？ケチなのか？と各職員の意識感覚が異なるので、統一見解できるよう可視化するようにする。
居宅	fax送信ではなく　データ送信できるようになれば、ペーパレスにつながり経費削減になると思われる
居宅	ICT機器導入にはコストがかかるため踏み切れない
居宅	ICT導入を検討しているが、この点をこのようにできるといった、ケアマネ目線のレコーダー転記の紹介が少ない。
居宅	ガソリン代や、冬期間の除排雪費用や頻度。
居宅	コピー用紙の使い方、車での移動のガソリン等
居宅	パソコンや介護ソフトの更新にも補助金がないとやっていけない。
居宅	ペーパーレス化を図り、電子サインの導入や電子掲示板の活用をしている。
居宅	ロボット等の展示会があったが時間がなかった。導入にいくらかかるかわからない。
居宅	以下のどの項目についてもそうですが、まず人材不足です。人材がいないことには何も進みません。赤字を抱えながらも、地域の高齢者の生活を少しでも支えようとしている組織が業務継続できるよう支援をお願いしたいです。組織のみの努力では限界を超えています。いつになったら行政や関係団体は気が付きますか？生産性向上より人材確保です。
居宅	一人暮らし・認知症の方が増えて、訪問時間に留守が多かったり、キャンセルが多い。 介護請求ができない場面が多々あり。訪問前に電話をするが、出ないと安否確認が必要等、コストロスが多い。
居宅	一部でコストを削減しても他の分野でコストが上がり会社にっとてプラスにならない
居宅	円滑な記録、スムーズな連絡等の改善に向け、ICT機器を導入しているが、搬入コストが高く、費用対効果は短期間では出にくい状況。
居宅	課題は物価高に対する取り組みである。特に、介護用品（消耗品）と昼食の食材費の仕入れをいかに安く入手するかが課題であり、ECショップや新聞チラシをこまめにチェックして対応している。

■自由記述

居宅	介護ソフトへ音声入力できる状況を補助金を利用させていただき、行う事が出来ている。ケアマネジャーは記録業務の時間が長く、業務時間の削減になっています。また、電子ＦＡＸも取り入れ、紙やインク代の軽減にもなっています。
居宅	介護報酬が改定されても事業所の運営費に苦慮していて、職員への還元が乏しい認識がある。
居宅	介護報酬が低いため経費管理が非常に厳しいと感じている
居宅	記録を電子化する予定、記録用紙の削減へとつなげる
居宅	経営的に厳しいため、消耗品も自腹で購入し、コスト削減している状況。
居宅	経済的コスト削減のため対策をしようにも、導入コストがかかり取り組みできない。PCの整備等だけでなく物価上昇によりさらに経済的コストの削減が難しくなってきた。ケアプランデータ連携システムや情報の公表、介護ソフトは全て無料にしてほしい。
居宅	経済的コスト削減の課題として、初期投資の負担と資金調達が難しい。仮に導入したとして、導入後の効果測定の難しさがあり、コスト削減の成果が数値化しにくいケースが多く経営者への伝達が難しい。 物価上昇、エネルギー価格の高騰、人件費の上昇など、努力しても吸収しきれないコスト増が発生し、後回しになってしまう。
居宅	経済的な問題が大きい
居宅	経費節減に取り組んでいる。（ただし限界がある。）
居宅	現在、限られた人員と資源で運営しているため、経済的コストの削減に取り組んでいますが、一人事業所であることから業務効率化に限界があり、十分な削減が難しい状況です。
居宅	個人がコスト削減を意識して日常業務を行っており、気付き等を都度共有する事で、無駄を省く等の取り組みを実施している。
居宅	最低賃金が上がったが、報酬による収入は大きく変わらないため、月給職員の賃金変更は後回しになっている。そのため必要な人員が退職してしまう。
居宅	残業を発生させたくないが、現在の介護報酬だと人材確保するだけの金銭的余裕が生まれにくい。やることに対しての報酬が少なく、人材などへの投資の余裕を作りにくい。
居宅	紙の裏面をメモに活用している。
居宅	事業所の暖房機器は最低限の使用としている。
居宅	事業所全体であらゆる経費削減に取り組んでいるが、もう限界である。
居宅	車輌台数や継続的に購入していたものを見直し、減らしている。
居宅	人件費や物価高騰により、削減してきても目に見える成果が上がらない。
居宅	人材が集まらず、人件費にかかる金額が大きい割に、処遇改善で済ませようといった考え方を改善してもらいたい。
居宅	水道光熱費を少しでも抑えられるよう何度も職員に協力を求めている。安い日用物品を購入できるよう精査しながら買う事、ガソリンスタンドは安い場所で給油するなど。とにかく物が高いので一気に購入しないようにしている。
居宅	水道光熱費を少しでも抑えられるよう何度も職員に協力を求めている。安い物品を購入できるよう精査しながら買っている。今まで購入していた金額より全体で2倍以上高くなっている。
居宅	節約等で経費削減を図っているが、設備や消耗品の老朽化で修繕や買い替えが多い。
居宅	相談支援業務の為、連携ツールやデータ連携システムを導入しているが、。介護システムとの整合性不一致の問題や、各医療機関や事業所が非対応・またアナログ式の書類伝達の方法からの変化対応が難しく、またデジタル機器を介しての情報伝達は御法度と捉えている方もいまだ多く、デジタル化に対応できていない他事業所が多い為、経済的：業務負担の改善は難しいと捉えています。
居宅	代替できるものは安いものにしたり、まとめ買いや定期購入などで少しでも削減している。
居宅	単位数が減り減収、ランニングコストが上がり支出増、最賃上昇もあり減らせるところは減らしたが追いついていない。 サービスの質や消耗品、食品などをコストカットして結果QOLの低下に繋がるのは以ての外であるため、バランスが難しい。利益が出ないことには職員への賞与の支給にも差し障るため、維持するのも大変である。
居宅	日々の業務について、消耗品や移動コストの見直しをしています。一方でIST機器やシステムで導入には初期費用が掛かるため、短期的なコスト増と、病院PCのため通信機器と混同することが問題となっている。
居宅	売り上げが一定ではない中での、賃金アップが難しい。看護職員も介護にあたっているため、賃金の振り分けに困ることがある。
居宅	備品の節約
居宅	必要最低限で日々業務を行っています。
居宅	物価高、燃料高騰により経営に影響がある。
居宅	物価高で苦しい。新品のパソコンが買えず中古で対応している。
居宅	物価高に対して様々なコスト削減を行っているが何一つ改善しないことが課題。
居宅	物価高騰による経費が増加しており、コスト削減が難しい。社用車を減らすなどして対応中。新規利用者獲得が難しく、厳しい状況。
居宅	物価高騰を踏まえ購入先の変更や、定置定量を行い余分な発注を防いでいる。
居宅	物品、食材など配達サービスをできるだけ使わない。
居宅	物品管理をしっかりすることで余分な経費削減に至っている。
居宅	補助金や助成金の申請を確実に行えるようにしている。 食料品やガソリン代、電気代などの価格高騰がある一方、利用料の支払いが困難な利用者が多く、実費料金の値上げも難しい状況。
居宅	補助金をうまく活用しながらＩＣＴの利用を進めていきたい。
居宅	補助金情報があると検討しやすいです。
居宅	訪問看護の職員も利用者も多くないので、現状のままでも良いと思っている
居宅	訪問日程の調整(近いところで回れるように)とか
居宅	本社判断で進められるため、進捗状況が不明なところが有る
居宅	毎月のFAXをＡＩ機能付きのインターネットFAXサービス活用し、紙の消費量を大幅に削減した。

■自由記述

（２）時間的コスト削減への取組や課題

施設	3M活動の取り組みにより改善に努めている最中です。しかし、視点が狭い考えしかできていないし、取り組む時間に余裕がない。日々の業務で精一杯です。人材不足なので。
施設	ICTの活用を全職員が理解し行えるのかが課題。
施設	ICT機器の活用により、時間的コスト削減は可能である。ICT機器等の使用に不安が大きい、操作方法を覚えるのに時間がかかる、苦手だから手を付けないなど、周知、理解、実行までに時間がかかることもあった。何が必要で何が余計なのか、介護保険のルールも複雑なので解釈の仕方も広い。そのようなところから、分かりやすくしていくことで不要な業務を一斉に減らせるのではないか。ローカルルールの存在も大きい。
施設	インカム導入により、看護職員を探す手間が減少した。課題としてインカムの使用にばらつきがある。
施設	コスト削減は難しく、職員が不足しているとすこしづつ残業が発生する。時間の削減すると利用者へのサービスが思うようにできない。
施設	じかんがいきんむさくげんによりしごとがちゅうとはんぱである。 いよくていかにつながる
施設	シフト作成、記録作成など、AIを活用する事が理想。音声データから文字起こしは安価で機材も販売しており、入手しやすいが、シフト管理などは高額なイメージがある。 費用対効果が分かりやすいと導入の提案しやすい。
施設	家族との連絡網にラインを活用することで電話を掛ける事に時間を割かなくてよくなった
施設	介護ロボットなどテクノロジーを活用し、業務の改善や効率化をすすめ職員の負担軽減を図り、その生み出した時間を直接的な介護支援やケア会議等にあて、利用者と職員が接する時間を増やすなど介護サービスの質の向上にに繋げていたい。課題は実用に向けての職員研修やルール作りと考えています。
施設	介護記録のICT化およびタブレット端末の活用により、記録時間の短縮と情報共有の迅速化を図っている。また、補助金を活用して導入したインカムや見守りセンサーの活用により、職員間の移動時間や夜間巡視の負担軽減、緊急時対応の迅速化期待されるが、導入したばかりでありフル活用とまでは行っていない状況。
施設	介護記録等のICT化を進めているが時間を要している
施設	介護記録等の時間削減を課題として介護ソフト等に取り組んでいきたいです
施設	介護職員の時間は確保できているが、近隣の医療機関減少や救急対応の受け入れ先が青森市内の医療機関となったこと、専門医療機関への紹介が多くなってきたことから、移動時間に要する時間が増加し、看護職員の業務負担が増加している。物理的な時間の制約が課題である。（精神病院では一部オンライン診療も対応していただいている。他の医療機関でも経過観察のための受診頻度をオンライン診療により対応できるようになると改善が期待される）
施設	機器の活用が不可欠だと思う。 提出書類の削減
施設	記録最小化、専門職記録時間ゼロ化が必要と考えます
施設	業務の役割を決め分担している。
施設	現場業務以外、研修記録や委員会資料作成等にかかる時間が増えている。
施設	現状のスタッフ体制だと制約もある。
施設	効率化のためＩＣＴ化を進めているが共有できなかったり効率良くなっていない。年配の職員は新たな機器の操作や登録に関し理解が難しく、月日が経っても活用できない人がいる。
施設	効率的に業務しても時間がない時は時間がないと感じる。人員を増やすとコストはかかる。
施設	紙媒体からタブレットへの変更。これにより、介護ソフトへの入力がダイレクトになった為、入力時間の削減に繋がった。
施設	取り組みに至っていない。
施設	新しいナースコールの導入（テクノロジー機器・令和7年度中）
施設	人手不足により、日々の業務に追われ、取組を行う時間がとれない。
施設	日勤者が確保できているため時間は十分あるが生かし切れていない
施設	募集をしても、応募がないと今の職員で頑張るしかなく、時間コストはなかなか削減できない。
施設	報酬改定による加算項目の追加によって、加算要件を満たすために実施する内容が年々増えており、効率的・効果的な運用方法を模索している。
施設	冷凍配送のメニューを取り入れて調理にかかる時間を少なくしたことで、以前より利用者のことに手が回るようになった。人員不足の時間を少し補えるようになった。
施設	老健であるため、多職種の兼合いが多く、検討に時間を要している
居宅	ICT機器による時間短縮はしているものの報酬改定や利用者増に伴い書類作成が増え教育に避ける時間確保が難しい。
居宅	・適材適所の業務分担の実施。事業所における慢性的な人員不足が課題。
居宅	ＡＩの活用を進めていきたい。
居宅	ＡＩを活用したいと考え、準備中。
居宅	Google Workspace を活用し、書類作成時間や情報共有に割く時間を大幅に削減した。 他事業所ともチャットツールを活用し、連絡調整の時間を大幅に削減した。
居宅	ICT化を進めている最中で、結果は少しずつ出てくると思われます。
居宅	ＩＴの活用で記録業務の効率化を図る事で、業務負担軽減を考えている
居宅	いままでデイサービスの効率的提供についての業務改善に取り組んできたが、人力だけでは限界にきている。今年度よりIT機器の導入を積極的に増やして対応していきたい。
居宅	クラウドソフトやLINEワークスなどの活用により転記や申し送りなどの時間を節約している。
居宅	サービス時間とサービス時間のロス時間の積極活用（疲労感を感じない程度で）
居宅	タブレットなどの導入ができれば効率は良くなるはずである
居宅	タブレットを導入し、記録等に係る時間の削減に取り組んでいる
居宅	タブレット活用で移動待機時に記録の音声入力や写真を撮り文字おこしをさせ貼り付けするなど時間活用の工夫をしている。また、ボイスメモを活用し、AIで会議録作成をしたり時間の使い方の工夫をしている。しかし、個人情報保護のセキュリティについて、はっきりしたものが分からず迷っている事が多い。（介護保険証等の個人情報は、FAX,メール、ラインワークスで送付してもいいのかなど）

■自由記述

居宅	タブレット端末やインカムを用いて、記録や電話での伝達を削減すること
居宅	一人体制で業務を行っているため、時間的コストの削減に取り組んでいますが、業務量が多く効率化には限界があり、改善が進みにくい状況です。
居宅	加算を取るための記録や、研修記録等に時間を取られるのが課題。
居宅	介護職員が高齢なので操作が苦手、若い職員に頼っている。
居宅	各営業所ごとに階差が有る可能性が有る
居宅	記録をタブレットを使うことにより、残業が減った。
居宅	業務に偏りが生じているが、解消できていないことが課題。
居宅	業務の効率化を図っている。
居宅	業務改善に常に取り組むも、限界はある。相談業務は簡易的には行えない。
居宅	業務改善を図っているが、作業能力にムラがあり平均化されない
居宅	業務時間内の私語を減らして時間内に記録など終わらせるようにしている。
居宅	業務上外回りが多く、勤務時間の半分が移動時間になることもある。出先で帳票類の作成が出来るようになるとタイパが上がると思われる。
居宅	現在使用している介護ソフト＋αとしてAIを用いて介護記録などの効率化、短縮化を図りたいが、現状なかなか進んでいない。包括として市役所ともつながっている介護ソフトなのだが、非常に効率化という意味では、非常に遅れている印象。
居宅	古いパソコンは起動や画面の切り替えに時間がかかる。更新したくてもなかなかできない。
居宅	今は特に行っていない。今後、ケアプランデータ連携システムの活用により、不要な書面でのやり取り、書面の配布時間の削減に取り組めると考えている。
居宅	最低賃金が上がったことで、扶養範囲内で勤務する職員の勤務時間を大幅に制限する必要が出てきた。その分は他の職員が時間外対応や担当業務以外の業務をすることで賄っている。非常に効率が悪い。
居宅	残業が発生せずに働きやすい環境を整えるために書類作成時間の短縮に取り組みたい
居宅	施設以外の事業所のICT化補助金制度希望
居宅	紙の使用を削減したいがIC機器に不慣れな職員が多いため難しい
居宅	事業所自体が少ないので、通院などヘルパー対応困難な時はケアマネが動くしかない状況を解決していきたい。 件数を持てばもつだけ、記録しなければいけない時間や量も増える。求められ担当件数を増やし過ぎても、ケアマネへの負担が増えるだけで、法人経営の為、個人の収入しは繁栄しない。給与面での評価がなければ、頑張れば頑張るだけ自分たちが苦しくなるだけ。
居宅	事業所所在地が市役所、医療機関の多くから距離が離れていることから時間的なコストは解決出来ないと考えている。職員の負担が少なくなる方法で法人内の別の事業所においても業務が可能な環境を整えている。
居宅	時間は記録入力の時間の削減ができている。ケアプランデータ連携システムや介護ソフトでの電子的な提供表などの情報提供ができること、実績入力の時間も軽減できている。
居宅	実働で業務しており、研修等でも時間をとられてしまう業種であり。時間コスト削減は不可能であると考える。毎年の実地指導が終わる度に業務負担が増えている。
居宅	就業時間内に終わらせるようにしている
居宅	出来ていません。
居宅	処遇改善加算を算定するにあたり事務作業が増え、時間外でおこなうことが増えている。
居宅	書類関係・業務の簡略化について常に見直しを行い、改善をしている。現在大雪による交通渋滞等で、残業時間が大幅に増加している。
居宅	書類作業がやはり多い業界だと感じる。
居宅	上記回答同様。　また介護支援専門員の高齢化に伴い　デジタルツールの活用迄が非常に難しくなっている為　便利製品が出ようと活用運用迄に　かなりの時間を要し普段の業務以上に手間が発生した事もあった。
居宅	情報共有方法についてはICT機器を積極的に活用し、できるだけタイムリーに情報がいきわたるようにしていますが、管理者から情報を発信する際にICT機器を操作して入力する作業を確保する必要があり、業務状況によってはラグが生じていることが課題です。
居宅	職員数は多くないが訪問件数が少なく余裕をもって業務が出来ている
居宅	人員がギリギリの中で誰かに物事や仕事を教える時間がとりづらい。十分な人財確保が難しい。
居宅	人員不足により時間的コスト削減は今後も難しい。
居宅	人件費を削減しようとすると、研修や委員会活動の為の時間捻出が難しい。
居宅	人件費削減、物品の修理の多さ
居宅	整理整頓で物品管理を見えるかしている。
居宅	生産性向上として記録用タブレットの導入ができたばかり　今後に期待している
居宅	探し物をしなくて済むように整理整頓を心掛けるよう取り組んでいるが、定着しない。
居宅	中山間地域なので、移動時間が長い。（片道30分）近隣、事業所の廃止があり、利用者の事を考えるとお断りできない。 訪問介護はサービス時間以外に、時間と費用が掛かりすぎる。有料ホームなどを基本に報酬を決めないで欲しい。
居宅	電子化するが、タブレット等慣れが必要
居宅	電話対応来客対応により、業務が中断されること 記録様式が多い。
居宅	冬は渋滞などの状況から、移動時間が多くかかる。特に大雪だと訪問するのに職員が雪かきをしてからサービスに当たることも多い。今年は訪問できずにキャンセルになった件数が非常に大きかった。可能な限りは車両を離れた場に停めて、浴槽を運ばないため清拭で清潔保持につとめた。
居宅	同じ内容を何度も説明しなくてもいいようにLINEを使用し情報共有を行う、業務の無駄を省くために整理整頓を心掛ける。全職員に浸透していないのは課題。
居宅	毎月職員目標を掲げ、時間と費用の使い方について周知・徹底し、業務上での具体的な個人の取り組みについて共有しています。
居宅	様々なコスト削減を行っているが何一つ改善しないことが課題。
居宅	利用者様宅への訪問経路変更、出発時間変更等で対応しています
居宅	質問の項目が多すぎる、アンケート進行状況等記載すべき（〇/△等）

■自由記述

（３）人材育成や定着に向けた取組や課題

施設	ICT機器の導入により、適正人員配置に近づいているが、職員教育が疎かになっていると感じる。教える職員も育たない。
施設	しょくいんかんでおんどさがあり、こうかてきなじんざいいくせいができていないとかんじる
施設	維持管理費増と減収もあり、所得が上がらず職員のモチベーションが上がらず離職者も増えている。
施設	育成・教育、コミュニケーションやＤＸ推進時間を確保するためのコストを捻出できるような支援方針をしてほしい
施設	育成に関わる職員の育成が困難。
施設	育成のためのエネルギーが無くなってきています。研修やOJTへの取り組みが低下していまし。
施設	確実な実習生の確保に努めている。
施設	今現在でも職員の高齢化で若い職員が入ってこない。管理者をやる人がいない。
施設	資格取得の援助
施設	資格取得を支援したり、働き方について相談に応じている。課題は若い人材が不足しており、求職者が少ない。
施設	事業所において生産性向上に取り組み職員の負担軽減を図り労働環境の整備に努めるとともにOJTについても実施し、法人においても人材育成にかかかる研修や支援にも積極的に取り組んでいるが、介護育成校が減少する中で介護への求人が少ないのが課題である。
施設	事業所を運営する管理者の育成ができていないのが大きな課題です
施設	若い職員は休暇を優先する傾向が強いためそれに沿ったシフトを組むようにしている。
施設	若手職員とベテラン職員の間を担う中堅層が少ないことが大きな課題となっている。将来の中核を担う職員が定着しきれず退職するケースもあり、結果として指導体制が十分に機能しない状況が生じている。さらに、看護職員の確保が年々困難になっており、医療依存度の高い利用者が増加する中で、現場の負担は増している。採用活動を継続しているものの応募自体が少なく、既存職員への業務集中や時間外勤務の増加につながることが、定着の妨げとなる悪循環も懸念される。
施設	取り組みに至っていない。
施設	職員不足により、研修や心理的な負担をサポートする余裕が無い
施設	人員不足の補充ができない状況であり、職員の高齢化が顕著にみられるため、世代交代が必須となっている。現状では人材育成、定着に向けた取り組みができていない状況。
施設	人口減少が顕著で、商店や工事業者等も少なくなり若い人が住みにくい地域となっている。
施設	人材育成が課題。人手不足で指導する時間がとれない。働く職員の高齢化が進み、年々体力低下し理解力も衰えてきている実際、意識向上する事も厳しい。
施設	人手不足により、新任職員等（外国人特定技能生）にじっくり教える時間が取れない。
施設	地域性があり（人口減少、就労人口の減少、専門資格者の確保が難しい）
施設	中途採用の人材は増えるが、若年層が増えづらい。
施設	賃金改善、キャリアパス制度の見直しなどに取組み人材定着に取組んでいる。
施設	定着はよい方だと思うが、長い人ばかりになって、生ぬるくなりがちである。
施設	日々の業務に時間を追われ、人材育成の時間を充分に確保することが難しい。
施設	募集しても職員の応募がない。
施設	募集を出しても応募がないのが実情。定着には家庭と仕事の両立、休暇の取りやすさ、賃金など要件は多岐に渡ると思う。対応できない事業所の方が多いのではないか。介護報酬改定で過去のマイナス改定などの影響が今出ていると思います。
施設	法人全体での研修や研修資料を共有できるようになった。しかし、教育担当の職員への負担（時間的余裕・さまざまな準備や報告など）は改善しきれていない。
施設	法令上の人員基準では、十分な取り組みができない。
施設	労働時間の調整等
居宅	「報酬の低さ」「地位を低く見られている」「いつまでも質の向上を言われ士気が下がる」ことが課題。職場環境だけではなく、職種に対する国の評価や世間の評価が悪い事により人材の定着は難しい。
居宅	ケアマネジャーのスキルアップには時間がかかることが課題。
居宅	ケアマネジャーは、育成に時間がかかる職種だと思います。法人全体で、計画的に行うようにしていますが、違う職種での退職者が多く、なかなか、配置が難しくなっていることもあります。
居宅	スタッフの収入を上げても社会保険料などの負担が大きく実感がない
居宅	スタッフ育成
居宅	そもそも人材不足の状況で育成や定着にむけた取組を現場レベルに求めていること自体異常な状況だと感じる。
居宅	チームでご利用者様の課題を検討し、いろんな視点で考えることでたくさんアイディアを出しながら実践することを繰り返していますが、他利用者様にも応用しながら再度検討できるためスキルアップにつながっています。
居宅	できる限り研修に参加している。
居宅	どんなに時間をかけて育成しても、給与面の課題で離職してしまう。 業務改革、経費削減のためには職員1人あたりに高い技術スキルを求めなければならないが、そのスキルを持った職員はどんどん減っており、任せられない状況。効率化は難しい。
居宅	プライマリーを取り入れ、経験に応じて職員変更で対応しています。
居宅	やはり、入社後3年目くらいから成長が見られるため、そこまでに退職しないような見守る体制が大切だと思います。管理職の質も上がり、年々と離職率が下がっています。
居宅	わからないっことなどあったら、管理者だけでなく、先輩職員も教えている。
居宅	異業種からの人材を受け入れ、懇切丁寧に手取り足取り指導している。介護人材もそうだが、専門職の人材確保は、更に困難である。若年層の受け入れでジェネーレーションギャップを感じている。
居宅	育成しても辞めてしまう
居宅	一人体制で運営しているため、人材育成に十分な時間を確保できず、定着に向けた取り組みが進みにくい状況です。
居宅	介護で働く職員が減少しているが、国として目に見える対策が分からない。
居宅	介護員全員を集めて会議は難しくなってきている。利用者のグループごとに研修を実施している。（ウエブ会議・研修も随時実施） キャンセルがあった時も、登録ヘルパーさんへの日当は計画通り支払います。 ソフト導入で、スマホで訪問記録・報告を可能にし、直帰直行で時間の削減をしています。

■自由記述

居宅	介護現場でのＩＴ活用をどんどん進めていきたいが、「WI-FI環境がない」、「事業所内でネットにつながっているPCが１台のみ」、「メールは使用していない」など課題が多い。 介護現場は長らく人材不足で介護スタッフの高齢化が著しい。若い年代が職業選択の１つとして選択してもらうにはICTは不可欠です。 自事業所だけで進めるには限界があります。県をはじめ、市町村全体で進めていく課題だと思います。
居宅	介護支援専門員には、処遇改善手当てがなく介護員との給料の差が出ているため、意欲の低下がみられる。介護支援専門員は介護保険だけではなくあらゆる福祉の活用が必要であったり家族の調整など負担が大きくなかなかなり手がいない。法人内にも介護支援専門員資格取得者はいるが、異動を拒んでいる傾向にある。
居宅	介護職員の高齢化が進み、なんとかお願いして働いてもらっている状況。若い人材確保が難しい。
居宅	各職員とのコミュニケーションを積極的に多くしているが、諸々の書類に追われ時間が少ない。
居宅	看護師が、悩み等相談でき、勤務時間等柔軟に対応できるよう取り組んでいる。
居宅	管理者、職員間でのコミュニケーションを多くとるようにしている。会社の経営状況の悪化により、先行き不安を抱えている状況から、職員の仕事に対する意欲の低下が伺える。
居宅	管理者による定期及びの必要時の面談の実施。事業所における慢性的な人員不足が課題。
居宅	給料さえ上がればやる気もおき定着率は上がるはず、育成のためにWEB研修を活用中
居宅	教育環境はしっかりしている。特に社内全体での研修などは頻繁に実施されている。
居宅	業務負担を軽減し働きやすい職場をつくる。
居宅	経験の浅い介護支援専門員に対する教育や、日常業務での積極的に質問する事を約束事とし、疑問を持ったまま業務を継続しない様助言・指導している事で、事業所全体の底上げを図っています。
居宅	研修に積極的に出席するようにしている。また、事業所内での共有をしている。
居宅	研修時間を取り人材育成がしたいが、職員の確保が難しいので、日常に追われてしまう。
居宅	見えにくい面も有るが、人間関係問題は常に有る。また資格が有れば、他事業所でも働ける言う考え方は常にあると考えられる
居宅	個々に自己啓発できる、手軽に手にできる資料や文書が有ればと思います。
居宅	個人的に悩んでいる事などをしっかり聞き、働きやすい環境になるように管理する。特にシフトや有休に関して取りやすいように会話を多くしている。新人教育は都度その場で振り返りが出来るように指導している。先輩職員に聞きやすい環境作り。少しずつほめながら伸ばす。技術的な問題は研修に行く機会を設ける事が時間的に難しく行けていないため内部研修のミニなっている。
居宅	今後は、デジタルツール運用や活用についての研修参加が必要かと感じています。
居宅	社会研修の充実化を図っている。
居宅	若者の介護職の就職率が低く、低賃金が原因の一つではないかと考える。地味な仕事でもあり、現代の子どもにとって魅力的ではないと感じているのではないかと思う。
居宅	手順の作成、OJTの仕組みづくりに取りかかりたいが、管理をしながら利用者の支援もあり、時間を作るのが難しい。
居宅	賞与、昇給、賃金ベース金額のアップなどについて難しい状況。他業種より賃金ベース金額が低いため、特に20代～30代の若い世代が他業種に流れてしまう傾向にある。一方、50代～60代の他業種で就職困難者が多く希望されるため、スタッフの高齢化が進んでいる。
居宅	職員の高齢化が進み、今後の事業所継続には不安がある
居宅	職員の高齢化は否めないが既に人材育成に取り組んでおり、現在の所は大きな問題はないと考えている。
居宅	職場環境の改善、職員同士間、管理者と職員とのコミュニケーションを多くはかる
居宅	新しい人材がなかなか入ってこない状況で今後の運営などに不安を覚えている。
居宅	人員不足のため外部研修等受けさせたくても受講できない。
居宅	人員不足も相まって日々の業務に追われ、きちんとした育成や研修が満足に出来ていない。OJTをおこないたくても調整が難しい。
居宅	人間関係改善個別面談、指導の実施
居宅	人材育成にかける時間の捻出が大変である
居宅	人材育成に関して、個別学習が多いため意見交換や共有する機会が持てず、チーム力が強化しにくい。現在は定着しているが、人材不足によるケア不足感が強く、やりがいが感じにくく離職にならないか危惧している。
居宅	人材確保困難　求人を出しても応募が無い
居宅	生産性向上に取り組むことで時間を生み、良い時間の使い方をしていきたい
居宅	退職者がいた事、人手不足の中、入職した職員の経験値不足から指導の難しさを感じる事が多い。
居宅	定期的な研修への参加を必須にしており、学びを、共有するための勉強会や伝達講習を開催しているが、開催回数か少ない事か今後の課題である
居宅	当法人は青森県の認証評価を取得し、人材育成について注力してきた。おかげさまにてスタッフの介護スキルは向上し、利用者の方々にも好評である。今後は生成AI等を取り入れてスキルの向上を目ざしたい。
居宅	働いたら働いた分、賃金面での評価が必要。又、休日が多くなければ定着はしないと思う。
居宅	日常業務の中での声掛けや振り返りを大事にし、人権育成に取り組んでいます。
居宅	日々の業務でいっぱいなので外部研修に行けていない。
居宅	法人内での異動がほとんどだが、少人数の事業所のため回数が多くなると今いる職員への負担がかえって重くなってしまう
居宅	有給休暇の申請のし易さ、福利厚生（休憩室の環境改善、生命保険の加入など）の充実
居宅	話しやすい職場環境を作る事、不当な人事異動がないよう上層部に掛け合うようにしている
居宅	正直で率直な意見を言わせてもらうと、社会における所謂「優秀な人材」は介護業界には来ない。「介護は誰でもできる仕事」「他に行くところがないから介護職に就く」的な考えが多い中で、それでも来てくれた人をいかに教育して「良い人材」に育成させるかが、現実問題の1つとしてある。それは恐らくあまりオープンに知られていない事のように思う。その中で、一般的な「コーチング」「コミュニケーション能力」等の研修を受けても、それ以前の問題や課題があり、その研修内容では現場職員は誰も響かない、といった人材の集まりでもある。 賃金を上げれば上げる程、「介護職のままで良い」「リーダーや管理職になると夜勤がない分手取りが減るし大変そうだからなりたくない」「相談員やケアマネになっても手取りが減るから高みは目指さない」という声が聞かれ、結果的に現場の底上げも難しい。 人材育成や定着が出来たら加算や手当を上げる、また、その人材を育成している管理職にも同様に手当てをつける、そういった成功報酬的な仕組みを考えていかなければ、結果は同じであるように思う。
居宅	働きやすい職場だと思っているが、採用した若い職員は心が病んでいる人が多いと感じています。

■自由記述

（４）行政や関係団体に求める取組や支援

施設	アンケートや提出書類が多い。時間がとられている。
施設	その都度の補助金対応と真摯に情報提供をいただいている。
施設	もっと簡単にもらえる補助金が増えないと導入するにもコストがかかりすぎる
施設	ルールをシンプルにすることで確認や関連する業務の作業時間の削減ができると思います。ルールの内容が多すぎるので何百ページにも及ぶ資料が発生し資料作成にも膨大な費用と時間が発生しているのではないでしょうか。そのルール下で働く各事業所職員も同様だと思います。シンプルにすることで色んなことが変わると思います。
施設	加算項目を増やすだけではなく、加算の統廃合や、加算を取得しやすい（解釈し易い、加算要件の確認がし易い）仕組みづくりの検討をお願いしたい。
施設	加算要件の緩和、人員配置の緩和を求める。
施設	介護は人の手で行う仕事であり、職員の専門性と人間性が支えています。介護職員が誇りを持って働き続けられるよう、報酬の引き上げをお願いいたします。
施設	介護業務の負担や給与面での支援をより一層お願いしたいです
施設	介護職（医療、福祉業界）に魅力やメリットを感じる「なにか」ができればもう少し入職者が増えるかもしれない。若者が介護職を選択する取り組みをしてほしい。
施設	介護職への賃金アップ
施設	介護人材、特に中堅層職員および看護職員の不足は深刻であり、現場努力のみでは人材確保・定着を図ることが極めて困難な状況である。このままではサービス提供体制の維持にも影響が生じかねない。 持続可能な介護提供体制を確保するため、賃金水準の底上げにつながる恒常的な財政支援、地域単位での人材確保施策の強化、ならびにICT等の運用継続に対する支援拡充を強く求めるものである。
施設	介護人材育成等のコーディネート等の支援
施設	介護報酬が変わった場合等の集団指導と情報がほしい
施設	介護報酬額が上がらないので、何を取り入れるにしても、事業所の負担が大きい。
施設	外国人労働者に対しての様々な支援をお願いしたい。
施設	給料をもっと上げて、テクノロジーも使って重労働にならないようにしてほしい。
施設	空室状態が改善せず、町内に待機者もない状態。他町村からの受け入れ基準も緩和してほしい。
施設	今後、定員数を確保できない状況が発生してくることが予想されているが、施設の維持費等に要する費用は増加してきており、わずかでも利用者が減ると、利用者が居ても施設を運営できない状況となる。過疎地域であっても最低限の福祉サービスを提供できるよう、介護報酬で確保できない運営費の補助など、地域の福祉を存続させるための施策・支援を行っていただきたい。
施設	取り組みに至っていない。
施設	処遇改善も大事だが事業所の運営については厳しく、入居率100％でも人件費率だけで80％とても正常とは思えない。到底無理な加算や事業規模で変わる補助金等ではなく基本報酬を上げていただけるように働きかけてほしい。
施設	新規加算などで収入を確保するのでなく、根本的に給料が上がる仕組みでないと、検討委員会や会議、資料作成等にて業務に追われるだけ。介護員や管理者の担い手が不足する原因でもあるのではないのかと感じます。 一番コストが掛かるのは、職員であり管理者も業務に入らないと回らない。
施設	人材を派遣して欲しいです。自力では無理が生じてきています。勤務が年々作れなくなっていますし、時間外が多くて介護職員は疲弊してきています。
施設	生産性向上に係る研修や介護ロボット、ICTを活用した実用事例等の紹介やマニュアル作り等に関する情報提供があればうれしい。
施設	生産性向上は努力ではなく、運営基準に規程のほうがよいのではないかと考えます
施設	生産性向上推進加算の算定に向けた取組を行っているが、結果的にさらに会議・研修・報告等の対応が増えてします。今までに増え続けてきた委員会活動などを一体的な実施の可能、または、減らすことも検討してほしい。
施設	地域の利用者が減っていて待機者がいない状況が何か月も続いている。他町村からの受け入れがしやすいような基準を検討していただきたい。
施設	物価高に対する介護報酬が見合っていないので、早急に対処してほしい。
施設	物価高騰で経費がかさんでいるが収入として入ってくるものは変わらない為、事業所としての収入が上がる仕組みにしてもらわないと人材確保や処遇改善にあてられない。
施設	保険者の現場理解を前提に、地域に合わせた基準緩和
施設	補助金による支援は引き続き活用したい。機材などの導入前に、あおもり介護生産性向上相談センターへ課題を相談すればよかった。テクノロジー関係は、苦手な人も多い。自分自身も理解が薄く、よくわからない部分が多い。青森県内各地で開催するイベントも有効だが、実際に自施設の課題などを一緒に紐解きながら、サポートしてもらえる体制があると良い。
施設	補助金や試用貸し出しを続けてほしい。
施設	法改正や助成金等の支援はありがたいが、単独運営の事業所は取り組みの際、難しく解釈や理解に苦労しているため、事務手続きなどがもっと解りやすいと助かります
居宅	・各種事務の省略化、介護報酬引き上げ、各種助成等を希望。
居宅	BCPが重要視され、作成や研修などに時間を割いているが、実際に災害が起きたときに役に立つのか疑問がある
居宅	ICT機器のレンタルの多様化
居宅	ICT導入や業務改善に関する助言、ならびに補助制度のさらなる充実を期待しています。
居宅	いくら行政が支援してくれても、職員に給与として還元するのは事業所の運営側なので、運営への指導の強化等を希望する。
居宅	ケアマネジャーの育成や利用者1割負担の導入など、常に、制度の根幹を揺るがすような検討がなされています。そのことで、ケアマネジャーの仕事が選ばれなかったり、大変だよねというイメージがつくこともあると思います。利用者や家族に一番近い存在であるからゆえに、苦労もありますが、これからの人がこの職種を選んでいただけるよう、法整備も含め、国の今後の介護の在り方にも触れながら、みんなが高齢化社会について、考えていくべきと思います。
居宅	ケアマネの給料を上げてほしい。魅力が少ない。
居宅	こういったアンケート、報告書含め、もう少し入力効率などを考えてから出して欲しい。 UI周りの最適化不足を感じます。

■自由記述

居宅	依頼される事はとても喜ばしい事だが、地域包括等からの依頼で、担当件数がどんどん増えてなんとか対応はしてはいるが、増えるだけ苦労や業務が多くなり、利用者様１人１人への支援の質が低下する気がする。何件担当しようが、法人からの金銭的な評価を得られる事が難しいので、行政側でケアマネに対し、金銭的な支援はしてもらえないものか。 シャドーワークもこなし、利用者に安心して生活を営めるように必死に動いている私たちケアマネが報われる日を待ち望んでいます。
居宅	意見をしても良くならないと考えられる・
居宅	介護ソフト、PC機器購入の助成。BCP作成や虐待防止指針等の見本(ひな型)の提示。加算等で介護報酬をアップさせるのではなく、一律報酬アップに取り組んでほしい。
居宅	介護現場の実情を踏まえた制度設計や事務負担軽減につながる書類様式の簡素化を期待します。
居宅	介護現場の実態把握（介護職員の給料の安さ等の課題等）の向上と、介護事業所への様々な支援強化を図っていただきたい
居宅	介護支援専門員の賃金を上げられるような政策、取り組みを望む。
居宅	介護職の賃金水準を他産業と比較しても遜色ないレベルへ引き上げる制度の設計と処遇改善加算の簡素化、申請手続きの負担軽減。 介護報酬を適正化し、物価高騰・人件費上昇に対応した報酬改定をして欲しい。併せて、小規模事業所が継続できるような報酬体系の見直し。
居宅	介護職は大変だ、きつい仕事だ、給与が少ないというイメージを払拭して欲しい。プライドと誇りを持ち、やりがいを感じているスタッフも多いです。どんな仕事も大変ですが、利用者様に喜んでいただける仕事は職員の喜びであり、利用者様とご家族様の笑顔が励ましとなっています。
居宅	介護職員処遇改善よりも、まず先に基本介護報酬を上げないと益々会社が無くなっていく
居宅	介護認定の一次判定がネット上で開示されとてもいい。電話や実際出向いての時間が短縮できた。ただ今後、電子申請でマイナンバーを介護支援専門員が取り扱うことは難しいので対応が難しい。マイナンバーなしで申請できる方法を考えてほしい。
居宅	介護保険制度が短期間で変わり過ぎる。都度変更の案内や定着に時間が掛かる。
居宅	介護報酬が上がらないと賃金をあげられない。もっと補助してほしい。そのための書類作成は複雑な物ではなく、簡単にできるものにしてほしい。人員不足のため時間がとれない。
居宅	介護報酬改定、生産性向上の最新情報をいただきたい　学び取り組んでいきたい
居宅	介護報酬改定。介護保険制度（自立支援）の周知を。
居宅	介護報酬上げ
居宅	基本的に『減算』という考え方をやめて、（利益が出しづらい在宅訪問などに対して）『加算』をつける方向で考えてほしい。 同じ介護、同じ作業で減らす方向に差が出るのは、本気で介護人口を増やす取り組みと反しているようにしか思えない。 そうでなければICT導入やロボットの活用はおろか、人材確保さえ難しく、結果として受け皿がなくなってしまうことに繋がると考えています。
居宅	居宅報酬単価が増えないため、ケアマネ従事者が増えて行かない。介護職員だけの処遇改善等理解が出来ない政策は改善されるべきと考える。介護人材の減少に他ならない。
居宅	近隣の他施設職員と会うことが少ない。地元の研修会等を企画してほしい。
居宅	現場の事務（時間）負担増大による影響をもう少し考慮して欲しい
居宅	現場レベルの視点を本当に考えているのか不明。何を望んでも改善しないと考えている。
居宅	根本的な記録や書類作成の削減が求められているかと感じます。利用者も複雑かつ多様化している時代になり、孤独：独居：精神疾患：複雑家庭問題や医療機関との連携に一番時間を要しており、相談支援業務は直接的な面談や援助に時間を要しています。その部分を考慮して頂き、相談支援の業務内容の理解と書類作成の削減に対して　今一度ご検討願います。
居宅	作成に時間を要する書類がまだまだ多く、介護支援専門員の業務負担は軽減しません。 ICT化等により業務負担や作成に要する時間の軽減等、明瞭・簡潔な改善策の提案を期待しています。
居宅	市役所や県職員には大変お世話になつています。様々な団体や事業所から研修案内等とても多く来るので介護労働安定センターの方に絞って対応してもらっています。
居宅	時間的コストの削減に繋がるものの提案や提供が欲しい。
居宅	処遇改善による賃金改善ではなく、基本報酬の改善をぜひ行っていただきたい
居宅	処遇改善加算等の取り組みを強化して、介護スタッフの賃金アップを図ることがまだまだ必要だと思う。
居宅	書類の簡素化、様式の統一化、活用できるツールの提供。
居宅	諸々の書類の簡素化及び削減を可能な限り求めたい。
居宅	上記にも記載しましたが、行政からICTをどんどん進めていってほしい。 またITツール活用だけでなく行政職員のITリテラシーやセキュリティのスキルを高めていってほしいです。
居宅	人材確保が難しいので、アドバイス支援してほしい
居宅	生産性をあげるための書類が多く、その仕組みを作り維持するまでの今が一番苦しい。管理者の業務が多くなるのは目に見えているので煩雑な書類業務を少しでも少なく簡易的にしてほしい。ICT導入に関しても、コストがかかりすぎて補助金だけでは苦しい所。人材を定着させるためには賃金アップが1番の近道だと思う。現場ではこの給料でこんな仕事の量やストレスなのかと思うとうんざりすると話している。
居宅	賃金を上げる事が第一。書類や事務手続きに係る書類の手間をもう少し省いてほしい。
居宅	冬季の除雪対応をして頂きたいです。
居宅	当事業所は、豪雪時において利用者が自宅前道路から出られず、やむを得ず利用中止となる事例が頻発しています。これは事業者努力で解決できる問題ではなく、生活道路の除排雪体制に起因するものであり、結果として要介護高齢者が介護保険サービスにアクセスできない状態を生んでいます。デイサービスは利用がなければ報酬が発生せず、職員の雇用維持にも直接的な影響があります。事業所の経営問題にとどまらず、地域の介護基盤そのものの不安定化につながります。豪雪は本市において予測可能な事象であり、要介護高齢者の生活維持と介護サービス継続の観点から、生活道路除排雪の優先化や制度的支援について検討を要望いたします。
居宅	当地域の中山間地域（サービス地域を超えた時のみ５％加算）を特別地域加算（１５％）の対象して欲しい。訪問介護事業は赤字です。でも廃止したら困る方も出てくるので頑張りたいなと思っています。
居宅	当法人は介護保険制度が開始された翌年の２００１年に事業スタートしました。それから四半世紀がたち、建物の補修の必要性が出始めております。メンテナンスや経営に関する情報の発信をお願いします。
居宅	特に受診介助を受けてくれる訪問介護事業所を探すことに時間を要している。訪問介護の利用希望があっても、受け入れてもらえる事業所を見つけることがなかなかできない状況にあるので、対応をお願いしたい。

■自由記述

居宅	福祉用具貸与事業所への加算または平均価格撤廃を願います。
居宅	物価上昇に見合うベースアップを実現する為、大幅な介護報酬のアップと人員基準・加算項目等の緩和。
居宅	補助金の申請や対象を分かりやすくしてほしい。
居宅	訪問する際、地方は車移動がメインだが、冬期間は除雪がされていない、道路が狭いなどで駐車スペースを確保するのが容易でない。
居宅	訪問介護の単価が下がり経営的に厳しくなっている。
居宅	利用者情報の開示等が安易になっている事や、多岐内容にわたる研修の充実で知識向上となっている。

■度数分布表

@2025サービス種別

	度数	パーセント
訪問介護	61	14.2
通所介護	28	6.5
(介護予防)通所リハビリテーション	4	0.9
(介護予防)訪問看護	27	6.3
(介護予防)訪問リハビリテーション	2	0.5
(介護予防)短期入所生活介護	11	2.6
居宅介護支援	68	15.9
(介護予防)訪問入浴介護	3	0.7
(介護予防)福祉用具貸与	15	3.5
特定(介護予防)福祉用具販売	1	0.2
地域密着型通所介護	15	3.5
介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	6	1.4
複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護)	2	0.5
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	0.2
(介護予防)小規模多機能型居宅介護	8	1.9
介護老人保健施設	14	3.3
介護老人福祉施設	44	10.3
介護医療院	2	0.5
(介護予防)特定施設入居者生活介護	12	2.8
(介護予防)認知症対応型共同生活介護	76	17.7
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	20	4.7
(介護予防)認知症対応型通所介護	5	1.2
通所型サービス	3	0.7
訪問型サービス	1	0.2
合計	429	100.0

@2025訪問介護員

	度数	パーセント
0人	329	76.7
1-9人	45	10.5
10-19人	39	9.1
20-29人	7	1.6
30-39人	7	1.6
40-49人	1	0.2
50人以上	1	0.2
合計	429	100.0

@2025サービス提供責任者

	度数	パーセント
0人	320	74.6
1-9人	108	25.2
10-19人	1	0.2
合計	429	100.0

@2025介護職員

	度数	パーセント
0人	166	38.7
1-9人	92	21.4
10-19人	107	24.9
20-29人	33	7.7
30-39人	21	4.9
40-49人	7	1.6
50人以上	3	0.7
合計	429	100.0

@2025介護職員のうち、外国人介護職員数

	度数	パーセント
0人	381	88.8
1-9人	46	10.7
30-39人	2	0.5
合計	429	100.0

@2025看護職員

	度数	パーセント
0人	190	44.3
1-9人	226	52.7
10-19人	12	2.8
20-29人	1	0.2
合計	429	100.0

@2025生活相談員

	度数	パーセント
0人	266	62.0
1-9人	163	38.0
合計	429	100.0

@2025機能訓練指導員

	度数	パーセント
0人	307	71.6
1-9人	120	28.0
10-19人	2	0.5
合計	429	100.0

@2025介護支援専門員

	度数	パーセント
0人	160	37.3
1-9人	269	62.7
合計	429	100.0

@2025上記以外の職員

	度数	パーセント
0人	174	40.6
1-9人	185	43.1
10-19人	55	12.8
20-29人	10	2.3
30-39人	3	0.7
40-49人	2	0.5
合計	429	100.0

@2025利用者数

	度数	パーセント
0人	1	0.2
1-9人	33	7.7
10-19人	80	18.6
20-29人	55	12.8
30-39人	51	11.9
40-49人	34	7.9
50人以上	175	40.8
合計	429	100.0

@2025平均要介護度

	度数	パーセント
0以上1未満	11	2.6
1以上2未満	67	15.6
2以上3未満	189	44.1
3以上4未満	104	24.2
4以上	58	13.5
合計	429	100.0

@2025新規入職者数

	度数	パーセント
0人	159	37.1
1-9人	248	57.8
10-19人	19	4.4
20-29人	3	0.7
合計	429	100.0

@2025離職者数

	度数	パーセント
0人	159	37.1
1-9人	257	59.9
10-19人	5	1.2
20-29人	6	1.4
30-39人	2	0.5
合計	429	100.0

@2025求人発出件数人発出件数（ハローワーク、人材派遣業者等合わせて）

	度数	パーセント
0件	125	29.1
1-9件	288	67.1
10-19件	12	2.8
20-29件	3	0.7
30-39件	1	0.2
合計	429	100.0

@2025平均有休取得日数（1人あたり年平均）

	度数	パーセント
0日	4	0.9
0日から10日未満	236	55.0
10日以上20日未満	181	42.2
20日以上30日未満	8	1.9
合計	429	100.0

@2025平均時間外労働時間数（1人あたり年平均）

	度数	パーセント
0時間	61	14.2
0時間以上20時間未満	295	68.8
20時間以上40時間未満	39	9.1
40時間以上60時間未満	18	4.2
60時間以上80時間未満	7	1.6
80時間以上100時間未満	1	0.2
100時間以上	8	1.9
合計	429	100.0

@2025良質な人材の確保が難しい

	度数	パーセント
いいえ	71	16.6
はい	358	83.4
合計	429	100.0

@2025今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない

	度数	パーセント
いいえ	94	21.9
はい	335	78.1
合計	429	100.0

@2025指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている

	度数	パーセント
いいえ	98	22.8
はい	331	77.2
合計	429	100.0

@2025教育・研修の時間が十分に取れない

	度数	パーセント
いいえ	107	24.9
はい	322	75.1
合計	429	100.0

@2025経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくてもできない

	度数	パーセント
いいえ	166	38.7
はい	263	61.3
合計	429	100.0

@2025新規利用者の確保が難しい

	度数	パーセント
いいえ	181	42.2
はい	248	57.8
合計	429	100.0

@2025介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している

	度数	パーセント
いいえ	222	51.7
はい	207	48.3
合計	429	100.0

@2025従事者の介護業務に臨む意欲・姿勢に問題

	度数	パーセント
いいえ	284	66.2
はい	145	33.8
合計	429	100.0

@2025管理者の指導・管理能力が不足している

	度数	パーセント
いいえ	248	57.8
はい	181	42.2
合計	429	100.0

@2025介護従事者間のコミュニケーションが不足している

	度数	パーセント
いいえ	312	72.7
はい	117	27.3
合計	429	100.0

@2025経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している

	度数	パーセント
いいえ	289	67.4
はい	140	32.6
合計	429	100.0

@2025利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している

	度数	パーセント
いいえ	292	68.1
はい	137	31.9
合計	429	100.0

@2025介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない

	度数	パーセント
いいえ	290	67.6
はい	139	32.4
合計	429	100.0

@2025雇用管理等についての情報や指導が不足している

	度数	パーセント
いいえ	285	66.4
はい	144	33.6
合計	429	100.0

@2025特に問題はない

	度数	パーセント
いいえ	220	51.3
はい	209	48.7
合計	429	100.0

@2025その他

	度数	パーセント
いいえ	407	94.9
はい	22	5.1
合計	429	100.0

①指導、研修に充てる時間の確保ができない。②介護職員の質確保にこだわっていられない。③この様なアンケートを含め、災害時の状況について被害が無くても報告を求められるなど、業務以外の作業が多い。④加算取得のための管理業務や提出書類が多い。

ケアプランデータ連携システムを事業所がもっと利用できるようになれば、生産性は向上すると思います。また、電子媒体の利用について（日常的な情報交換を電話ではなく、メールなどを利用）の支援や個人情報保護の観点からの規定の整備など、指導・相談機能があれば、導入がすすむと考えます。

ここ数年、紹介業者を通じての採用が多く当法人の財政が逼迫している。何故スマホ一つで気軽にサイトへ登録しただけで、結果的に採用側が年収の３～４割をその会社へ支払わなければならないのか。それだけの良い人材でもないし、それらの会社に対する信頼も信用も持てないが、それをせざるを得ない状況に納得がいかない。

介護職員の高齢化及び離職率が高く業務が回らなくなり、事業所の運営が厳しい状況である。介護報酬での、職員への課題が多すぎて実働として働き難くなっていると考えられる。

介護職員処遇改善により、介護職の処遇は徐々に評価されています。しかし、それにより他職種の処遇との格差が生まれて意欲低下等につながっている現状もあります。介護事業所によっては、介護職のみならずその他専門職の確保も同時に困難さがあり、現状の介護報酬で人件費高騰や物価高騰、または医療制度改革等による介護事業所等の利用者の状態像の重症化、医療必要度の向上、回転率向上などがあり、他職種（看護・相談・事務等）の確保に支障が生まれているのも感じる現状です。これには、財源を確保することに大きな必要性があることや、相談系職種のDX、事務職のDXは根本的に見直しされて、大幅な関連する事務作業の効率化が必要と考えます。それにより、多職種協働での教育・雇用管理・コミュニケーション課題の改善に取り組む時間を確保して進化しなければならないと考えます。また、当事業所は青森県青森市ですが、昨今の雪害により通常よりも多く、介護事業を運営するに要するコストも発生することから、地域的な立地や自然環境に応じた介護報酬の評価なども必要と考えます。特に、寒気対策・雪害対策など、建物・設備維持のみならず、送迎サービスにかかるコストは全国一律ではないと思いますので更なる段階的評価をしていただくことで、生産性の向上につながると考えます。

介護報酬については入居率100%でも厳しい。加算を廃止し基本サービスにした上に報酬は変わらず、職員の負担だけが増えている。処遇改善と謳いながら厳しく頻雑な要件を設けるのは本当に処遇を改善する気があるのでしょうか。生産性向上と言いながら年々事務的負担や職員の業務負担が増えている。

回答が難しいです。今は良い職員がいますが、足りない時もあれば、問題ある職員がいる場合もあります。

給料が仕事量に見合っていない。介護報酬が低い。ケアマネを目指す人材がいない。魅力がない。利用者、家族のカスハラがある。ケアマネに求められるものが多すぎる。研修が多すぎる。赤字経営になっている。
経営や賃金に関してはわかりません。
継続して事業を行っていくために介護報酬を上げることが必要だと考えます
若い介護員が少ない、続かない
専門職として、個々の姿勢等（向上心、意欲、自己研鑽）に温度差がある。

総売上、1担当者担当利用者数、仕入原価（物価高騰）、消費税増、上限価格設定対応による単価減、限度額変更無（特定福祉用具販売10万円税込、住宅改修20万円税込）、経費増、人件費増額（最低賃金増）等と労働時間週40時間×4週（有給休暇取得5日以上）、研修・訓練、計画作成、モニタリング、点検業務、実務（設置、引上、変更、メンテナンス等）との兼ね合いで、経営コンサルタント的、分析をすると、バランスとして無理が生じている。
更に、例えば、利用者負担、1割、2割、3割、特に、3割負担の方の保険利用特殊寝台貸与と保険外（一般レンタル）参考1500円～3000円程度、における保険外利用への移行による収入減、販売−貸与選択制、上限価格設定に伴う業務の煩雑さ、ルール等整備不十分なまま設定されたTAISコード設定に伴うケアプラン連携システム導入への支障とサービス計画への記載（確認業務増）等、改正・変更に伴う表に出てこない部分の煩雑さがものすごく増えている。
また、消費税問題においても、介護全般殆どは、非課税であるが、福祉用具の一部は課税（一部、セット非課税等もあり）であるが、保険請求上（レセプト記載）、軽減税率、インボイス導入の際のシステム等対応、税申告対応等々、他サービスと異なり、業務増となっっていたことをご存じだったでしょうか。そして、同業の方々は、きちんと税申告しているのでしょうか？
別な面で、各サービスにおいて、計画作成、モニタリング、評価等が求められておりますが、作成文書、事務作業のサービス間重複業務（例えば、利用者・家族意向、身体状況等を各サービスが各々で確認等は不要と考える等）が多く業務を煩雑化、実務時間に支障をきたす問題→これらの面倒な事が多く、実質就労に繋がらないことに至っているのではないかと考える。
業務の簡素化と一旦変更・改正を止めることも考慮すべきではないかとも考えます。（実務者が改正についていけない。）
IT、ICT、DX対応で、現行、解消されない。

多忙により、ヘルパー会議等の時間があまり取れない。（夜間に実施・・冬場は厳しい）
大きな問題は無いが、他業種でも経営を行っているが、特に介護業界は人材の質が低いように感じる。利用者増＝売上、利益増＝処遇改善に繋がるという事が理解できない人材が多々いる。
大丈夫のつもりですが、自信はありません。
当事業所は現在一人体制で運営しているため、業務の効率化とサービス向上を目的に、人員の増員を検討しています。
特に過疎地区の為、新規入居者確保や退職後の新職員の確保が困難
報告物やアンケートの類が多すぎる
報酬が低い為、他業種に人材が流出している。もっと介護報酬を上げるべき。
法人のトップが介護保険の理解が乏しい
法定研修以外の研修時間の確保が困難。新規利用者（依頼が殺到する時期とそうでない時期があり、安定していない）

@2025移乗介助（介助者のパワーアシストを行う機器）

	度数	パーセント
いいえ	403	93.9
はい	26	6.1
合計	429	100.0

@2025移動支援（高齢者等の移動をサポートする歩行支援機器）

	度数	パーセント
いいえ	404	94.2
はい	25	5.8
合計	429	100.0

@2025排泄支援（設置位置の調節可能トイレ、排泄を予測し的確なタイミングでトイレへ誘導する機器、下衣の着脱等の一連の動作を支援する機器）

	度数	パーセント
いいえ	422	98.4
はい	7	1.6
合計	429	100.0

@2025見守り（センサーや外部通信機能を備えた機器等）		
	度数	パーセント
いいえ	266	62.0
はい	163	38.0
合計	429	100.0

@2025コミュニケーション（高齢者とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器）		
	度数	パーセント
いいえ	422	98.4
はい	7	1.6
合計	429	100.0

@2025入浴支援（浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器）		
	度数	パーセント
いいえ	350	81.6
はい	79	18.4
合計	429	100.0

@2025介護業務支援（ロボット技術を用いて、介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、必要な支援に活用することを可能とする機器）		
	度数	パーセント
いいえ	404	94.2
はい	25	5.8
合計	429	100.0

@2025機能訓練支援（介護職等が行う身体機能や生活機能の訓練における各業務（アセスメント・計画作成・訓練実施）を支援する機器・システム）		
	度数	パーセント
いいえ	391	91.1
はい	38	8.9
合計	429	100.0

@2025食事・栄養管理支援（高齢者等の食事・栄養管理に関する周辺業務を支援する機器・システム）		
	度数	パーセント
いいえ	391	91.1
はい	38	8.9
合計	429	100.0

@2025認知症生活支援・認知症ケア支援（認知機能が低下した高齢者等の自立した日常生活または個別ケアを支援する機器・システム）		
	度数	パーセント
いいえ	421	98.1
はい	8	1.9
合計	429	100.0

@2025介護ソフト（記録、情報共有、請求事務で転記が不要であるもの。音声入力によるものを含む。）		
	度数	パーセント
いいえ	134	31.2
はい	295	68.8
合計	429	100.0

@2025介護ソフト専用の情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末、インカム等）		
	度数	パーセント
いいえ	196	45.7
はい	233	54.3
合計	429	100.0

@2025通信環境機器（Wi-Fiルーター等）		
	度数	パーセント
いいえ	63	14.7
はい	366	85.3
合計	429	100.0

@2025バックオフィスソフト（勤怠管理、シフト表作成、人事、給与、ホームページ作成等のためのソフトで転記が不要であるもの）		
	度数	パーセント
いいえ	294	68.5
はい	135	31.5
合計	429	100.0

@2025その他		
	度数	パーセント
いいえ	423	98.7
はい	6	1.3
合計	429	100.0

バックオフィスソフトは、令和7年度中に導入
Google Workspace を活用している
介護記録の電子化はそれにより加算や運営基準に規定されるなどの推進力と期限などがあったほうがよいのではないかと考えます。
勤怠管理は、庶務管轄。勤務表の作成は事業所で行っている。
排泄対応では、自動排泄処理装置があったが、実際普及したのか？検証すべきではないかリフトの必要性（介護者、介助者負担の軽減等）は理解するものの、コスト、作業時間、動作の必要時間（排泄時等、利用者が待てるのか？）とのバランスにより、人的支援になってしまうことになる。結局、紙おむつ対応というケースが多いのではないか。
ロボットではなく、コルセットやボディスーツ

@2025移乗介助（介助者のパワーアシストを行う機器） 2		
	度数	パーセント
いいえ	266	62.0
はい	163	38.0
合計	429	100.0

@2025移動支援（高齢者等の移動をサポートする歩行支援機器） 2		
	度数	パーセント
いいえ	280	65.3
はい	149	34.7
合計	429	100.0

@2025排泄支援（設置位置の調節可能トイレ、排泄を予測し的確なタイミングでトイレへ誘導する機器、下衣の着脱等の一連の動作を支援する機器） 2

	度数	パーセント
いいえ	268	62.5
はい	161	37.5
合計	429	100.0

@2025見守り（センサーや外部通信機能を備えた機器等） 2

	度数	パーセント
いいえ	226	52.7
はい	203	47.3
合計	429	100.0

@2025コミュニケーション（高齢者とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器） 2

	度数	パーセント
いいえ	245	57.1
はい	184	42.9
合計	429	100.0

@2025入浴支援（浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器） 2

	度数	パーセント
いいえ	252	58.7
はい	177	41.3
合計	429	100.0

@2025介護業務支援（ロボット技術を用いて、介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、必要な支援に活用することを可能とする機器） 2

	度数	パーセント
いいえ	239	55.7
はい	190	44.3
合計	429	100.0

@2025機能訓練支援（介護職等が行う身体機能や生活機能の訓練における各業務（アセスメント・計画作成・訓練実施）を支援する機器・システム） 2

	度数	パーセント
いいえ	247	57.6
はい	182	42.4
合計	429	100.0

@2025食事・栄養管理支援（高齢者等の食事・栄養管理に関する周辺業務を支援する機器・システム） 2

	度数	パーセント
いいえ	289	67.4
はい	140	32.6
合計	429	100.0

@2025認知症生活支援・認知症ケア支援（認知機能が低下した高齢者等の自立した日常生活または個別ケアを支援する機器・システム） 2

	度数	パーセント
いいえ	222	51.7
はい	207	48.3
合計	429	100.0

@2025介護ソフト（記録、情報共有、請求事務で転記が不要であるもの。音声入力によるものを含む。） 2		
	度数	パーセント
いいえ	182	42.4
はい	247	57.6
合計	429	100.0

@2025介護ソフト専用の情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末、インカム等） 2		
	度数	パーセント
いいえ	172	40.1
はい	257	59.9
合計	429	100.0

@2025通信環境機器（Wi-Fiルーター等） 2		
	度数	パーセント
いいえ	214	49.9
はい	215	50.1
合計	429	100.0

@2025バックオフィスソフト（勤怠管理、シフト表作成、人事、給与、ホームページ作成のためのソフトで転記が不要であるもの）		
	度数	パーセント
いいえ	194	45.2
はい	235	54.8
合計	429	100.0

@2025その他		
	度数	パーセント
いいえ	425	99.1
はい	4	0.9
合計	429	100.0

補助金の活用申請審査などをわかりやすく周知してほしい
導入するための補助金等の支援をしてほしい。
訪問中でもタブレットで記録、印刷できる
医療（薬局）で、オンライン資格確認を行っている。 介護において、岸田元首相時代、2025年度中に介護においてもオンライン資格確認目指す的発言があったが、すすまない。 実際のところ、高齢者、マイナンバーカード取得、認証の問題が大きいと思われるが、介護現場において、変更申請、認定切れ等確認できるということは、メリットがあると思われるが、トップが変わると、なかったことになるのは非常に残念。 なぜ、IT、ICT、DXと言い方を変えるのか意味がわからない。内容、実働が伴っていない、「IT化」のままでいい。

@2025導入コストが高い		
	度数	パーセント
いいえ	32	7.5
はい	397	92.5
合計	429	100.0

@2025どのような介護ロボットやICT機器・介護ソフトがあるかわからない		
	度数	パーセント
いいえ	188	43.8
はい	241	56.2
合計	429	100.0

@2025ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える。		
	度数	パーセント
いいえ	309	72.0
はい	120	28.0
合計	429	100.0

@2025技術的に使いこなせるか心配である		
	度数	パーセント
いいえ	145	33.8
はい	284	66.2
合計	429	100.0

@2025誤作動の不安がある		
	度数	パーセント
いいえ	175	40.8
はい	254	59.2
合計	429	100.0

@2025設置や保管等に場所をとられてしまう		
	度数	パーセント
いいえ	155	36.1
はい	274	63.9
合計	429	100.0

@2025清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である		
	度数	パーセント
いいえ	131	30.5
はい	298	69.5
合計	429	100.0

@2025投資に見合うだけの効果がない（事業規模から考えて必要ない）		
	度数	パーセント
いいえ	187	43.6
はい	242	56.4
合計	429	100.0

@2025介護現場の実態に適う介護ロボットやICT機器がない、現場の役に立つものがない		
	度数	パーセント
いいえ	296	69.0
はい	133	31.0
合計	429	100.0

@2025職員への周知（使用方法等）

	度数	パーセント
いいえ	167	38.9
はい	262	61.1
合計	429	100.0

@2025導入する必要のある課題や必要性を感じていない

	度数	パーセント
いいえ	313	73.0
はい	116	27.0
合計	429	100.0

@2025その他

	度数	パーセント
いいえ	412	96.0
はい	17	4.0
合計	429	100.0

既存のICT機器などは業務改善に知見のある者が作ったとは思えず、本質的な介護業の生産性向上にはつながらないと感じます。
購入は補助金を使うことができるが、業者はその後の月額料金もクラウド使用料などで請求してくるので、結果莫大な料金がかかる。
活動場所がほとんど利用者の自宅なので、活用するには、条件がかなり制限される。
ICT化という言葉だけでなじめない職員がいる
こちらも生産性向上加算の推進や運営基準の規定などで推進力を高める制度設計であってほしい
導入できる体制を進めてほしい
ランニングコストがかかる、今の介護報酬では赤字になる
訪問業務のため導入できる機器に制限あり
使用できるようになるまでに時間がかかると思う。
施設の利用者状況によって必要のないものもあるので、一律には考えない。
総合商社のようなトータルサポートする会社があったらよい。
最初の頃しか使用せず、結局は宝の持ち腐れになってしまう。
ランニングコストが高い。
移乗介助機器、床走行式リフトを段階的に活用している最中であり、他の介護機器導入に至っていない。
これらの質問に、セキュリティー対応の問題が記載されずに進められていることにも疑問を感じる。 昨年、薬局等許可更新、介護運営指導を同月に行い、医療、介護の担当と、この点について議論した。時同じくして、サイバーテロ問題が世間で話題になっていた時期でもあり、医療側では、対応について指摘されたが、介護側では、運営規程、重要事項、また、BCP対応等において触れられることもなく、非常に温度差を感じた。一方で不安も感じ、残念。
訪問入浴で使用可能なロボットがあるなら知りたい

@2025（1）「あおもり介護生産性向上相談センター」について知っていますか。

	度数	パーセント
知らない	60	14.0
知っているが、活用したことはない	265	61.8
知っており、活用したことがある	104	24.2
合計	429	100.0

@2025(2)厚生労働省「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」について知っていますか。

	度数	パーセント
知らない	38	8.9
知っており、読んだことはある	151	35.2
知っているが、読んだことはない	10	2.3
(一部でも)活用し、取り組んでい゛る	230	53.6
合計	429	100.0

@2025職場環境の整備(3M(ムリ・ムダ・ムラ)をなくすための5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ))実施済み

	度数	パーセント
いいえ	134	31.2
はい	295	68.8
合計	429	100.0

@2025業務の明確化と役割分担(人員体制や役割分担を見直し、業務時間の区切りを再構築)実施済み

	度数	パーセント
いいえ	119	27.7
はい	310	72.3
合計	429	100.0

@2025介護ロボットやICT機器(PC、タブレット等)の導入・実施済み

	度数	パーセント
いいえ	165	38.5
はい	264	61.5
合計	429	100.0

@2025手順書の作成(理念やビジョン等をもとに職員の経験値・知識を可視化・標準化)実施済み

	度数	パーセント
いいえ	234	54.5
はい	195	45.5
合計	429	100.0

@2025記録・報告様式の工夫(項目の見直しやレイアウトの工夫等により、情報を読み解きやすくする)実施済み

	度数	パーセント
いいえ	178	41.5
はい	251	58.5
合計	429	100.0

@2025情報共有の工夫(ICT等を用いた転記作業削減、一斉同時配信による報告申し送りの効率化、情報共有のタイムラグ解消)実施済み

	度数	パーセント
いいえ	239	55.7
はい	190	44.3
合計	429	100.0

@2025OJTの仕組みづくり(日常業務を通じた人材育成の仕組みづくり、教育内容の統一と指導方法の標準化)実施済み

	度数	パーセント
いいえ	255	59.4
はい	174	40.6
合計	429	100.0

@2025理念・行動指針の徹底（組織の理念や行動指針に基づき、自律的な行動がとれる職員の育成）実施済み		
	度数	パーセント
いいえ	166	38.7
はい	263	61.3
合計	429	100.0

@2025実施済の項目はない		
	度数	パーセント
いいえ	379	88.3
はい	50	11.7
合計	429	100.0

@2025職場環境の整備（3M（ムリ・ムダ・ムラ）をなくすための5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ））実施したい		
	度数	パーセント
いいえ	113	26.3
はい	316	73.7
合計	429	100.0

@2025業務の明確化と役割分担（人員体制や役割分担を見直し、業務時間の区切りを再構築）実施したい		
	度数	パーセント
いいえ	118	27.5
はい	311	72.5
合計	429	100.0

@2025介護ロボットやICT機器（PC、タブレット等）の導入・実施したい		
	度数	パーセント
いいえ	150	35.0
はい	279	65.0
合計	429	100.0

@2025手順書の作成（理念やビジョン等をもとに職員の経験値・知識を可視化・標準化）・実施したい		
	度数	パーセント
いいえ	125	29.1
はい	304	70.9
合計	429	100.0

@2025記録・報告様式の工夫（項目の見直しやレイアウトの工夫等により、情報を読み解きやすくする）・実施したい		
	度数	パーセント
いいえ	104	24.2
はい	325	75.8
合計	429	100.0

@2025情報共有の工夫（ICT等を用いた転記作業削減、一斉同時配信による報告申し送りの効率化、情報共有のタイムラグ解消）・実施		
	度数	パーセント
いいえ	122	28.4
はい	307	71.6
合計	429	100.0

@2025OJTの仕組みづくり（日常業務を通じた人材育成の仕組みづくり、教育内容の統一と指導方法の標準化）・実施したい		
	度数	パーセント
いいえ	116	27.0
はい	313	73.0
合計	429	100.0

@2025理念・行動指針の徹底（組織の理念や行動指針に基づき、自律的な行動がとれる職員の育成）25		
	度数	パーセント
いいえ	122	28.4
はい	307	71.6
合計	429	100.0

@2025実施予定の項目はない		
	度数	パーセント
いいえ	335	78.1
はい	94	21.9
合計	429	100.0

@2025課題・時間の確保		
	度数	パーセント
いいえ	49	11.4
はい	380	88.6
合計	429	100.0

@2025課題・実施体制の不備		
	度数	パーセント
いいえ	122	28.4
はい	307	71.6
合計	429	100.0

@2025課題・職場内での反発		
	度数	パーセント
いいえ	257	59.9
はい	172	40.1
合計	429	100.0

@2025課題・取組に対する理解不足		
	度数	パーセント
いいえ	136	31.7
はい	293	68.3
合計	429	100.0

@2025課題・ルール化の問題		
	度数	パーセント
いいえ	147	34.3
はい	282	65.7
合計	429	100.0

@2025経済的な問題

	度数	パーセント
いいえ	101	23.5
はい	328	76.5
合計	429	100.0

@2025課題・職員間の認識のばらつき

	度数	パーセント
いいえ	103	24.0
はい	326	76.0
合計	429	100.0

@202課題・5困難は生じなかった

	度数	パーセント
いいえ	343	80.0
はい	86	20.0
合計	429	100.0

@2025その他

	度数	パーセント
いいえ	420	97.9
はい	9	2.1
合計	429	100.0

生産性向上取り組み自体が、業務や財政の負担につながることもある。

導入後の利用状況の確認（職員間のばらつきが業務内容に影響するため）や職員育成の役割が増えることが予想される

毎月、終日で定期勉強会を実施しているが、数か月後には忘れてしまっている現状。繰り返し実施すれば良いのだが、そうすると新しい知識や学びの機会がなくなる。

現状求めるレベルに達していないため、随時対応が必要

介護施設は若手の定着率が低い場合があり、高年齢層のベテラン職員も多く、ケアの本質を解くコミュニケーションを通じた支援が大切にされてきている一方、制度設計の介護手順マニュアル化や項目多肢化があり、理論ベースでの展開が実働に連結しにくい現状もある。これらは、スタッフが適応するために必要な教育やコスト確保を行いつつ、若手人材に魅力ある効率化された職場環境を整備する必要性と両立されるべき課題と考えられ、人的資源をいかに抑えても運営できるかをモデル化してくれないと事業所の努力範疇では解決しきれない面もあると思う。国の方針を明確で高推進的な内容で、そうなるべくなる進化を支援するような制度設計であってほしいと考える

基本的に全て取り組んでいるつもりではいるのですが、職員の理解度を考えて、いいえにしたところがあります

先日、別件で青森県社会福祉協議会へ連絡させていただいた。
現在、青森市における豪雪、災害（級）→災害救助法の適用、自衛隊派遣依頼へ
医療、介護サービスにおけるBCP作成、ハザードマップ準備
さて、今？
県、市町村では、災害時（感染流行：パンデミック、平時対応も含めて）、災害時ガイドライン・マニュアル、行動計画の作成→各事業所では、業務継続計画（BCP）作成、訓練の実施
↓
担当者会議の開催は？訪問は？豪雪ハザードエリアは？安否確認は？
↓
全般的に「認識」にばらつきがあり、職場的にも、ばらつきがあると思いますが、BCP対応しましたが、皆さんの認識は？　どうだったのでしょうか？声があがらないことにも疑問を感じ、ただただ、うちの前の「除雪、まだはいんねぇじゃ」の不満だけだったのではないでしょうか。

新しいことを取り入れることによる離職も考えられる

パート職員・時短労働職員・訪問時間の兼ね合いで、自社で行う研修時間の確保が困難

@2025(1)-1 利用者・家族とのコミュニケーション時間 ≪現在の状況≫

	度数	パーセント
ほんど確保できていない	6	1.4
充分に確保できていない	64	14.9
ある程度確保できている	224	52.2
必要に応じて確保できている	125	29.1
余裕をもって確保できている	10	2.3
合計	429	100.0

@2025(1)-2 利用者・家族とのコミュニケーション時間 ≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく減った	6	1.4
多少減った	31	7.2
変わらない	300	69.9
多少増えた	90	21.0
大きく増えた	2	0.5
合計	429	100.0

@2025(2)-1 時間に追われる焦り感（心理的な負担）≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に強い	36	8.4
強い	142	33.1
一般的である	218	50.8
弱い	26	6.1
非常に弱い(全くない)	7	1.6
合計	429	100.0

@2025(2)-2 時間に追われる焦り感（心理的負担）≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく減った	28	6.5
多少減った	87	20.3
変わらない	257	59.9
多少増えた	52	12.1
大きく増えた	5	1.2
合計	429	100.0

@2025(3)-1 質の維持向上（OJT・研修・打合せ・新しいケアやサービスの検討）に活用可能な時間 ≪現在の状況≫

	度数	パーセント
ほんど確保できていない	31	7.2
充分に確保できていない	136	31.7
ある程度確保できている	189	44.1
必要に応じて確保できている	71	16.6
余裕をもって確保できている	2	0.5
合計	429	100.0

@2025(3)-2 質の維持向上（OJT・研修・打合せ・新しいケアやサービスの検討）に活用可能な時間 ≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく増えた	14	3.3
多少増えた	58	13.5
変わらない	301	70.2
多少減った	54	12.6
大きく減った	2	0.5
合計	429	100.0

@2025(4)-1 介護職員、事務処理担当職員、責任者の残業時間 ≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に多い	12	2.8
多い	75	17.5
一般的である	219	51.0
少ない	75	17.5
非常に少ない	48	11.2
合計	429	100.0

@2025(4)-2 介護職員、事務処理担当職員、責任者の残業時間 ≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく減った	10	2.3
多少減った	46	10.7
変わらない	312	72.7
多少増えた	54	12.6
大きく増えた	7	1.6
合計	429	100.0

@2025(5)-1 報告業務に要する時間 ≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に多い	9	2.1
多い	41	9.6
一般的である	320	74.6
少ない	54	12.6
非常に少ない（全くない）	5	1.2
合計	429	100.0

@2025(5)-2 報告業務に要する時間 ≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく増えた	7	1.6
多少増えた	35	8.2
変わらない	329	76.7
多少減った	54	12.6
大きく減った	4	0.9
合計	429	100.0

@2025(6)-1 介護記録の作成時間 ≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に長時間を要している	14	3.3
長時間を要している	76	17.7
一般的な所要時間である	284	66.2
短時間で済んでいる	48	11.2
非常に短時間で済んでいる	7	1.6
合計	429	100.0

@2025(6)-2 介護記録の作成時間 ≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく増えた	6	1.4
多少増えた	39	9.1
変わらない	302	70.4
多少減った	71	16.6
大きく減った	11	2.6
合計	429	100.0

@2025(7)-1 共有情報（ケア記録やケアマネへの提供情報など）の質 ≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に低い	1	0.2
低い	37	8.6
一般的である	357	83.2
高い	30	7.0
非常に高い	4	0.9
合計	429	100.0

@2025(7)-2 共有情報（ケア記録やケアマネへの提供情報など）の質 ≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく下がった	1	0.2
多少下がった	16	3.7
変わらない	355	82.8
多少上がった	56	13.1
大きく上がった	1	0.2
合計	429	100.0

@2025(8)-1 利用者の状態の経過変化の読みときやすさ ≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に低い	2	0.5
低い	23	5.4
一般的である	362	84.4
高い	42	9.8
非常に高い	0	0.0
合計	429	100.0

@2025(8)-2 利用者の状態の経過変化の読みときやすさ ≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく下がった	0	0
多少下がった	18	4.2
変わらない	349	81.4
多少上がった	61	14.2
大きく上がった	1	0.2
合計	429	100.0

@2025(9)-1 各職員が閲覧する書類の枚数 ≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に多い	9	2.1
多い	92	21.4
一般的である	289	67.4
少ない	35	8.2
非常に少ない	4	0.9
合計	429	100.0

@2025(9)-2 各職員が閲覧する書類の枚数 ≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく増えた	6	1.4
多少増えた	45	10.5
変わらない	327	76.2
多少減った	48	11.2
大きく減った	3	0.7
合計	429	100.0

@2025(10)-1 （インカムや引継ぎ、記録による）必要な情報の受け取り ≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に効率が悪い	1	0.2
効率が悪い	53	12.4
一般的である	328	76.5
効率が良い	45	10.5
非常に効率が良い	2	0.5
合計	429	100.0

@2025(10)-2 （インカムや引継ぎ・記録による）必要な情報の受け取り ≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく効率が下がった	0	0
多少効率が下がった	17	4.0
変わらない	350	81.6
多少効率が上がった	59	13.8
大きく効率が上がった	3	0.7
合計	429	100.0

@2025(11)-1 主体性のある職員行動 ≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に主体性が低い	5	1.2
主体性が低い	79	18.4
一般的である	294	68.5
主体性が高い	50	11.7
非常に主体性が高い	1	0.2
合計	429	100.0

@2025(11)-2 主体性のある職員行動 ≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく主体性が下がった	3	0.7
多少主体性が下がった	26	6.1
変わらない	337	78.6
多少主体性が上がった	61	14.2
大きく主体性が上がった	2	0.5
合計	429	100.0

@2025(1)-1 利用者のニーズ変化への柔軟な対応 ≪現在の状況≫

	度数	パーセント
ほとんどできていない	2	0.5
充分にできていない	39	9.1
あるていどできている	271	63.2
必要に応じてできている	113	26.3
余裕をもってできている	4	0.9
合計	429	100.0

@2025(1)-2 利用者のニーズ変化への柔軟な対応 ≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく悪化した	1	0.2
多少悪化した	18	4.2
変わらない	322	75.1
多少向上した	87	20.3
大きく向上した	1	0.2
合計	429	100.0

@2025(2)-1 職員同士の協同のしやすさ（助けを求めたり、情報共有したりしやすいか）≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に協同しにくい	4	0.9
協同しにくい	33	7.7
一般的である	236	55.0
協同しやすい	145	33.8
非常に協同しやすい	11	2.6
合計	429	100.0

@2025(2)-2 職員同士の共同のしやすさ（助けを求めたり、情報共有したりしやすいか）≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく悪化した	2	0.5
多少悪化した	22	5.1
変わらない	303	70.6
多少向上した	96	22.4
大きく向上した	6	1.4
合計	429	100.0

@2025(3)-1 職員同士が心理的に安心して発言しあえる状況（風通しのよさ）≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に発言しにくい	4	0.9
発言しにくい	36	8.4
一般的である	258	60.1
発言しやすい	122	28.4
非常に発言しやすい	9	2.1
合計	429	100.0

@2025(3)-2 職員同士が心理的に安心して発言しあえる状況（風通しのよさ）≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく悪化した	2	0.5
多少悪化した	22	5.1
変わらない	310	72.3
多少向上した	91	21.2
大きく向上した	4	0.9
合計	429	100.0

@2025(4)-1 各職員の介護に関する基本的な知識や方法の理解度 ≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に低い	5	1.2
低い	53	12.4
一般的である	327	76.2
高	43	10.0
非常に高い	1	0.2
合計	429	100.0

@2025(4)-2 各職員の介護に関する基本的な知識や方法の理解度 ≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく悪化した	3	0.7
多少悪化した	10	2.3
変わらない	345	80.4
多少向上した	70	16.3
大きく向上した	1	0.2
合計	429	100.0

@2025(5)-1 現場リーダークラスの求められる業務に関する理解度 ≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に低い	2	0.5
低い	58	13.5
一般的である	314	73.2
高い	53	12.4
非常に高い	2	0.5
合計	429	100.0

@2025(5)-2 現場リーダークラスの求められる業務に関する理解度 ≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく悪化した	1	0.2
多少悪化した	17	4.0
変わらない	333	77.6
多少向上した	75	17.5
大きく向上した	3	0.7
合計	429	100.0

@2025(6)-1 管理職クラスの求められる業務に関する理解度 ≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に低い	2	0.5
低い	41	9.6
一般的である	328	76.5
高い	52	12.1
非常に高い	6	1.4
合計	429	100.0

@2025(6)-2 管理職クラスの求められる業務に関する理解度 ≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく悪化した	1	0.2
多少悪化した	16	3.7
変わらない	354	82.5
多少向上した	53	12.4
大きく向上した	5	1.2
合計	429	100.0

@2025(7)-1 各職員の仕事に向き合う姿勢（介護という仕事に誇りを持ち、前向きに取り組んでいるか） ≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に悪い	2	0.5
悪い	30	7.0
一般的である	304	70.9
良い	88	20.5
非常に良い	5	1.2
合計	429	100.0

@2025(7)-2 各職員の仕事に向き合う姿勢（介護という仕事に誇りを持ち、前向きに取り組んでいるか） ≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく悪化した	1	0.2
多少悪化した	21	4.9
変わらない	331	77.2
多少向上した	75	17.5
大きく向上した	1	0.2
合計	429	100.0

@2025(8)-1 各職員の専門的な介護技術の習得度（麻痺のある利用者・興奮状態の利用者への対応など）≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に低い	2	0.5
低い	50	11.7
一般的である	325	75.8
高い	50	11.7
非常に高い	2	0.5
合計	429	100.0

@2025(8)-2 各職員の専門的な介護技術の習得度（麻痺のある利用者・興奮状態の利用者への対応など）≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく下がった	1	0.2
多少下がった	13	3.0
変わらない	365	85.1
多少向上した	50	11.7
大きく上がった	0	0.0
合計	429	100.0

@2025(9)-1 各職員の利用者に対する観察力 ≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に低い	2	0.5
低い	38	8.9
一般的である	313	73.0
高い	73	17.0
非常に高い	3	0.7
合計	429	100.0

@2025(9)-2 各職員の利用者に対する観察力 ≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく下がった	1	0.2
多少下がった	15	3.5
変わらない	333	77.6
多少上がった	78	18.2
大きく上がった	2	0.5
合計	429	100.0

@2025(10)-1 各職員のチーム意識の強さ ≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に弱い	4	0.9
弱い	45	10.5
一般的である	293	68.3
強い	85	19.8
非常に強い	2	0.5
合計	429	100.0

@2025(10)-2 各職員のチーム意識の強さ ≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく下がった	4	0.9
多少下がった	22	5.1
変わらない	332	77.4
多少上がった	68	15.9
大きく上がった	3	0.7
合計	429	100.0

@2025(11)-1 職員と管理者のコミュニケーション時間 ≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に少ない	6	1.4
少ない	49	11.4
一般的である	312	72.7
多い	57	13.3
非常に多い	5	1.2
合計	429	100.0

@2025(11)-2 職員と管理者のコミュニケーション時間 ≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく減少した	1	0.2
多少減少した	27	6.3
変わらない	334	77.9
多少増加した	62	14.5
大きく増加した	5	1.2
合計	429	100.0

@2025(12)-1 職員間の人間関係に関するストレス ≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に多い	8	1.9
多い	75	17.5
一般的である	291	67.8
少ない	50	11.7
非常に少ない	5	1.2
合計	429	100.0

@2025(12)-2 職員間の人間関係に関するストレス ≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく増加した	6	1.4
多少増加した	55	12.8
変わらない	315	73.4
多少減少した	49	11.4
大きく減少した	4	0.9
合計	429	100.0

@2025(13)-1 各職員の、この職場で働くことに対する意欲 ≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に低い	2	0.5
低い	32	7.5
一般的である	335	78.1
高い	58	13.5
非常に高い	2	0.5
合計	429	100.0

@2025(13)-2 各職員の、この職場で働くことに対する意欲 ≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく下がった	4	0.9
多少下がった	19	4.4
変わらない	354	82.5
多少上がった	51	11.9
大きく上がった	1	0.2
合計	429	100.0

@2025(14)-1 各職員が自主的に利用者と向き合う時間（サービス後・サービス間のコミュニケーション時間） ≪現在の状況≫

	度数	パーセント
非常に少ない	3	0.7
少ない	67	15.6
一般的である	314	73.2
多い	44	10.3
非常に多い	1	0.2
合計	429	100.0

@2025(14)-2 各職員が自主的に利用者と向き合う時間（サービス後・サービス間のコミュニケーション時間） ≪1年前と比べて≫

	度数	パーセント
大きく減少した	2	0.5
多少減少した	24	5.6
変わらない	348	81.1
多少増加した	55	12.8
大きく増加した	0	0.0
合計	429	100.0

■クロス集計

@2025サービス種別3区分 と @2025訪問介護員

			0人	1-9人	10-19人	20-29人	30-39人	40-49人	50人以上	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	67	6	1	0	0	0	0	74
		総和の %	15.6%	1.4%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	127	33	33	6	7	0	1	207
		総和の %	29.6%	7.7%	7.7%	1.4%	1.6%	0.0%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	135	6	5	1	0	1	0	148
		総和の %	31.5%	1.4%	1.2%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%	34.5%
合計		度数	329	45	39	7	7	1	1	429
		総和の %	76.7%	10.5%	9.1%	1.6%	1.6%	0.2%	0.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025サービス提供責任者

			0人	1-9人	10-19人	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	70	4	0	74
		総和の %	16.3%	0.9%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	121	85	1	207
		総和の %	28.2%	19.8%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	129	19	0	148
		総和の %	30.1%	4.4%	0.0%	34.5%
合計		度数	320	108	1	429
		総和の %	74.6%	25.2%	0.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025介護職員

			0人	1-9人	10-19人	20-29人	30-39人	40-49人	50人以上	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	72	2	0	0	0	0	0	74
		総和の %	16.8%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	89	64	47	5	2	0	0	207
		総和の %	20.7%	14.9%	11.0%	1.2%	0.5%	0.0%	0.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	5	26	60	28	19	7	3	148
		総和の %	1.2%	6.1%	14.0%	6.5%	4.4%	1.6%	0.7%	34.5%
合計		度数	166	92	107	33	21	7	3	429
		総和の %	38.7%	21.4%	24.9%	7.7%	4.9%	1.6%	0.7%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025介護職員のうち、外国人介護職員数

			0人	1-9人	30-39人	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	74	0	0	74
		総和の %	17.2%	0.0%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	193	14	0	207
		総和の %	45.0%	3.3%	0.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	114	32	2	148
		総和の %	26.6%	7.5%	0.5%	34.5%
合計		度数	381	46	2	429
		総和の %	88.8%	10.7%	0.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025看護職員

			0人	1-9人	10-19人	20-29人	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	71	3	0	0	74
		総和の %	16.6%	0.7%	0.0%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	74	131	2	0	207
		総和の %	17.2%	30.5%	0.5%	0.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	45	92	10	1	148
		総和の %	10.5%	21.4%	2.3%	0.2%	34.5%
合計		度数	190	226	12	1	429
		総和の %	44.3%	52.7%	2.8%	0.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025生活相談員

			0人	1-9人	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	74	0	74
		総和の %	17.2%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	117	90	207
		総和の %	27.3%	21.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	75	73	148
		総和の %	17.5%	17.0%	34.5%
合計		度数	266	163	429
		総和の %	62.0%	38.0%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025機能訓練指導員

			0人	1-9人	10-19人	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	73	1	0	74
		総和の %	17.0%	0.2%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	139	68	0	207
		総和の %	32.4%	15.9%	0.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	95	51	2	148
		総和の %	22.1%	11.9%	0.5%	34.5%
合計		度数	307	120	2	429
		総和の %	71.6%	28.0%	0.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025介護支援専門員

			0人	1-9人	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	1	73	74
		総和の %	0.2%	17.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	149	58	207
		総和の %	34.7%	13.5%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	10	138	148
		総和の %	2.3%	32.2%	34.5%
合計		度数	160	269	429
		総和の %	37.3%	62.7%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025上記以外の職員

			0人	1-9人	10-19人	20-29人	30-39人	40-49人	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	56	18	0	0	0	0	74
		総和の %	13.1%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	86	106	13	2	0	0	207
		総和の %	20.0%	24.7%	3.0%	0.5%	0.0%	0.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	32	61	42	8	3	2	148
		総和の %	7.5%	14.2%	9.8%	1.9%	0.7%	0.5%	34.5%
合計		度数	174	185	55	10	3	2	429
		総和の %	40.6%	43.1%	12.8%	2.3%	0.7%	0.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025利用者数

			0人	1-9人	10-19人	20-29人	30-39人	40-49人	50人以上	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	1	0	0	4	12	5	52	74
		総和の %	0.2%	0.0%	0.0%	0.9%	2.8%	1.2%	12.1%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	0	16	28	43	27	17	76	207
		総和の %	0.0%	3.7%	6.5%	10.0%	6.3%	4.0%	17.7%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	0	17	52	8	12	12	47	148
		総和の %	0.0%	4.0%	12.1%	1.9%	2.8%	2.8%	11.0%	34.5%
合計		度数	1	33	80	55	51	34	175	429
		総和の %	0.2%	7.7%	18.6%	12.8%	11.9%	7.9%	40.8%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025平均要介護度

			0以上1未満	1以上2未満	2以上3未満	3以上4未満	4以上	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	5	11	55	3	0	74
		総和の %	1.2%	2.6%	12.8%	0.7%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	6	48	79	52	22	207
		総和の %	1.4%	11.2%	18.4%	12.1%	5.1%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	0	8	55	49	36	148
		総和の %	0.0%	1.9%	12.8%	11.4%	8.4%	34.5%
合計		度数	11	67	189	104	58	429
		総和の %	2.6%	15.6%	44.1%	24.2%	13.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025新規入職者数

			0人	1-9人	10-19人	20-29人	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	56	17	0	1	74
		総和の %	13.1%	4.0%	0.0%	0.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	77	122	7	1	207
		総和の %	17.9%	28.4%	1.6%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	26	109	12	1	148
		総和の %	6.1%	25.4%	2.8%	0.2%	34.5%
合計		度数	159	248	19	3	429
		総和の %	37.1%	57.8%	4.4%	0.7%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025離職者数

			0人	1-9人	10-19人	20-29人	30-39人	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	53	21	0	0	0	74
		総和の %	12.4%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	70	135	1	1	0	207
		総和の %	16.3%	31.5%	0.2%	0.2%	0.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	36	101	4	5	2	148
		総和の %	8.4%	23.5%	0.9%	1.2%	0.5%	34.5%
合計		度数	159	257	5	6	2	429
		総和の %	37.1%	59.9%	1.2%	1.4%	0.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025求人発出件数人発出件数(ハローワーク、人材派遣業者等合わせて)

			0件	1-9件	10-19件	20-29件	30-39件	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	48	26	0	0	0	74
		総和の %	11.2%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	56	145	6	0	0	207
		総和の %	13.1%	33.8%	1.4%	0.0%	0.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	21	117	6	3	1	148
		総和の %	4.9%	27.3%	1.4%	0.7%	0.2%	34.5%
合計		度数	125	288	12	3	1	429
		総和の %	29.1%	67.1%	2.8%	0.7%	0.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025平均有休取得日数（1人あたり年平均）

			0日	0日から10日未満	10日以上20日未満	20日以上30日未満	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	3	34	35	2	74
		総和の %	0.7%	7.9%	8.2%	0.5%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	1	115	89	2	207
		総和の %	0.2%	26.8%	20.7%	0.5%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	0	87	57	4	148
		総和の %	0.0%	20.3%	13.3%	0.9%	34.5%
合計		度数	4	236	181	8	429
		総和の %	0.9%	55.0%	42.2%	1.9%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025平均時間外労働時間数（1人あたり年平均）

			0時間	0時間以上20時間未満	20時間以上40時間未満	40時間以上60時間未満	60時間以上80時間未満	80時間以上100時間未満	100時間以上	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	15	46	7	5	0	0	1	74
		総和の %	3.5%	10.7%	1.6%	1.2%	0.0%	0.0%	0.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	32	137	19	8	4	1	6	207
		総和の %	7.5%	31.9%	4.4%	1.9%	0.9%	0.2%	1.4%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	14	112	13	5	3	0	1	148
		総和の %	3.3%	26.1%	3.0%	1.2%	0.7%	0.0%	0.2%	34.5%
合計		度数	61	295	39	18	7	1	8	429
		総和の %	14.2%	68.8%	9.1%	4.2%	1.6%	0.2%	1.9%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025良質な人材の確保が難しい

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	16	58	74
		総和の %	3.7%	13.5%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	38	169	207
		総和の %	8.9%	39.4%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	17	131	148
		総和の %	4.0%	30.5%	34.5%
合計		度数	71	358	429
		総和の %	16.6%	83.4%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	12	62	74
		総和の %	2.8%	14.5%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	45	162	207
		総和の %	10.5%	37.8%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	37	111	148
		総和の %	8.6%	25.9%	34.5%
合計		度数	94	335	429
		総和の %	21.9%	78.1%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	7	67	74
		総和の %	1.6%	15.6%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	55	152	207
		総和の %	12.8%	35.4%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	36	112	148
		総和の %	8.4%	26.1%	34.5%
合計		度数	98	331	429
		総和の %	22.8%	77.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025教育・研修の時間が十分に取れない

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	26	48	74
		総和の %	6.1%	11.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	53	154	207
		総和の %	12.4%	35.9%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	28	120	148
		総和の %	6.5%	28.0%	34.5%
合計		度数	107	322	429
		総和の %	24.9%	75.1%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくてもできない

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	25	49	74
		総和の %	5.8%	11.4%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	77	130	207
		総和の %	17.9%	30.3%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	64	84	148
		総和の %	14.9%	19.6%	34.5%
合計		度数	166	263	429
		総和の %	38.7%	61.3%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025新規利用者の確保が難しい

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援･介護予防支援	度数	40	34	74
		総和の %	9.3%	7.9%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具･住改含む)	度数	78	129	207
		総和の %	18.2%	30.1%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	63	85	148
		総和の %	14.7%	19.8%	34.5%
合計		度数	181	248	429
		総和の %	42.2%	57.8%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援･介護予防支援	度数	53	21	74
		総和の %	12.4%	4.9%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具･住改含む)	度数	114	93	207
		総和の %	26.6%	21.7%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	55	93	148
		総和の %	12.8%	21.7%	34.5%
合計		度数	222	207	429
		総和の %	51.7%	48.3%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025従事者の介護業務に臨む意欲･姿勢に問題

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援･介護予防支援	度数	63	11	74
		総和の %	14.7%	2.6%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具･住改含む)	度数	138	69	207
		総和の %	32.2%	16.1%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	83	65	148
		総和の %	19.3%	15.2%	34.5%
合計		度数	284	145	429
		総和の %	66.2%	33.8%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025管理者の指導･管理能力が不足している

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援･介護予防支援	度数	41	33	74
		総和の %	9.6%	7.7%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具･住改含む)	度数	132	75	207
		総和の %	30.8%	17.5%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	75	73	148
		総和の %	17.5%	17.0%	34.5%
合計		度数	248	181	429
		総和の %	57.8%	42.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025介護従事者間のコミュニケーションが不足している

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援･介護予防支援	度数	63	11	74
		総和の %	14.7%	2.6%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具･住改含む)	度数	153	54	207
		総和の %	35.7%	12.6%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	96	52	148
		総和の %	22.4%	12.1%	34.5%
合計		度数	312	117	429
		総和の %	72.7%	27.3%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025経営者･管理者と職員間のコミュニケーションが不足している

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援･介護予防支援	度数	60	14	74
		総和の %	14.0%	3.3%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具･住改含む)	度数	147	60	207
		総和の %	34.3%	14.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	82	66	148
		総和の %	19.1%	15.4%	34.5%
合計		度数	289	140	429
		総和の %	67.4%	32.6%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援･介護予防支援	度数	43	31	74
		総和の %	10.0%	7.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具･住改含む)	度数	138	69	207
		総和の %	32.2%	16.1%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	111	37	148
		総和の %	25.9%	8.6%	34.5%
合計		度数	292	137	429
		総和の %	68.1%	31.9%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	49	25	74
		総和の %	11.4%	5.8%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	141	66	207
		総和の %	32.9%	15.4%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	100	48	148
		総和の %	23.3%	11.2%	34.5%
合計		度数	290	139	429
		総和の %	67.6%	32.4%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025雇用管理等についての情報や指導が不足している

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	51	23	74
		総和の %	11.9%	5.4%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	134	73	207
		総和の %	31.2%	17.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	100	48	148
		総和の %	23.3%	11.2%	34.5%
合計		度数	285	144	429
		総和の %	66.4%	33.6%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025特に問題はない

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	35	39	74
		総和の %	8.2%	9.1%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	107	100	207
		総和の %	24.9%	23.3%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	78	70	148
		総和の %	18.2%	16.3%	34.5%
合計		度数	220	209	429
		総和の %	51.3%	48.7%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025移乗介助（介助者のパワーアシストを行う機器）導入済み

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	73	1	74
		総和の %	17.0%	0.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	198	9	207
		総和の %	46.2%	2.1%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	132	16	148
		総和の %	30.8%	3.7%	34.5%
合計		度数	403	26	429
		総和の %	93.9%	6.1%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025移動支援（高齢者等の移動をサポートする歩行支援機器）導入済み

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	72	2	74
		総和の %	16.8%	0.5%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	197	10	207
		総和の %	45.9%	2.3%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	135	13	148
		総和の %	31.5%	3.0%	34.5%
合計		度数	404	25	429
		総和の %	94.2%	5.8%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025排泄支援（設置位置の調節可能トイレ、排泄を予測し的確なタイミングでトイレへ誘導する機器、下衣の着脱等の一連の動作を支援する機器）導入済み

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	73	1	74
		総和の %	17.0%	0.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	205	2	207
		総和の %	47.8%	0.5%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	144	4	148
		総和の %	33.6%	0.9%	34.5%
合計		度数	422	7	429
		総和の %	98.4%	1.6%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025見守り（センサーや外部通信機能を備えた機器等）導入済み

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	73	1	74
		総和の %	17.0%	0.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	146	61	207
		総和の %	34.0%	14.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	47	101	148
		総和の %	11.0%	23.5%	34.5%
合計		度数	266	163	429
		総和の %	62.0%	38.0%	100.0%

@2025サービス種別３区分 と @2025コミュニケーション（高齢者とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器） 導入済み

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別３区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	73	1	74
		総和の %	17.0%	0.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	202	5	207
		総和の %	47.1%	1.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	147	1	148
		総和の %	34.3%	0.2%	34.5%
合計		度数	422	7	429
		総和の %	98.4%	1.6%	100.0%

@2025サービス種別３区分 と @2025入浴支援（浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器） 導入済み

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別３区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	74	0	74
		総和の %	17.2%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	163	44	207
		総和の %	38.0%	10.3%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	113	35	148
		総和の %	26.3%	8.2%	34.5%
合計		度数	350	79	429
		総和の %	81.6%	18.4%	100.0%

@2025サービス種別３区分 と @2025介護業務支援（ロボット技術を用いて、介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、必要な支援に活用することを可能とする機器） 導入済み

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別３区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	72	2	74
		総和の %	16.8%	0.5%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	202	5	207
		総和の %	47.1%	1.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	130	18	148
		総和の %	30.3%	4.2%	34.5%
合計		度数	404	25	429
		総和の %	94.2%	5.8%	100.0%

@2025サービス種別３区分 と @2025機能訓練支援（介護職等が行う身体機能や生活機能の訓練における各業務（アセスメント・計画作成・訓練実施）を支援する機器・システム）導入済み

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別３区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	72	2	74
		総和の %	16.8%	0.5%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	185	22	207
		総和の %	43.1%	5.1%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	134	14	148
		総和の %	31.2%	3.3%	34.5%
合計		度数	391	38	429
		総和の %	91.1%	8.9%	100.0%

@2025サービス種別３区分 と @2025食事・栄養管理支援（高齢者等の食事・栄養管理に関する周辺業務を支援する機器・システム） 導入済み

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別３区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	74	0	74
		総和の %	17.2%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	194	13	207
		総和の %	45.2%	3.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	123	25	148
		総和の %	28.7%	5.8%	34.5%
合計		度数	391	38	429
		総和の %	91.1%	8.9%	100.0%

@2025サービス種別３区分 と @2025認知症生活支援・認知症ケア支援（認知機能が低下した高齢者等の自立した日常生活または個別ケアを支援する機器・システム） 導入済み

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別３区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	72	2	74
		総和の %	16.8%	0.5%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	203	4	207
		総和の %	47.3%	0.9%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	146	2	148
		総和の %	34.0%	0.5%	34.5%
合計		度数	421	8	429
		総和の %	98.1%	1.9%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025介護ソフト（記録、情報共有、請求事務で転記が不要であるもの。音声入力によるものを含む。）導入済み

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	29	45	74
		総和の %	6.8%	10.5%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	60	147	207
		総和の %	14.0%	34.3%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	45	103	148
		総和の %	10.5%	24.0%	34.5%
合計		度数	134	295	429
		総和の %	31.2%	68.8%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025介護ソフト専用の情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末、インカム等） 導入済み

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	48	26	74
		総和の %	11.2%	6.1%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	93	114	207
		総和の %	21.7%	26.6%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	55	93	148
		総和の %	12.8%	21.7%	34.5%
合計		度数	196	233	429
		総和の %	45.7%	54.3%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025通信環境機器（Wi-Fiルーター等） 導入済み

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	20	54	74
		総和の %	4.7%	12.6%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	31	176	207
		総和の %	7.2%	41.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	12	136	148
		総和の %	2.8%	31.7%	34.5%
合計		度数	63	366	429
		総和の %	14.7%	85.3%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025バックオフィスソフト（勤怠管理、シフト表作成、人事、給与、ホームページ作成等のためのソフトで転記が不要であるもの） 導入済み

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	50	24	74
		総和の %	11.7%	5.6%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	151	56	207
		総和の %	35.2%	13.1%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	93	55	148
		総和の %	21.7%	12.8%	34.5%
合計		度数	294	135	429
		総和の %	68.5%	31.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025移乗介助（介助者のパワーアシストを行う機器）導入希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	67	7	74
		総和の %	15.6%	1.6%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	129	78	207
		総和の %	30.1%	18.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	70	78	148
		総和の %	16.3%	18.2%	34.5%
合計		度数	266	163	429
		総和の %	62.0%	38.0%	1

@2025サービス種別3区分 と @2025移動支援（高齢者等の移動をサポートする歩行支援機器） 希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	67	7	74
		総和の %	15.6%	1.6%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	145	62	207
		総和の %	33.8%	14.5%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	68	80	148
		総和の %	15.9%	18.6%	34.5%
合計		度数	280	149	429
		総和の %	65.3%	34.7%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025排泄支援（設置位置の調節可能トイレ、排泄を予測し的確なタイミングでトイレへ誘導する機器、下衣の着脱等の一連の動作を支援する機器）希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	67	7	74
		総和の %	15.6%	1.6%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	140	67	207
		総和の %	32.6%	15.6%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	61	87	148
		総和の %	14.2%	20.3%	34.5%
合計		度数	268	161	429
		総和の %	62.5%	37.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025見守り(センサーや外部通信機能を備えた機器等) 希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	61	13	74
		総和の %	14.2%	3.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	118	89	207
		総和の %	27.5%	20.7%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	47	101	148
		総和の %	11.0%	23.5%	34.5%
合計		度数	226	203	429
		総和の %	52.7%	47.3%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025コミュニケーション(高齢者とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器) 希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	57	17	74
		総和の %	13.3%	4.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	121	86	207
		総和の %	28.2%	20.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	67	81	148
		総和の %	15.6%	18.9%	34.5%
合計		度数	245	184	429
		総和の %	57.1%	42.9%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025入浴支援(浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器) 希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	67	7	74
		総和の %	15.6%	1.6%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	128	79	207
		総和の %	29.8%	18.4%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	57	91	148
		総和の %	13.3%	21.2%	34.5%
合計		度数	252	177	429
		総和の %	58.7%	41.3%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025介護業務支援(ロボット技術を用いて、介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、必要な支援に活用することを可能とする機器) 希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	56	18	74
		総和の %	13.1%	4.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	119	88	207
		総和の %	27.7%	20.5%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	64	84	148
		総和の %	14.9%	19.6%	34.5%
合計		度数	239	190	429
		総和の %	55.7%	44.3%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025機能訓練支援(介護職等が行う身体機能や生活機能の訓練における各業務(アセスメント・計画作成・訓練実施)を支援する機器・システム) 希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	59	15	74
		総和の %	13.8%	3.5%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	120	87	207
		総和の %	28.0%	20.3%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	68	80	148
		総和の %	15.9%	18.6%	34.5%
合計		度数	247	182	429
		総和の %	57.6%	42.4%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025食事・栄養管理支援(高齢者等の食事・栄養管理に関する周辺業務を支援する機器・システム) 希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	66	8	74
		総和の %	15.4%	1.9%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	147	60	207
		総和の %	34.3%	14.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	76	72	148
		総和の %	17.7%	16.8%	34.5%
合計		度数	289	140	429
		総和の %	67.4%	32.6%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025認知症生活支援・認知症ケア支援（認知機能が低下した高齢者等の自立した日常生活または個別ケアを支援する機器・システム） 希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	57	17	74
		総和の %	13.3%	4.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	109	98	207
		総和の %	25.4%	22.8%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	56	92	148
		総和の %	13.1%	21.4%	34.5%
合計		度数	222	207	429
		総和の %	51.7%	48.3%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025介護ソフト（記録、情報共有、請求事務で転記が不要であるもの。音声入力によるものを含む。） 希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	31	43	74
		総和の %	7.2%	10.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	99	108	207
		総和の %	23.1%	25.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	52	96	148
		総和の %	12.1%	22.4%	34.5%
合計		度数	182	247	429
		総和の %	42.4%	57.6%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025介護ソフト専用の情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末、インカム等） 希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	26	48	74
		総和の %	6.1%	11.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	98	109	207
		総和の %	22.8%	25.4%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	48	100	148
		総和の %	11.2%	23.3%	34.5%
合計		度数	172	257	429
		総和の %	40.1%	59.9%	1

@2025サービス種別3区分 と @2025通信環境機器（Wi-Fiルーター等） 希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	28	46	74
		総和の %	6.5%	10.7%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	113	94	207
		総和の %	26.3%	21.9%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	73	75	148
		総和の %	17.0%	17.5%	34.5%
合計		度数	214	215	429
		総和の %	49.9%	50.1%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025バックオフィスソフト（勤怠管理、シフト表作成、人事、給与、ホームページ作成のためのソフトで転記が不要であるもの） 希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	39	35	74
		総和の %	9.1%	8.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	101	106	207
		総和の %	23.5%	24.7%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	54	94	148
		総和の %	12.6%	21.9%	34.5%
合計		度数	194	235	429
		総和の %	45.2%	54.8%	1

@2025サービス種別3区分 と @2025導入コストが高い 課題

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	12	62	74
		総和の %	2.8%	14.5%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	14	193	207
		総和の %	3.3%	45.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	6	142	148
		総和の %	1.4%	33.1%	34.5%
合計		度数	32	397	429
		総和の %	7.5%	92.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025どのような介護ロボットやICT機器・介護ソフトがあるかわからない 課題

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	35	39	74
		総和の %	8.2%	9.1%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	87	120	207
		総和の %	20.3%	28.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	66	82	148
		総和の %	15.4%	19.1%	34.5%
合計		度数	188	241	429
		総和の %	43.8%	56.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える。 課題

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	59	15	74
		総和の %	13.8%	3.5%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	143	64	207
		総和の %	33.3%	14.9%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	107	41	148
		総和の %	24.9%	9.6%	34.5%
合計		度数	309	120	429
		総和の %	72.0%	28.0%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025技術的に使いこなせるか心配である 課題

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	30	44	74
		総和の %	7.0%	10.3%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	81	126	207
		総和の %	18.9%	29.4%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	34	114	148
		総和の %	7.9%	26.6%	34.5%
合計		度数	145	284	429
		総和の %	33.8%	66.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025誤作動の不安がある 課題

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	37	37	74
		総和の %	8.6%	8.6%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	88	119	207
		総和の %	20.5%	27.7%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	50	98	148
		総和の %	11.7%	22.8%	34.5%
合計		度数	175	254	429
		総和の %	40.8%	59.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025設置や保管等に場所をとられてしまう 希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	41	33	74
		総和の %	9.6%	7.7%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	67	140	207
		総和の %	15.6%	32.6%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	47	101	148
		総和の %	11.0%	23.5%	34.5%
合計		度数	155	274	429
		総和の %	36.1%	63.9%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である 課題

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	35	39	74
		総和の %	8.2%	9.1%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	58	149	207
		総和の %	13.5%	34.7%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	38	110	148
		総和の %	8.9%	25.6%	34.5%
合計		度数	131	298	429
		総和の %	30.5%	69.5%	1

@2025サービス種別3区分 と @2025投資に見合うだけの効果がない(事業規模から考えて必要ない) 課題

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	36	38	74
		総和の %	8.4%	8.9%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	77	130	207
		総和の %	17.9%	30.3%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	74	74	148
		総和の %	17.2%	17.2%	34.5%
合計		度数	187	242	429
		総和の %	43.6%	56.4%	1

@2025サービス種別3区分 と @2025介護現場の実態に適う介護ロボットやICT機器がない、現場の役に立つものがない 課題

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	58	16	74
		総和の %	13.5%	3.7%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	126	81	207
		総和の %	29.4%	18.9%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	112	36	148
		総和の %	26.1%	8.4%	34.5%
合計		度数	296	133	429
		総和の %	69.0%	31.0%	1

@2025サービス種別3区分 と @2025職員への周知（使用方法等） 課題

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	35	39	74
		総和の %	8.2%	9.1%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	92	115	207
		総和の %	21.4%	26.8%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	40	108	148
		総和の %	9.3%	25.2%	34.5%
合計		度数	167	262	429
		総和の %	38.9%	61.1%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025導入する必要のある課題や必要性を感じていない 課題

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	47	27	74
		総和の %	11.0%	6.3%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	143	64	207
		総和の %	33.3%	14.9%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	123	25	148
		総和の %	28.7%	5.8%	34.5%
合計		度数	313	116	429
		総和の %	73.0%	27.0%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(1)「あおもり介護生産性向上相談センター」について知っていますか。

			知らない	知ってるが未活用	知っており活用したことがある	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	15	50	9	74
		総和の %	3.5%	11.7%	2.1%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	30	136	41	207
		総和の %	7.0%	31.7%	9.6%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	15	79	54	148
		総和の %	3.5%	18.4%	12.6%	34.5%
合計		度数	60	265	104	429
		総和の %	14.0%	61.8%	24.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(2)厚生労働省「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」について知っていますか。

			知らない	知っているが、読んだことはない	知っており、読んだことがある	(一部でも)活用し、取り組んでいる	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	12	33	0	29	74
		総和の %	2.8%	7.7%	0.0%	6.8%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	17	80	4	106	207
		総和の %	4.0%	18.6%	0.9%	24.7%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	9	38	6	95	148
		総和の %	2.1%	8.9%	1.4%	22.1%	34.5%
合計		度数	38	151	10	230	429
		総和の %	8.9%	35.2%	2.3%	53.6%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025職場環境の整備（3M（ムリ・ムダ・ムラ）をなくすためのの5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）） のクロス表、実施済み

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	30	44	74
		総和の %	7.0%	10.3%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	59	148	207
		総和の %	13.8%	34.5%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	45	103	148
		総和の %	10.5%	24.0%	34.5%
合計		度数	134	295	429
		総和の %	31.2%	68.8%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025業務の明確化と役割分担（人員体制や役割分担を見直し、業務時間の区切りを再構築） のクロス表、実施済み

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	28	46	74
		総和の %	6.5%	10.7%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	56	151	207
		総和の %	13.1%	35.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	35	113	148
		総和の %	8.2%	26.3%	34.5%
合計		度数	119	310	429
		総和の %	27.7%	72.3%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025介護ロボットやICT機器（PC、タブレット等）の導入 のクロス表、実施済み

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	32	42	74
		総和の %	7.5%	9.8%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	85	122	207
		総和の %	19.8%	28.4%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	48	100	148
		総和の %	11.2%	23.3%	34.5%
合計		度数	165	264	429
		総和の %	38.5%	61.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025手順書の作成（理念やビジョン等をもとに職員の経験値・知識を可視化・標準化） のクロス表、実施済み

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	46	28	74
		総和の %	10.7%	6.5%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	104	103	207
		総和の %	24.2%	24.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	84	64	148
		総和の %	19.6%	14.9%	34.5%
合計		度数	234	195	429
		総和の %	54.5%	45.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025記録・報告様式の工夫（項目の見直しやレイアウトの工夫等により、情報を読み解きやすくする） のクロス表、実施済み

			いいえ	はい	
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	36	38	74
		総和の %	8.4%	8.9%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	80	127	207
		総和の %	18.6%	29.6%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	62	86	148
		総和の %	14.5%	20.0%	34.5%
合計		度数	178	251	429
		総和の %	41.5%	58.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025情報共有の工夫（ICT等を用いた転記作業削減、一斉同時配信による報告申し送りの効率化、情報共有のタイムラグ解消） のクロス表、実施済み

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	47	27	74
		総和の %	11.0%	6.3%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	114	93	207
		総和の %	26.6%	21.7%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	78	70	148
		総和の %	18.2%	16.3%	34.5%
合計		度数	239	190	429
		総和の %	55.7%	44.3%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025OJTの仕組みづくり（日常業務を通じた人材育成の仕組みづくり、教育内容の統一と指導方法の標準化） のクロス表、実施済み

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	47	27	74
		総和の %	11.0%	6.3%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	128	79	207
		総和の %	29.8%	18.4%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	80	68	148
		総和の %	18.6%	15.9%	34.5%
合計		度数	255	174	429
		総和の %	59.4%	40.6%	1

@2025サービス種別3区分 と @2025理念・行動指針の徹底（組織の理念や行動指針に基づき、自律的な行動がとれる職員の育成） のクロス表、実施済み

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	37	37	74
		総和の %	8.6%	8.6%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	71	136	207
		総和の %	16.6%	31.7%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	58	90	148
		総和の %	13.5%	21.0%	34.5%
合計		度数	166	263	429
		総和の %	38.7%	61.3%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025実施済の項目はない のクロス表

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援･介護予防支援	度数	57	17	74
		総和の %	13.3%	4.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具･住改含む)	度数	188	19	207
		総和の %	43.8%	4.4%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	134	14	148
		総和の %	31.2%	3.3%	34.5%
合計		度数	379	50	429
		総和の %	88.3%	11.7%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025職場環境の整備（3M（ムリ･ムダ･ムラ）をなくすための5S活動（整理･整頓･清掃･清潔･しつけ））、実施予定又は実施希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援･介護予防支援	度数	21	53	74
		総和の %	4.9%	12.4%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具･住改含む)	度数	55	152	207
		総和の %	12.8%	35.4%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	37	111	148
		総和の %	8.6%	25.9%	34.5%
合計		度数	113	316	429
		総和の %	26.3%	73.7%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025業務の明確化と役割分担（人員体制や役割分担を見直し、業務時間の区切りを再構築）実施予定又は実施希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援･介護予防支援	度数	22	52	74
		総和の %	5.1%	12.1%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具･住改含む)	度数	58	149	207
		総和の %	13.5%	34.7%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	38	110	148
		総和の %	8.9%	25.6%	34.5%
合計		度数	118	311	429
		総和の %	27.5%	72.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025介護ロボットやICT機器（PC、タブレット等）の導入、実施予定又は実施希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援･介護予防支援	度数	24	50	74
		総和の %	5.6%	11.7%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具･住改含む)	度数	76	131	207
		総和の %	17.7%	30.5%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	50	98	148
		総和の %	11.7%	22.8%	34.5%
合計		度数	150	279	429
		総和の %	35.0%	65.0%	1

@2025サービス種別3区分 と @2025手順書の作成（理念やビジョン等をもとに職員の経験値･知識を可視化･標準化）実施予定又は実施希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援･介護予防支援	度数	23	51	74
		総和の %	5.4%	11.9%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具･住改含む)	度数	63	144	207
		総和の %	14.7%	33.6%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	39	109	148
		総和の %	9.1%	25.4%	34.5%
合計		度数	125	304	429
		総和の %	29.1%	70.9%	1

@2025サービス種別3区分 と @2025記録･報告様式の工夫（項目の見直しやレイアウトの工夫等により、情報を読み解きやすくする）実施予定又は実施希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援･介護予防支援	度数	18	56	74
		総和の %	4.2%	13.1%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具･住改含む)	度数	52	155	207
		総和の %	12.1%	36.1%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	34	114	148
		総和の %	7.9%	26.6%	34.5%
合計		度数	104	325	429
		総和の %	24.2%	75.8%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025情報共有の工夫（ICT等を用いた転記作業削減、一斉同時配信による報告申し送りの効率化、情報共有のタイムラグ解消）実施予定又は実施希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	20	54	74
		総和の %	4.7%	12.6%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	64	143	207
		総和の %	14.9%	33.3%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	38	110	148
		総和の %	8.9%	25.6%	34.5%
合計		度数	122	307	429
		総和の %	28.4%	71.6%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025OJTの仕組みづくり（日常業務を通じた人材育成の仕組みづくり、教育内容の統一と指導方法の標準化）実施予定又は実施希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	19	55	74
		総和の %	4.4%	12.8%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	63	144	207
		総和の %	14.7%	33.6%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	34	114	148
		総和の %	7.9%	26.6%	34.5%
合計		度数	116	313	429
		総和の %	27.0%	73.0%	1

@2025サービス種別3区分 と @2025理念・行動指針の徹底（組織の理念や行動指針に基づき、自律的な行動がとれる職員の育成）実施予定又は実施希望

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	20	54	74
		総和の %	4.7%	12.6%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	71	136	207
		総和の %	16.6%	31.7%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	31	117	148
		総和の %	7.2%	27.3%	34.5%
合計		度数	122	307	429
		総和の %	28.4%	71.6%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2024実施予定の項目はない

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	50	24	74
		総和の %	11.7%	5.6%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	167	40	207
		総和の %	38.9%	9.3%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	118	30	148
		総和の %	27.5%	7.0%	34.5%
合計		度数	335	94	429
		総和の %	78.1%	21.9%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025時間の確保 ・課題

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	9	65	74
		総和の %	2.1%	15.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	20	187	207
		総和の %	4.7%	43.6%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	20	128	148
		総和の %	4.7%	29.8%	34.5%
合計		度数	49	380	429
		総和の %	11.4%	88.6%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025実施体制の不備 ・課題

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	24	50	74
		総和の %	5.6%	11.7%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	61	146	207
		総和の %	14.22%	34.03%	48.25%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	37	111	148
		総和の %	8.6%	25.9%	34.5%
合計		度数	122	307	429
		総和の %	28.4%	71.6%	1

@2025サービス種別3区分 と @2025職場内での反発 ・課題

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	54	20	74
		総和の %	12.6%	4.7%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	130	77	207
		総和の %	30.3%	17.9%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	73	75	148
		総和の %	17.0%	17.5%	34.5%
合計		度数	257	172	429
		総和の %	59.9%	40.1%	1

@2025サービス種別3区分 と @2025取組に対する理解不足・課題

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	31	43	74
		総和の %	7.2%	10.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	72	135	207
		総和の %	16.8%	31.5%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	33	115	148
		総和の %	7.7%	26.8%	34.5%
合計		度数	136	293	429
		総和の %	31.7%	68.3%	1

@2025サービス種別3区分 と @2025ルール化の問題 ・課題

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	32	42	74
		総和の %	7.5%	9.8%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	76	131	207
		総和の %	17.7%	30.5%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	39	109	148
		総和の %	9.1%	25.4%	34.5%
合計		度数	147	282	429
		総和の %	34.3%	65.7%	1

@2025サービス種別3区分 と @2025経済的な問題 ・課題

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	17	57	74
		総和の %	4.0%	13.3%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	49	158	207
		総和の %	11.4%	36.8%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	35	113	148
		総和の %	8.2%	26.3%	34.5%
合計		度数	101	328	429
		総和の %	23.5%	76.5%	1

@2025サービス種別3区分 と @2025職員間の認識のばらつき ・課題

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	30	44	74
		総和の %	7.0%	10.3%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	55	152	207
		総和の %	12.8%	35.4%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	18	130	148
		総和の %	4.2%	30.3%	34.5%
合計		度数	103	326	429
		総和の %	0.2	0.8	1

@2025サービス種別3区分 と @2025困難は生じなかった ・課題

			いいえ	はい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	56	18	74
		総和の %	13.1%	4.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	159	48	207
		総和の %	37.1%	11.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	128	20	148
		総和の %	29.8%	4.7%	34.5%
合計		度数	343	86	429
		総和の %	80.0%	20.0%	1

@2025サービス種別3区分 と @2025(1)-1 利用者・家族とのコミュニケーション時間 ≪現在の状況≫ 成果

			ほとんど確保できていない	充分に確保できていない	ある程度確保できている	必要に応じて確保できている	余裕をもって確保できている	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	1	8	42	22	1	74
		総和の %	0.2%	1.9%	9.8%	5.1%	0.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	3	31	110	59	4	207
		総和の %	0.7%	7.2%	25.6%	13.8%	0.9%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	2	25	72	44	5	148
		総和の %	0.5%	5.8%	16.8%	10.3%	1.2%	34.5%
合計		度数	6	64	224	125	10	429
		総和の %	1.4%	14.9%	52.2%	29.1%	2.3%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(1)-2 利用者・家族とのコミュニケーション時間 ≪1年前と比べて≫

			大きく減った	多少減った	変わらない	多少増えた	大きく増えた	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	1	8	55	10	0	74
		総和の %	0.2%	1.9%	12.8%	2.3%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	3	13	151	39	1	207
		総和の %	0.7%	3.0%	35.2%	9.1%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	2	10	94	41	1	148
		総和の %	0.5%	2.3%	21.9%	9.6%	0.2%	34.5%
合計		度数	6	31	300	90	2	429
		総和の %	1.4%	7.2%	69.9%	21.0%	0.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(2)-1 時間に追われる焦り感（心理的な負担）≪現在の状況≫ 成果

			非常に強い	強い	一般的	弱い	非常に弱い	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	13	33	24	4	0	74
		総和の %	3.0%	7.7%	5.6%	0.9%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	16	56	120	10	5	207
		総和の %	3.7%	13.1%	28.0%	2.3%	1.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	7	53	74	12	2	148
		総和の %	1.6%	12.4%	17.2%	2.8%	0.5%	34.5%
合計		度数	36	142	218	26	7	429
		総和の %	8.4%	33.1%	50.8%	6.1%	1.6%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(2)-2 時間に追われる焦り感（心理的負担）≪1年前と比べて≫

			大きく増えた	多少増えた	変わらない	多少減った	大きく減った	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	6	24	40	3	1	74
		総和の %	1.4%	5.6%	9.3%	0.7%	0.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	13	37	132	24	1	207
		総和の %	3.0%	8.6%	30.8%	5.6%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	9	26	85	25	3	148
		総和の %	2.1%	6.1%	19.8%	5.8%	0.7%	34.5%
合計		度数	28	87	257	52	5	429
		総和の %	6.5%	20.3%	59.9%	12.1%	1.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(3)-1 質の維持向上（OJT・研修・打合せ・新しいケアやサービスの検討）に活用可能な時間 ≪現在の状況≫ 成果

			ほとんど確保できていない	充分に確保できていない	ある程度確保できている	必要に応じて確保できている	余裕をもって確保できている	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	8	17	33	16	0	74
		総和の %	1.9%	4.0%	7.7%	3.7%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	12	65	102	28	0	207
		総和の %	2.8%	15.2%	23.8%	6.5%	0.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	11	54	54	27	2	148
		総和の %	2.6%	12.6%	12.6%	6.3%	0.5%	34.5%
合計		度数	31	136	189	71	2	429
		総和の %	7.2%	31.7%	44.1%	16.6%	0.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(3)-2 質の維持向上（OJT・研修・打合せ・新しいケアやサービスの検討）に活用可能な時間 ≪1年前と比べて≫

			大きく減った	多少減った	変わらない	多少増えた	大きく増えた	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	14	53	7	0	74
		総和の %	0.0%	3.3%	12.4%	1.6%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	9	23	150	25	0	207
		総和の %	2.1%	5.4%	35.0%	5.8%	0.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	5	21	98	22	2	148
		総和の %	1.2%	4.9%	22.8%	5.1%	0.5%	34.5%
合計		度数	14	58	301	54	2	429
		総和の %	3.3%	13.5%	70.2%	12.6%	0.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(4)-1 介護職員、事務処理担当職員、責任者の残業時間 ≪現在の状況≫ 成果

			非常に多い	多い	一般的	少ない	非常に少ない	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	1	14	44	7	8	74
		総和の %	0.2%	3.3%	10.3%	1.6%	1.9%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	7	33	107	34	26	207
		総和の %	1.6%	7.7%	24.9%	7.9%	6.1%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	4	28	68	34	14	148
		総和の %	0.9%	6.5%	15.9%	7.9%	3.3%	34.5%
合計		度数	12	75	219	75	48	429
		総和の %	2.8%	17.5%	51.0%	17.5%	11.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(4)-2 介護職員、事務処理担当職員、責任者の残業時間 ≪1年前と比べて≫

			大きく増えた	多少増えた	変わらない	多少減った	大きく減った	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	1	6	62	4	1	74
		総和の %	0.2%	1.4%	14.5%	0.9%	0.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	6	26	148	25	2	207
		総和の %	1.4%	6.1%	34.5%	5.8%	0.5%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	3	14	102	25	4	148
		総和の %	0.7%	3.3%	23.8%	5.8%	0.9%	34.5%
合計		度数	10	46	312	54	7	429
		総和の %	2.3%	10.7%	72.7%	12.6%	1.6%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(5)-1 報告業務に要する時間 ≪現在の状況≫ 成果

			非常に長時間を要する	長時間を要する	一般的	短時間	非常に短時間	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	2	8	60	4	0	74
		総和の %	0.5%	1.9%	14.0%	0.9%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	5	19	159	23	1	207
		総和の %	1.2%	4.4%	37.1%	5.4%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	2	14	101	27	4	148
		総和の %	0.5%	3.3%	23.5%	6.3%	0.9%	34.5%
合計		度数	9	41	320	54	5	429
		総和の %	2.1%	9.6%	74.6%	12.6%	1.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(5)-2 報告業務に要する時間 ≪1年前と比べて≫

			大きく増えた	多少増えた	変わらない	多少減った	大きく減った	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	2	6	59	7	0	74
		総和の %	0.5%	1.4%	13.8%	1.6%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	4	22	158	22	1	207
		総和の %	0.9%	5.1%	36.8%	5.1%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	1	7	112	25	3	148
		総和の %	0.2%	1.6%	26.1%	5.8%	0.7%	34.5%
合計		度数	7	35	329	54	4	429
		総和の %	1.6%	8.2%	76.7%	12.6%	0.9%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(6)-1 介護記録の作成時間 ≪現在の状況≫ 成果

			非常に長時間を要している	長時間を要している	一般的な所要時間である	短時間で済んでいる	非常に短時間で済んでいる	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	9	28	35	1	1	74
		総和の %	2.1%	6.5%	8.2%	0.2%	0.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	4	29	146	27	1	207
		総和の %	0.9%	6.8%	34.0%	6.3%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	1	19	103	20	5	148
		総和の %	0.2%	4.4%	24.0%	4.7%	1.2%	34.5%
合計		度数	14	76	284	48	7	429
		総和の %	3.3%	17.7%	66.2%	11.2%	1.6%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(6)-2 介護記録の作成時間 ≪1年前と比べて≫

			大きく増えた	多少増えた	変わらない	多少減った	大きく減った	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	3	19	44	6	2	74
		総和の %	0.7%	4.4%	10.3%	1.4%	0.5%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	2	16	157	29	3	207
		総和の %	0.5%	3.7%	36.6%	6.8%	0.7%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	1	4	101	36	6	148
		総和の %	0.2%	0.9%	23.5%	8.4%	1.4%	34.5%
合計		度数	6	39	302	71	11	429
		総和の %	1.4%	9.1%	70.4%	16.6%	2.6%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(7)-1 共有情報(ケア記録やケアマネへの提供情報など)の質 ≪現在の状況≫ 成果

			非常に低い	低い	一般的	高い	非常に高い	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	2	66	5	1	74
		総和の %	0.0%	0.5%	15.4%	1.2%	0.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	1	10	182	13	1	207
		総和の %	0.2%	2.3%	42.4%	3.0%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	0	25	109	12	2	148
		総和の %	0.0%	5.8%	25.4%	2.8%	0.5%	34.5%
合計		度数	1	37	357	30	4	429
		総和の %	0.2%	8.6%	83.2%	7.0%	0.9%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(7)-2 共有情報(ケア記録やケアマネへの提供情報など)の質 ≪1年前と比べて≫

			大きく下がった	多少下がった	変わらない	多少上がった	大きく上がった	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	2	61	10	1	74
		総和の %	0.0%	0.5%	14.2%	2.3%	0.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	1	5	180	21	0	207
		総和の %	0.2%	1.2%	42.0%	4.9%	0.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	0	9	114	25	0	148
		総和の %	0.0%	2.1%	26.6%	5.8%	0.0%	34.5%
合計		度数	1	16	355	56	1	429
		総和の %	0.2%	3.7%	82.8%	13.1%	0.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(8)-1 利用者の状態の経過変化の読みときやすさ ≪現在の状況≫ 成果

			非常に低い	低い	一般的である	高い	非常に高い	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	4	64	6	0	74
		総和の %	0.0%	0.9%	14.9%	1.4%	0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	0	7	183	17	0	207
		総和の %	0.0%	1.6%	42.7%	4.0%	0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	2	12	115	19	0	148
		総和の %	0.5%	2.8%	26.8%	4.4%	0%	34.5%
合計		度数	2	23	362	42	0	429
		総和の %	0.5%	5.4%	84.4%	9.8%	0%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(8)-2 利用者の状態の経過変化の読みときやすさ ≪1年前と比べて≫

			大きく下がった	多少下がった	変わらない	多少上がった	大きく上がった	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	4	61	9	0	74
		総和の %	0.0%	0.9%	14.2%	2.1%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	0	7	175	24	1	207
		総和の %	0.0%	1.6%	40.8%	5.6%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	0	7	113	28	0	148
		総和の %	0.0%	1.6%	26.3%	6.5%	0.0%	34.5%
合計		度数	0	18	349	61	1	429
		総和の %	0.0%	4.2%	81.4%	14.2%	0.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2024(9)-1 各職員が閲覧する書類の枚数 ≪現在の状況≫ 成果

			非常に多い	多い	一般的	少ない	非常に少ない	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	4	25	43	2	0	74
		総和の %	0.9%	5.8%	10.0%	0.5%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	2	35	149	18	3	207
		総和の %	0.5%	8.2%	34.7%	4.2%	0.7%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	3	32	97	15	1	148
		総和の %	0.7%	7.5%	22.6%	3.5%	0.2%	34.5%
合計		度数	9	92	289	35	4	429
		総和の %	2.1%	21.4%	67.4%	8.2%	0.9%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(9)-2 各職員が閲覧する書類の枚数 ≪1年前と比べて≫

			大きく増えた	多少増えた	変わらない	多少減った	大きく減った	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	3	17	50	4	0	74
		総和の %	0.7%	4.0%	11.7%	0.9%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	2	21	166	17	1	207
		総和の %	0.5%	4.9%	38.7%	4.0%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	1	7	111	27	2	148
		総和の %	0.2%	1.6%	25.9%	6.3%	0.5%	34.5%
合計		度数	6	45	327	48	3	429
		総和の %	1.4%	10.5%	76.2%	11.2%	0.7%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(10)-1 (インカムや引継ぎ、記録による)必要な情報の受け取り ≪現在の状況≫成果

			非常に効率が悪い	効率が悪い	一般的	効率が良い	非常に効率が良い	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	10	59	4	1	74
		総和の %	0.0%	2.3%	13.8%	0.9%	0.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	0	19	171	17	0	207
		総和の %	0.0%	4.4%	39.9%	4.0%	0.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	1	24	98	24	1	148
		総和の %	0.2%	5.6%	22.8%	5.6%	0.2%	34.5%
合計		度数	1	53	328	45	2	429
		総和の %	0.2%	12.4%	76.5%	10.5%	0.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(10)-2 (インカムや引継ぎ・記録による)必要な情報の受け取り ≪1年前と比べて≫

			大きく効率が下がった	多少効率が下がった	変わらない	多少効率が上がった	大きく効率が上がった	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	6	61	7	0	74
		総和の %	0%	1.4%	14.2%	1.6%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	0	4	177	26	0	207
		総和の %	0%	0.9%	41.3%	6.1%	0.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	0	7	112	26	3	148
		総和の %	0%	1.6%	26.1%	6.1%	0.7%	34.5%
合計		度数	0	17	350	59	3	429
		総和の %	0%	4.0%	81.6%	13.8%	0.7%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(11)-1 主体性のある職員行動 ≪現在の状況≫ 成果

			非常に主体性が低い	主体性が低い	一般的	主体性が高い	非常に主体性が高い	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	1	4	53	16	0	74
		総和の %	0.2%	0.9%	12.4%	3.7%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	3	33	147	24	0	207
		総和の %	0.7%	7.7%	34.3%	5.6%	0.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	1	42	94	10	1	148
		総和の %	0.2%	9.8%	21.9%	2.3%	0.2%	34.5%
合計		度数	5	79	294	50	1	429
		総和の %	1.2%	18.4%	68.5%	11.7%	0.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(11)-2 主体性のある職員行動 ≪1年前と比べて≫

			大きく下がった	多少下がった	変わらない	多少上がった	大きく上がった	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	3	62	9	0	74
		総和の %	0.0%	0.7%	14.5%	2.1%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	2	13	160	31	1	207
		総和の %	0.5%	3.0%	37.3%	7.2%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	1	10	115	21	1	148
		総和の %	0.2%	2.3%	26.8%	4.9%	0.2%	34.5%
合計		度数	3	26	337	61	2	429
		総和の %	0.7%	6.1%	78.6%	14.2%	0.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(1)-1 利用者のニーズ変化への柔軟な対応 ≪現在の状況≫ 成果

			ほとんどできていない	充分できていない	ある程度できている	必要に応じて出来ている	余裕をもってできている	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	6	44	24	0	74
		総和の %	0.0%	1.4%	10.3%	5.6%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	0	14	140	51	2	207
		総和の %	0.0%	3.3%	32.6%	11.9%	0.5%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	2	19	87	38	2	148
		総和の %	0.5%	4.4%	20.3%	8.9%	0.5%	34.5%
合計		度数	2	39	271	113	4	429
		総和の %	0.5%	9.1%	63.2%	26.3%	0.9%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(1)-2 利用者のニーズ変化への柔軟な対応 ≪1年前と比べて≫

			大きく悪化	多少悪化	変わらない	多少向上	大きく向上	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	5	54	15	0	74
		総和の %	0.0%	1.2%	12.6%	3.5%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	0	4	166	36	1	207
		総和の %	0.0%	0.9%	38.7%	8.4%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	1	9	102	36	0	148
		総和の %	0.2%	2.1%	23.8%	8.4%	0.0%	34.5%
合計		度数	1	18	322	87	1	429
		総和の %	0.2%	4.2%	75.1%	20.3%	0.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(2)-1 職員同士の協同のしやすさ(助けを求めたり、情報共有したりしやすいか) ≪現在の状況≫

			非常にしにくい	しにくい	一般的	しやすい	非常にしやすい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	3	42	24	5	74
		総和の %	0.0%	0.7%	9.8%	5.6%	1.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	2	13	118	68	6	207
		総和の %	0.5%	3.0%	27.5%	15.9%	1.4%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	2	17	76	53	0	148
		総和の %	0.5%	4.0%	17.7%	12.4%	0.0%	34.5%
合計		度数	4	33	236	145	11	429
		総和の %	0.9%	7.7%	55.0%	33.8%	2.6%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(2)-2 職員同士の共同のしやすさ(助けを求めたり、情報共有したりしやすいか) ≪1年前と比べて≫ のクロス表

			大きく悪化した	多少悪化した	変わらない	多少向上した	大きく向上した	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	3	59	10	2	74
		総和の %	0.0%	0.7%	13.8%	2.3%	0.5%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	0	12	142	50	3	207
		総和の %	0.0%	2.8%	33.1%	11.7%	0.7%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	2	7	102	36	1	148
		総和の %	0.5%	1.6%	23.8%	8.4%	0.2%	34.5%
合計		度数	2	22	303	96	6	429
		総和の %	0.5%	5.1%	70.6%	22.4%	1.4%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(3)-1 職員同士が心理的に安心して発言しあえる状況(風通しのよさ) ≪現在の状況≫

			非常にしにくい	しにくい	一般的	しやすい	非常にしやすい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	2	44	24	4	74
		総和の %	0.0%	0.5%	10.3%	5.6%	0.9%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	2	16	121	63	5	207
		総和の %	0.5%	3.7%	28.2%	14.7%	1.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	2	18	93	35	0	148
		総和の %	0.5%	4.2%	21.7%	8.2%	0.0%	34.5%
合計		度数	4	36	258	122	9	429
		総和の %	0.9%	8.4%	60.1%	28.4%	2.1%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(3)-2 職員同士が心理的に安心して発言しあえる状況（風通しのよさ）≪1年前と比べて≫

			大きく悪化した	多少悪化した	変わらない	多少向上した	大きく向上した	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	2	60	10	2	74
		総和の %	0.0%	0.5%	14.0%	2.3%	0.5%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	0	10	151	44	2	207
		総和の %	0.0%	2.3%	35.2%	10.3%	0.5%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	2	10	99	37	0	148
		総和の %	0.5%	2.3%	23.1%	8.6%	0.0%	34.5%
合計		度数	2	22	310	91	4	429
		総和の %	0.5%	5.1%	72.3%	21.2%	0.9%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(4)-1 各職員の介護に関する基本的な知識や方法の理解度 ≪現在の状況≫

			非常に低い	低い	一般的	しやすい	非常にしやすい	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	4	57	12	1	74
		総和の %	0.0%	0.9%	13.3%	2.8%	0.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	4	25	158	20	0	207
		総和の %	0.9%	5.8%	36.8%	4.7%	0.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	1	24	112	11	0	148
		総和の %	0.2%	5.6%	26.1%	2.6%	0.0%	34.5%
合計		度数	5	53	327	43	1	429
		総和の %	1.2%	12.4%	76.2%	10.0%	0.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(4)-2 各職員の介護に関する基本的な知識や方法の理解度 ≪1年前と比べて≫

			大きく悪化した	多少悪化した	変わらない	多少向上した	大きく向上した	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	2	61	11	0	74
		総和の %	0.0%	0.5%	14.2%	2.6%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	2	3	164	37	1	207
		総和の %	0.5%	0.7%	38.2%	8.6%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	1	5	120	22	0	148
		総和の %	0.2%	1.2%	28.0%	5.1%	0.0%	34.5%
合計		度数	3	10	345	70	1	429
		総和の %	0.7%	2.3%	80.4%	16.3%	0.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(5)-1 現場リーダークラスの求められる業務に関する理解度 ≪現在の状況≫

			非常に低い	低い	一般的である	高い	非常に高い	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	8	56	10	0	74
		総和の %	0.0%	1.9%	13.1%	2.3%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	2	24	155	24	2	207
		総和の %	0.5%	5.6%	36.1%	5.6%	0.5%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	0	26	103	19	0	148
		総和の %	0.0%	6.1%	24.0%	4.4%	0.0%	34.5%
合計		度数	2	58	314	53	2	429
		総和の %	0.5%	13.5%	73.2%	12.4%	0.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(5)-2 現場リーダークラスの求められる業務に関する理解度 ≪1年前と比べて≫

			大きく悪化した	多少悪化した	変わらない	多少向上した	大きく向上した	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	4	60	9	1	74
		総和の %	0.0%	0.9%	14.0%	2.1%	0.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	1	6	163	36	1	207
		総和の %	0.2%	1.4%	38.0%	8.4%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	0	7	110	30	1	148
		総和の %	0.0%	1.6%	25.6%	7.0%	0.2%	34.5%
合計		度数	1	17	333	75	3	429
		総和の %	0.2%	4.0%	77.6%	17.5%	0.7%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(6)-1 管理職クラスの求められる業務に関する理解度 ≪現在の状況≫

			非常に低い	低い	一般的である	高い	非常に高い	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	7	54	11	2	74
		総和の %	0.0%	1.6%	12.6%	2.6%	0.5%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	1	20	163	20	3	207
		総和の %	0.2%	4.7%	38.0%	4.7%	0.7%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	1	14	111	21	1	148
		総和の %	0.2%	3.3%	25.9%	4.9%	0.2%	34.5%
合計		度数	2	41	328	52	6	429
		総和の %	0.5%	9.6%	76.5%	12.1%	1.4%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(6)-2 管理職クラスの求められる業務に関する理解度 ≪1年前と比べて≫

			大きく悪化した	多少悪化した	変わらない	多少向上した	大きく向上した	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	3	59	12	0	74
		総和の %	0.0%	0.7%	13.8%	2.8%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	1	4	179	21	2	207
		総和の %	0.2%	0.9%	41.7%	4.9%	0.5%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	0	9	116	20	3	148
		総和の %	0.0%	2.1%	27.0%	4.7%	0.7%	34.5%
合計		度数	1	16	354	53	5	429
		総和の %	0.2%	3.7%	82.5%	12.4%	1.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(7)-1 各職員の仕事に向き合う姿勢（介護という仕事に誇りを持ち、前向きに取り組んでいるか）≪現在の状況≫

			非常に悪い	悪い	一般的である	良い	非常に良い	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	3	54	16	1	74
		総和の %	0.0%	0.7%	12.6%	3.7%	0.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	1	10	146	49	1	207
		総和の %	0.2%	2.3%	34.0%	11.4%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	1	17	104	23	3	148
		総和の %	0.2%	4.0%	24.2%	5.4%	0.7%	34.5%
合計		度数	2	30	304	88	5	429
		総和の %	0.5%	7.0%	70.9%	20.5%	1.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(7)-2 各職員の仕事に向き合う姿勢（介護という仕事に誇りを持ち、前向きに取り組んでいるか）≪1年前と比べて≫

			大きく悪化した	多少悪化した	変わらない	多少向上した	大きく向上した	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	3	62	9	0	74
		総和の %	0.0%	0.7%	14.5%	2.1%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	0	9	160	37	1	207
		総和の %	0.0%	2.1%	37.3%	8.6%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	1	9	109	29	0	148
		総和の %	0.2%	2.1%	25.4%	6.8%	0.0%	34.5%
合計		度数	1	21	331	75	1	429
		総和の %	0.2%	4.9%	77.2%	17.5%	0.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(8)-1 各職員の専門的な介護技術の習得度（麻痺のある利用者・興奮状態の利用者への対応など）≪現在の状況≫

			非常に暇喰い	低い	一般的である	高い	非常に高い	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	2	62	10	0	74
		総和の %	0.0%	0.5%	14.5%	2.3%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	1	21	161	23	1	207
		総和の %	0.2%	4.9%	37.5%	5.4%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	1	27	102	17	1	148
		総和の %	0.2%	6.3%	23.8%	4.0%	0.2%	34.5%
合計		度数	2	50	325	50	2	429
		総和の %	0.5%	11.7%	75.8%	11.7%	0.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(8)-2 各職員の専門的な介護技術の習得度（麻痺のある利用者・興奮状態の利用者への対応など）≪1年前と比べて≫ のクロス表

			大きく悪化した	多少悪化した	変わらない	多少向上した	大きく向上した	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	1	65	8	0	74
		総和の %	0.0%	0.2%	15.2%	1.9%	0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	0	6	182	19	0	207
		総和の %	0.0%	1.4%	42.4%	4.4%	0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	1	6	118	23	0	148
		総和の %	0.2%	1.4%	27.5%	5.4%	0%	34.5%
合計		度数	1	13	365	50	0	429
		総和の %	0.2%	3.0%	85.1%	11.7%	0%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(9)-1 各職員の利用者に対する観察力 ≪現在の状況≫

			非常に低い	低い	一般的である	高い	非常に高い	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	2	59	13	0	74
		総和の %	0.0%	0.5%	13.8%	3.0%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	0	14	152	40	1	207
		総和の %	0.0%	3.3%	35.4%	9.3%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	2	22	102	20	2	148
		総和の %	0.5%	5.1%	23.8%	4.7%	0.5%	34.5%
合計		度数	2	38	313	73	3	429
		総和の %	0.5%	8.9%	73.0%	17.0%	0.7%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(9)-2 各職員の利用者に対する観察力 ≪1年前と比べて≫

			大きく下がった	多少下がった	変わらない	多少上がった	大きく上がった	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	2	58	14	0	74
		総和の %	0.0%	0.5%	13.5%	3.3%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	0	7	166	33	1	207
		総和の %	0.0%	1.6%	38.7%	7.7%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	1	6	109	31	1	148
		総和の %	0.2%	1.4%	25.4%	7.2%	0.2%	34.5%
合計		度数	1	15	333	78	2	429
		総和の %	0.2%	3.5%	77.6%	18.2%	0.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(10)-1 各職員のチーム意識の強さ ≪現在の状況≫

			非常に弱い	弱い	一般的である	強い	非常に強い	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	4	57	13	0	74
		総和の %	0.0%	0.9%	13.3%	3.0%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	4	18	139	45	1	207
		総和の %	0.9%	4.2%	32.4%	10.5%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	0	23	97	27	1	148
		総和の %	0.0%	5.4%	22.6%	6.3%	0.2%	34.5%
合計		度数	4	45	293	85	2	429
		総和の %	0.9%	10.5%	68.3%	19.8%	0.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(10)-2 各職員のチーム意識の強さ ≪1年前と比べて≫

			大きく下がった	多少下がった	変わらない	多少上がった	大きく上がった	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	3	63	7	1	74
		総和の %	0.0%	0.7%	14.7%	1.6%	0.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	2	10	158	36	1	207
		総和の %	0.5%	2.3%	36.8%	8.4%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	2	9	111	25	1	148
		総和の %	0.5%	2.1%	25.9%	5.8%	0.2%	34.5%
合計		度数	4	22	332	68	3	429
		総和の %	0.9%	5.1%	77.4%	15.9%	0.7%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(11)-1 職員と管理者のコミュニケーション時間 ≪現在の状況≫

			非常に少ない	少ない	一般的	多い	非常に多い	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	4	55	14	1	74
		総和の %	0.0%	0.9%	12.8%	3.3%	0.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	1	22	155	27	2	207
		総和の %	0.2%	5.1%	36.1%	6.3%	0.5%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	5	23	102	16	2	148
		総和の %	1.2%	5.4%	23.8%	3.7%	0.5%	34.5%
合計		度数	6	49	312	57	5	429
		総和の %	1.4%	11.4%	72.7%	13.3%	1.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(11)-2 職員と管理者のコミュニケーション時間 ≪1年前と比べて≫

			大きく減少した	減少した	変わらない	多少増加した	大きく増加した	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	4	62	7	1	74
		総和の %	0.0%	0.9%	14.5%	1.6%	0.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	0	13	160	32	2	207
		総和の %	0.0%	3.0%	37.3%	7.5%	0.5%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	1	10	112	23	2	148
		総和の %	0.2%	2.3%	26.1%	5.4%	0.5%	34.5%
合計		度数	1	27	334	62	5	429
		総和の %	0.2%	6.3%	77.9%	14.5%	1.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(12)-1 職員間の人間関係に関するストレス ≪現在の状況≫ のクロス表

			非常に多い	多い	一般的である	少ない	非常に少ない	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	5	57	9	3	74
		総和の %	0.0%	1.2%	13.3%	2.1%	0.7%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	6	35	137	28	1	207
		総和の %	1.4%	8.2%	31.9%	6.5%	0.2%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	2	35	97	13	1	148
		総和の %	0.5%	8.2%	22.6%	3.0%	0.2%	34.5%
合計		度数	8	75	291	50	5	429
		総和の %	1.9%	17.5%	67.8%	11.7%	1.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(12)-2 職員間の人間関係に関するストレス ≪1年前と比べて≫ のクロス表

			大きく増加した	多少増加した	変わらない	多少減少した	大きく減少した	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	1	2	63	5	3	74
		総和の %	0.2%	0.5%	14.7%	1.2%	0.7%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	2	29	152	24	0	207
		総和の %	0.5%	6.8%	35.4%	5.6%	0.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	3	24	100	20	1	148
		総和の %	0.7%	5.6%	23.3%	4.7%	0.2%	34.5%
合計		度数	6	55	315	49	4	429
		総和の %	1.4%	12.8%	73.4%	11.4%	0.9%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(13)-1 各職員の、この職場で働くことに対する意欲 ≪現在の状況≫ のクロス表

			非常に低い	低い	一般的である	高い	非常に高い	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	2	60	12	0	74
		総和の %	0.0%	0.5%	14.0%	2.8%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	1	11	165	28	2	207
		総和の %	0.2%	2.6%	38.5%	6.5%	0.5%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	1	19	110	18	0	148
		総和の %	0.2%	4.4%	25.6%	4.2%	0.0%	34.5%
合計		度数	2	32	335	58	2	429
		総和の %	0.5%	7.5%	78.1%	13.5%	0.5%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(13)-2 各職員の、この職場で働くことに対する意欲 ≪1年前と比べて≫ のクロス表

			大きく下がった	多少下がった	変わらない	多少上がった	大きく上がった	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	3	64	7	0	74
		総和の %	0.0%	0.7%	14.9%	1.6%	0.0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	1	9	172	25	0	207
		総和の %	0.2%	2.1%	40.1%	5.8%	0.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	3	7	118	19	1	148
		総和の %	0.7%	1.6%	27.5%	4.4%	0.2%	34.5%
合計		度数	4	19	354	51	1	429
		総和の %	0.9%	4.4%	82.5%	11.9%	0.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(14)-1 各職員が自主的に利用者と向き合う時間（サービス後・サービス間のコミュニケーション時間） ≪現在の状況≫ のクロス表

			非常に少ない	少ない	一般的である	多い	非常に多い	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	5	59	9	1	74
		総和の %	0.0%	1.2%	13.8%	2.1%	0.2%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	1	24	163	19	0	207
		総和の %	0.2%	5.6%	38.0%	4.4%	0.0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	2	38	92	16	0	148
		総和の %	0.5%	8.9%	21.4%	3.7%	0.0%	34.5%
合計		度数	3	67	314	44	1	429
		総和の %	0.7%	15.6%	73.2%	10.3%	0.2%	100.0%

@2025サービス種別3区分 と @2025(14)-2 各職員が自主的に利用者と向き合う時間（サービス後・サービス間のコミュニケーション時間） ≪1年前と比べて≫

			大きく減少した	多少減少した	変わらない	多少増加した	大きく増加した	合計
@2025サービス種別3区分	居宅介護支援・介護予防支援	度数	0	1	66	7	0	74
		総和の %	0.0%	0.2%	15.4%	1.6%	0%	17.2%
	居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	度数	2	7	179	19	0	207
		総和の %	0.5%	1.6%	41.7%	4.4%	0%	48.3%
	施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	度数	0	16	103	29	0	148
		総和の %	0.0%	3.7%	24.0%	6.8%	0%	34.5%
合計		度数	2	24	348	55	0	429
		総和の %	0.5%	5.6%	81.1%	12.8%	0%	100.0%

令和7年度　介護生産性向上に関する事業所調査

Ⅰ．事業所情報

事業所名	
事業者番号	
サービス種別	
記入者役職※可能な限り、管理者・サ責又は経営者が記入してください。	
記入者氏名	
電話番号	
メールアドレス	

Ⅱ．運営上の課題

■2025年10月1日時点の職員数（延べ）（注１）

訪問介護員	人
サービス提供責任者	人
介護職員（注２）	人
介護職員のうち、外国人介護職員数	人
看護職員	人
生活相談員	人
機能訓練指導員（ＰＴ(理学療法士)、ＯＴ(作業療法士)、ＳＴ(言語聴覚士)等）	人
介護支援専門員	人
上記以外の職員	人

(注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目して記入してください。
なお、兼務している職員については、主として従事する仕事(職種)にのみ記入してください。
※サービス提供責任者（指定訪問介護サービスのみ該当）と訪問介護員を兼務している場合は、サービス提供責任者の欄に記入し、訪問介護員の欄には記入しないでください。
(注2) 介護保険の訪問介護以外の指定介護事業所で働き、直接介護を行う者。

■2025年10月1日時点の利用者数（延べ）

利用者数	人
平均要介護度（注３）	

(注3) 平均要介護度は、自立はゼロ、要支援1・2は0.375として算出してください。

■昨年度（2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日））の雇用管理の状況

新規入職者数	人
離職者数	人
求人発出件数（ハローワーク、人材派遣業者等合わせて）	回
平均有休取得日数（１人あたり年平均）	日
平均時間外労働時間数（１人あたり年平均）	時間

■運営上の課題（複数選択可）

- □ 良質な人材の確保が難しい
- □ 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない
- □ 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている
- □ 教育・研修の時間が十分に取れない
- □ 経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくてもできない
- □ 新規利用者の確保が難しい
- □ 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している
- □ 介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある
- □ 管理者の指導・管理能力が不足している
- □ 介護従事者間のコミュニケーションが不足している
- □ 経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している
- □ 利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している
- □ 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない
- □ 雇用管理等についての情報や指導が不足している
- □ その他（内容：　　）
- □ 特に問題はない

Ⅲ．生産性向上（業務改善）の取組

■介護ロボット・ＩＣＴ導入について

（１）導入済の機器（複数選択可）

- □ 移乗介助（介助者のパワーアシストを行う機器）
- □ 移動支援（高齢者等の移動をサポートする歩行支援機器）
- □ 排泄支援（設置位置の調節可能ﾄｲﾚ、排泄を予測し的確なﾀｲﾐﾝｸﾞでﾄｲﾚへ誘導する機器、下衣の着脱等の一連の動作を支援する機器）
- □ 見守り（センサーや外部通信機能を備えた機器等）
- □ コミュニケーション（高齢者とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器）
- □ 入浴支援（浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器）
- □ 介護業務支援（ロボット技術を用いて、介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、必要な支援に活用することを可能とする機器）
- □ 機能訓練支援（介護職等が行う身体機能や生活機能の訓練における各業務（アセスメント・計画作成・訓練実施）を支援する機器・システム）
- □ 食事・栄養管理支援（高齢者等の食事・栄養管理に関する周辺業務を支援する機器・システム）
- □ 認知症生活支援・認知症ケア支援（認知機能が低下した高齢者等の自立した日常生活または個別ケアを支援する機器・システム）
- □ 介護ソフト（記録、情報共有、請求事務で転記が不要であるもの。音声入力によるものを含む。）
- □ 介護ソフト専用の情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末、インカム等）
- □ 通信環境機器（Wi-Fiルーター等）
- □ バックオフィスソフト（勤怠管理、ｼﾌﾄ表作成、人事、給与、ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ作成等のためのｿﾌﾄで転記が不要であるもの）
- □ その他（内容：　　）

（２）導入してみたい機器（複数選択可）

□ 移乗介助（介助者のパワーアシストを行う機器）
□ 移動支援（高齢者等の移動をサポートする歩行支援機器）
□ 排泄支援（設置位置の調節可能ﾄｲﾚ、排泄を予測し的確なﾀｲﾐﾝｸﾞでﾄｲﾚへ誘導する機器、下衣の着脱等の一連の動作を支援する機器）
□ 見守り（センサーや外部通信機能を備えた機器等）
□ コミュニケーション（高齢者とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器）
□ 入浴支援（浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器）
□ 介護業務支援（ロボット技術を用いて、介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、必要な支援に活用することを可能とする機器）
□ 機能訓練支援（介護職等が行う身体機能や生活機能の訓練における各業務（アセスメント・計画作成・訓練実施）を支援する機器・システム）
□ 食事・栄養管理支援（高齢者等の食事・栄養管理に関する周辺業務を支援する機器・システム）
□ 認知症生活支援・認知症ケア支援（認知機能が低下した高齢者等の自立した日常生活または個別ケアを支援する機器・システム）
□ 介護ソフト（記録、情報共有、請求事務で転記が不要であるもの。音声入力によるものを含む。）
□ 介護ソフト専用の情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末、インカム等）
□ 通信環境機器（Wi-Fiルーター等）
□ バックオフィスソフト（勤怠管理、ｼﾌﾄ表作成、人事、給与、ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ作成等のためのｿﾌﾄで転記が不要であるもの）
□ その他（内容：　　）

（３）介護ロボット・ICT導入の課題（複数選択可）

□ 導入コストが高い
□ どのような介護ロボットやICT機器・介護ソフトがあるかわからない
□ ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える
□ 技術的に使いこなせるか心配である
□ 誤作動の不安がある
□ 設置や保管等に場所をとられてしまう
□ 清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である
□ 投資に見合うだけの効果がない（事業規模から考えて必要ない）
□ 介護現場の実態に適う介護ロボットやICT機器がない、現場の役に立つものがない
□ 職員への周知（使用方法等）
□ その他（内容：　　）
□ 導入する必要のある課題や必要性を感じていない

■生産性向上（業務改善）の取組について

（１）「あおもり介護生産性向上相談センター」（青森県社会福祉協議会内に設置）について知っていますか。
https://aosyakyo.jp/

□ 知っており、活用したことがある。（生産性向上の相談、セミナー受講、介護テクノロジー導入補助金の相談・申請等）
□ 知っているが、活用したことはない
□ 知らない

（２）厚生労働省「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」について知っていますか。
https://www.mhlw.go.jp/stf/kaigo-seisansei.html

□ 知っており、読んだことがある
□ 知っているが、読んだことはない
□ （一部でも）活用し、取り組んでいる
□ 知らない

（３）介護サービスにおける生産性向上のための7つの取組のうち、実施済の項目（複数選択可）

□ 職場環境の整備（３Ｍ（ムリ・ムダ・ムラ）をなくすための５Ｓ活動（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ））
□ 業務の明確化と役割分担（人員体制や役割分担を見直し、業務時間の区切りを再構築）
□ 介護ロボットやICT機器（PC、タブレット等）の導入
□ 手順書の作成（理念やビジョン等をもとに職員の経験値・知識を可視化・標準化）
□ 記録・報告様式の工夫（項目の見直しやレイアウトの工夫等により、情報を読み解きやすくする）
□ 情報共有の工夫（ICT等を用いた転記作業削減、一斉同時配信による報告申し送りの効率化、情報共有のタイムラグ解消）
□ OJTの仕組みづくり（日常業務を通じた人材育成の仕組みづくり、教育内容の統一と指導方法の標準化）
□ 理念・行動指針の徹底（組織の理念や行動指針に基づき、自律的な行動がとれる職員の育成）
□ 実施済の項目はない

（４）「介護サービスにおける生産性向上のための7つの取組」うち、実施予定又は実施してみたい項目（複数選択可）

□ 職場環境の整備（３Ｍ（ムリ・ムダ・ムラ）をなくすための５Ｓ活動（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ））
□ 業務の明確化と役割分担（人員体制や役割分担を見直し、業務時間の区切りを再構築）
□ 介護ロボットやICT機器（PC、タブレット等）の導入
□ 手順書の作成（理念やビジョン等をもとに職員の経験値・知識を可視化・標準化）
□ 記録・報告様式の工夫（項目の見直しやレイアウトの工夫等により、情報を読み解きやすくする）
□ 情報共有の工夫（ICT等を用いた転記作業削減、一斉同時配信による報告申し送りの効率化、情報共有のタイムラグ解消）
□ OJTの仕組みづくり（日常業務を通じた人材育成の仕組みづくり、教育内容の統一と指導方法の標準化）
□ 理念・行動指針の徹底（組織の理念や行動指針に基づき、自律的な行動がとれる職員の育成）
□ 実施予定の項目はない

（５）取組にあたっての（予想される）課題（複数選択可）

□ 時間の確保
□ 実施体制の不備
□ 職場内での反発
□ 取組に対する理解不足
□ ルール化の問題
□ 経済的な問題
□ 職員間の認識のばらつき
□ その他（内容：　　）
□ 困難は生じなかった

Ⅳ．取組成果（※全体的に、⑤が良い方向、①が悪い方向です。）

■業務の効率化について

項目	現在の状況	１年前と比べて
１ 利用者・家族とのコミュニケーション時間	① ほとんど確保できていない ② 十分に確保できていない ③ ある程度は確保できている ④ 必要に応じて確保できている ⑤ 余裕をもって確保できている	① 大きく減った ② 多少減った ③ 変わらない ④ 多少増えた ⑤ 大きく増えた

2 時間に追われる焦り感（心理的な負担）	① 非常に強い ② 強い ③ 一般的である ④ 弱い ⑤ 非常に弱い（全くない）	① 大きく増えた ② 多少増えた ③ 変わらない ④ 多少減った ⑤ 大きく減った
3 質の維持向上（ＯＪＴ・研修・打合せ・新しいケアやサービスの検討）に活用可能な時間	① ほとんど確保できていない ② 十分に確保できていない ③ ある程度は確保できている ④ 必要に応じて確保できている ⑤ 余裕をもって確保できている	① 大きく減った ② 多少減った ③ 変わらない ④ 多少増えた ⑤ 大きく増えた
4 介護職員、事務処理担当職員、責任者の残業時間	① 非常に多い ② 多い ③ 一般的である ④ 少ない ⑤ 非常に少ない（全くない）	① 大きく増えた ② 多少増えた ③ 変わらない ④ 多少減った ⑤ 大きく減った
5 報告業務に要する時間	① 非常に長時間を要している ② 長時間を要している ③ 一般的な所要時間である ④ 短時間で済んでいる ⑤ 非常に短時間で済んでいる	① 大きく増えた ② 多少増えた ③ 変わらない ④ 多少減った ⑤ 大きく減った
6 介護記録の作成時間	① 非常に長時間を要している ② 長時間を要している ③ 一般的な所要時間である ④ 短時間で済んでいる ⑤ 非常に短時間で済んでいる	① 大きく増えた ② 多少増えた ③ 変わらない ④ 多少減った ⑤ 大きく減った
7 共有情報（ケア記録やケアマネへの提供情報など）の質	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく下がった ② 多少下がった ③ 変わらない ④ 多少上がった ⑤ 大きく上がった
8 利用者の状態の経過変化の読みときやすさ	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく下がった ② 多少下がった ③ 変わらない ④ 多少上がった ⑤ 大きく上がった

9 各職員が閲覧する書類の枚数	① 非常に多い ② 多い ③ 一般的である ④ 少ない ⑤ 非常に少ない	① 大きく増えた ② 多少増えた ③ 変わらない ④ 多少減った ⑤ 大きく減った
10 （インカムや引継ぎ・記録による）必要な情報の受け取り	① 非常に効率が悪い ② 効率が悪い ③ 一般的である ④ 効率が良い ⑤ 非常に効率が良い	① 大きく効率が下がった ② 多少効率が下がった ③ 変わらない ④ 多少効率が上がった ⑤ 大きく効率が上がった
11 主体性のある職員行動	① 非常に主体性が低い ② 主体性が低い ③ 一般的である ④ 主体性が高い ⑤ 非常に主体性が高い	① 大きく主体性が下がった ② 多少主体性が下がった ③ 変わらない ④ 多少主体性が上がった ⑤ 大きく主体性が上がった

■介護サービスの質の向上について

項目	現在の状況	1年前と比べて
1 利用者のニーズ変化への柔軟な対応	① ほとんどできていない ② 十分にできていない ③ ある程度はできている ④ 必要に応じてできている ⑤ 余裕をもってできている	① 大きく悪化した ② 多少悪化した ③ 変わらない ④ 多少向上した ⑤ 大きく向上した
2 職員同士の協同のしやすさ（助けを求めたり、情報共有したりしやすいか）	① 非常に協同しにくい ② 協同しにくい ③ 一般的である ④ 協同しやすい ⑤ 非常に協同しやすい	① 大きく悪化した ② 多少悪化した ③ 変わらない ④ 多少向上した ⑤ 大きく向上した
3 職員同士が心理的に安心して発言しあえる状況（風通しのよさ）	① 非常に発言しにくい ② 発言しにくい ③ 一般的である ④ 発言しやすい ⑤ 非常に発言しやすい	① 大きく悪化した ② 多少悪化した ③ 変わらない ④ 多少向上した ⑤ 大きく向上した
4 各職員の介護に関する基本的な知識や方法の理解度	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく悪化した ② 多少悪化した ③ 変わらない ④ 多少向上した ⑤ 大きく向上した
5 現場リーダークラスの求められる業務に関する理解度	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である	① 大きく悪化した ② 多少悪化した ③ 変わらない

	④ 高い ⑤ 非常に高い	④ 多少向上した ⑤ 大きく向上した
6 管理職クラスの求められる業務に関する理解度	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく悪化した ② 多少悪化した ③ 変わらない ④ 多少向上した ⑤ 大きく向上した
7 各職員の仕事に向き合う姿勢（介護という仕事に誇りを持ち、前向きに取り組んでいるか）	① 非常に悪い ② 悪い ③ 一般的である ④ 良い ⑤ 非常に良い	① 大きく悪化した ② 多少悪化した ③ 変わらない ④ 多少向上した ⑤ 大きく向上した
8 各職員の専門的な介護技術の習得度（麻痺のある利用者・興奮状態の利用者への対応など）	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく下がった ② 多少下がった ③ 変わらない ④ 多少上がった ⑤ 大きく上がった
9 各職員の利用者に対する観察力	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく下がった ② 多少下がった ③ 変わらない ④ 多少上がった ⑤ 大きく上がった
10 各職員のチーム意識の強さ	① 非常に弱い ② 弱い ③ 一般的である ④ 強い ⑤ 非常に強い	① 大きく下がった ② 多少下がった ③ 変わらない ④ 多少上がった ⑤ 大きく上がった
11 職員と管理者のコミュニケーション時間	① 非常に少ない ② 少ない ③ 一般的である ④ 多い ⑤ 非常に多い	① 大きく減少した ② 多少減少した ③ 変わらない ④ 多少増加した ⑤ 大きく増加した

12 職員間の人間関係に関するストレス	① 非常に多い ② 多い ③ 一般的である ④ 少ない ⑤ 非常に少ない	① 大きく増加した ② 多少増加した ③ 変わらない ④ 多少減少した ⑤ 大きく減少した
13 各職員の、この職場で働くことに対する意欲	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく下がった ② 多少下がった ③ 変わらない ④ 多少上がった ⑤ 大きく上がった
14 各職員が自主的に利用者と向き合う時間（サービス後・サービス間のコミュニケーション時間）	① 非常に少ない ② 少ない ③ 一般的である ④ 多い ⑤ 非常に多い	① 大きく減少した ② 多少減少した ③ 変わらない ④ 多少増加した ⑤ 大きく増加した

Ⅴ．自由記載欄

（経済的コスト削減への取組状況や課題）

（時間的コスト削減への取組や課題）

（人材育成や定着に向けた取組や課題）

（行政や関係団体に求める取組や支援）